HONDA

OWNER'S MANUAL

CRF1100L Africa Twin 〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈s〉
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

Honda 車をお買いあげいただきありがとうございます。
安全で快適なバイクライフをお楽しみください。

この取扱説明書と共に「メンテナンスノート」を受取り、下記を確認してください。
- お車の正しい取り扱いかた
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 車両受領書・保証書受領書の記入・捺印

安全運転の基本として以下は重要ですので、お守りください。
- この取扱説明書を、よくお読みください
- 取扱説明書の推奨手順に従ってください
- 安全に関する表示を理解し、守ってください

安全に関する表示

「運転者や他の方が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、右記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ **危険** **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの**

⚠ **警告** **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの**

⚠ **注意** **指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの**

その他の表示

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと

車の仕様、その他の変更により、この本の表紙や内容と実車が一致しない場合があります。
車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書およびメンテナンスノートをお渡しください。
この取扱説明書は、**CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission** を中心に説明しています。イラストは **CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission** をベースにしています。

目次

安全なライディング P. 2

操作ガイド P. 14

メンテナンス P. 245

こんなときは P. 291

インフォメーション P. 316

スペック P. 332

索引 P. 338

安全なライディング

この章では安全な運転のために必要な情報を記載しています。
安全のためによくお読みください。

安全上守っていただきたいこと ..... P. 3
安全運転のために ..... P. 3
運転するときの注意 ..... P. 5
アクセサリーと改造について ..... P. 11
積載について ..... P. 12

安全上守っていただきたいこと

安全のため、日常的に次の内容をお守りください。

- 道路運送車両法で定められた日常点検・定期点検を行ってください
- ガソリンの補給は、必ずエンジンを止め、火気厳禁で行ってください
- 排気ガスには一酸化炭素（CO）などの有害な成分が含まれているため、エンジンは、風通しの良い場所でかけてください

安全運転のために

- 走行中、運転者は両手でハンドルを握り、両足をステップに置いてください
- 同乗者が両手でからだを固定し、両足を後席用ステップにのせているか確認してください
- 急激なハンドル操作や片手運転などはさけ、安全な運転を心がけてください
- 同乗者、他の車両、歩行者などに対する配慮を欠かさないでください
- ウインドスクリーン、フェアリングと車体の間に物を置かないでください。

次ページに続く

乗車時の服装

運転者と同乗者は必ずヘルメットを着用し、天候や走行状況に応じ、安全性が高く運転操作のしやすい、被視認性の高い二輪車用の服装を着用してください。

ヘルメット

安全基準を満たし、頭のサイズにあった視認性の高いもの

- 二輪車用で PSC、SG マークか JIS マークのあるものを推奨します
- 正しくかぶり、あごひもを確実に締めてください
- 視界を妨げないフェイスシールドまたはゴーグルなどを使用し、眼を保護してください

⚠ 警告

ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

運転者と同乗者は乗車時、必ずヘルメット、保護具および保護性の高い服を着用してください。

グローブ

摩擦に強い皮製のもの

ブーツまたはライディングシューズ

滑りにくく、くるぶしまで覆われたもの

ジャケット・パンツ

プロテクターを備え、体の露出の少ない長袖・長ズボン

運転するときの注意

リチウムイオンバッテリー

リチウムイオンバッテリーから異臭がしたときは、リチウムイオンバッテリーの異状が考えられます。直ちに屋外の安全な場所に車を止めて、火元を遠ざけ、メインスイッチを○（Off）にして、Honda 販売店にご連絡ください。

慣らし運転

適切な慣らし運転を行うと、お車の性能をより良い状態に保つことができます。

慣らしのポイント（走行距離 500 km まで）

- 急発進、急加速をさける
- 急ブレーキ、急なシフトダウンをさける
- 控えめな運転をする

ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 制動力を効果的に得るために前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う
- 不必要な急ブレーキ、急なシフトダウンをしない
  - ► タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
  - ► コーナリングの際は、コーナーの手前で減速してください。
- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
  - ► タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。
- 連続したブレーキ操作をしない
  - ► 長い坂や急な坂で繰り返しブレーキをかけると、ブレーキの温度が上昇して効きが悪くなるおそれがあります。エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作を併用してください。

次ページに続く

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABS は、直進制動時のブレーキのかけすぎによる車輪ロックを制御する装置です。
ABS は、IMU（慣性センサー）からの情報をもとに制御します。
ABS を正常に機能させるため、必ず前後とも指定のタイヤ、スプロケットをお使いください。

- 制動距離を短くするためのものではない
  - ▶ ABS を装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
- 低速（約 10 km/h 以下）では普通のブレーキと同じ作動になる
- ブレーキ操作時に、レバーやペダルに反動が生じることがある
  - ▶ ABS が作動しているときの現象で異状ではありません。反動の強さは状況によって異なります。

エンジンブレーキ

スロットルを戻すと、エンジンブレーキが効きます。さらにエンジンブレーキを必要とするときは 5 速、4 速・・・とシフトダウンを行ってください。急激なシフトダウンは、尻振りなどの原因や、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。また、長い下り坂や急な下り坂などでは、断続的なブレーキ操作とエンジンブレーキを併用してください。

雨天または水たまりを走行したとき

路面が滑りやすくなったり、ブレーキの効き具合が変化します。慎重なブレーキ操作を心がけてください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレーキを乾かしてください。

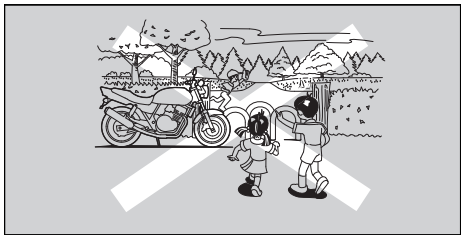
駐車するとき

- 交通の邪魔にならない平坦で足場のしっかりした安全な場所に駐車する
- やむをえず傾斜地や足場の悪い場所に駐車するときは、車の転倒や動き出しがないよう安全処置に十分注意する
- 盗難防止のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーを抜く

サイドスタンドでの駐車

1. メインスイッチを○（Off）にする。
   サイドスタンドを下げ、車の重量がサイドスタンドにかかるまで、車をゆっくり左に傾ける。
   ▶ ハンドルを右にきった状態での駐車は、車が不安定になり、転倒するおそれがあります。
2. ハンドルバーを左いっぱいにきる。
3. ハンドルロックをかけ、キーを抜く。 P. 117

- マフラーなどが熱くなっているので、他の方が触れることのない場所に駐車する





次ページに続く

● エンジン回転中および停止後しばらくの間はマフラー、エンジンなどに触れない



⚠ 注意

マフラー、エンジン、ブレーキなどは、エンジン回転中および停止後しばらくの間は熱くなっています。触れるとヤケドを負う可能性があります。

- マフラー、エンジン、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで触れないこと
- 高温になる部分に可燃物が接触せず、他の方が触れることのないよう配慮すること

燃料補給およびガソリンの取り扱い

エンジン、燃料装置、触媒装置の損傷を防ぐため、下記に注意してください。

- 無鉛レギュラーガソリンを使用する
- 高濃度アルコール含有燃料を補給しない
- 軽油や粗悪ガソリン（長期間保管したガソリン）、または不適切な燃料添加剤を使わない
- 燃料タンクの中に、泥、ほこり、水などを入れない

⚠ 警告

ガソリンは燃えやすくヤケドを負ったり爆発して重大な傷害に至る可能性があります。また身体に帯電した静電気の火花により引火する可能性があります。

ガソリンを取り扱うときは以下のことを守ってください。

- エンジンを止め、火元を遠ざける
- 給油は必ず屋外で行う
- こぼれたガソリンは、すぐに拭き取る
- 給油作業前に車体や給油機などの金属部分に触れて静電気を除去する

次ページに続く

Honda セレクタブル トルク コントロール

このシステムは、アクセルオンの状態で後輪の空転を検知した際に、選択したトルクコントロールレベルに応じて後輪への駆動力を制限します。
くわえて、加速時の急激なウイリーをトルクコントロールレベルに応じて緩和します。

- トルクコントロールレベルを低く設定した場合、アクセルオンの状態で後輪が空転する場合がある
  - ▶ 運転技術、運転状況に応じてトルクコントロールレベルを選んでください。
- トルクコントロールは減速時には作動せず、エンジンブレーキによる後輪のロックは防止しない
  - ▶ スロットルを急に閉じる操作はさけてください。特に、滑りやすい路面ではさけてください。
- トルクコントロールは、急なスロットル操作や誤ったスロットル操作、道路状態などを補完するものではない
  - ▶ 天候や路面状況に対して常に十分な注意をしてください。
- トルクコントロールを停止状態（OFF）にすることで、ぬかるみ、雪、砂地などからの脱出が容易になる場合やオフロード走行時にバランスやコントロールの維持が容易になる場合がある

トルクコントロールを正常に機能させるため、タイヤやエンジンおよび後輪側のスプロケットは指定のものをお使いください。

アクセサリーと改造について

アクセサリーを装着する際は、安全面から Honda 純正アクセサリーを推奨します。Honda 販売店にご相談ください。
Honda 販売店で取り付けられた Honda アクセサリーなどの取り扱いについては、その商品に付属の説明書をお読みください。
車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、排気音を大きくしたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることはもちろん、他の迷惑行為となります。
車の改造は保証の適用を除外されます。

⚠ 警告

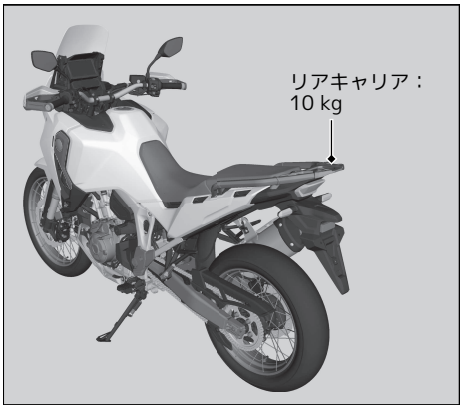
不適切なアクセサリーや改造は、万一の事故の際、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

アクセサリーを装着する際は、Honda 販売店にご相談のうえ、取扱説明書に従ってください。

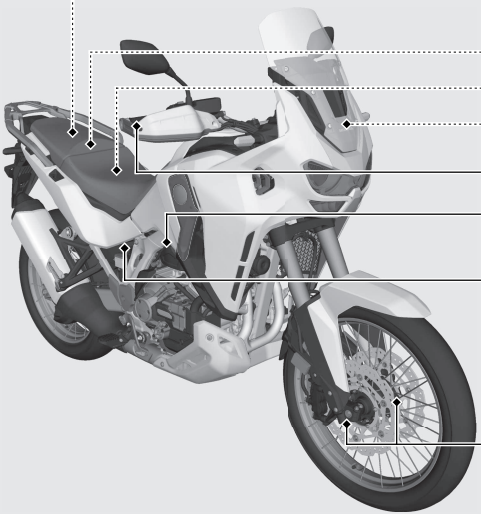
積載について

- 荷物を積むと積まないときにくらべて操縦安定性が変わるため、安全な速度で走行してください
- 荷物の積みすぎに注意し、確実に固定して安全な速度で走行してください
- ハンドル操作ができなくなる場合があるので、ハンドル付近に物を置かないでください
- ヘッドライト、ウィンカー、ストップ／テールランプ、マフラー周辺への積載はさけてください
  - ▶ 過熱によりレンズが溶けたり、荷物が損傷する場合があります。
- カバー等が破損する場合があるので、指定の場所以外に荷物を積まないでください
  - ▶ 走行やハンドル操作に支障をきたすことがあります。
- 貴重品やこわれ易いものは積まないでください

- 荷物の積載は下記重量までです
  リアキャリア：10 kg



各部の名称



ヒューズプーラー、プラス／マイナスドライバー、ドライバーハンドル、六角レンチ
P.239

ETC 車載器 P.244

書類入れ P.238

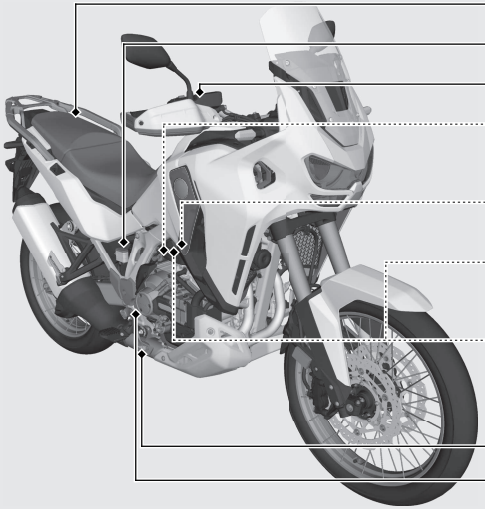
ETC アンテナ P.244

スロットルグリップ P.277

バッテリーボックスカバー P.260

リアサスペンション縮み側減衰力アジャスター
CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉
P.287

フロントサスペンション縮み側減衰力アジャスター
CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉
P.281



リアシート P.264

後輪ブレーキリザーバータンク P.269

前輪ブレーキリザーバータンク P.269

メインヒューズ、ABS メインヒューズ P.313

ブリーザードレーン P.276

FI ヒューズ、メイン 2 ヒューズ
マニュアルトランスミッションタイプ P.314

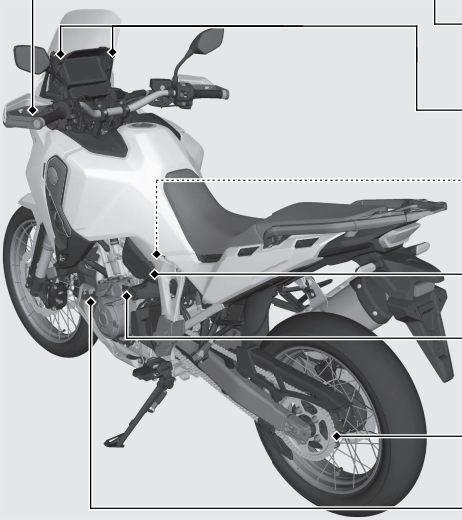
FI ヒューズ、メイン 2 ヒューズ、DCT メインヒューズ Dual Clutch Transmission タイプ P.315

後輪ブレーキペダル

冷却水リザーバータンク P.267

次ページに続く

各部の名称 前ページの続き



クラッチレバー
マニュアルトランスミッションタイプ ➡P.273

パーキングブレーキレバー
Dual Clutch Transmission タイプ ➡P.125
➡P.271

ウインドスクリーンロックレバー ➡P.289

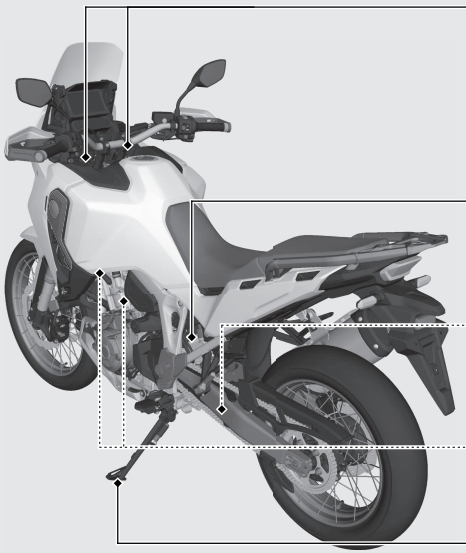
バッテリー ➡P.259

携帯工具、携帯工具ボックス ➡P.239 ➡P.258

オイルフィルキャップ ➡P.265

ドライブチェーン ➡P.272

オイルレベルゲージ ➡P.265



フロントサスペンションスプリングアジャスター、伸び側減衰力アジャスター

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

➡P.279 ➡P.280

リアサスペンションスプリングアジャスター

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

➡P.283

リアサスペンション伸び側減衰力アジャスター

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

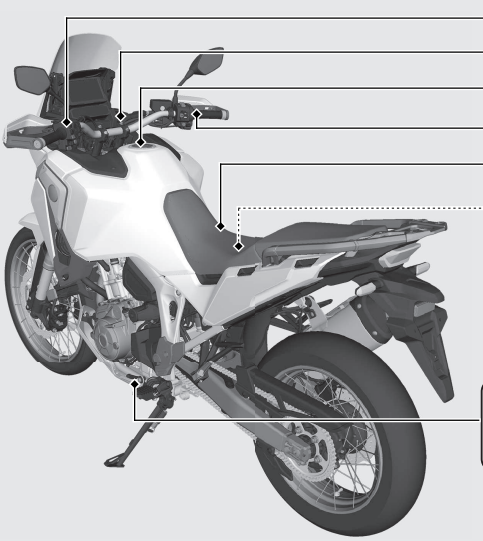
➡P.286

ブリーザードレーン ➡P.276

サイドスタンド ➡P.7

次ページに続く

各部の名称 前ページの続き



アクセサリーソケット P.234

USB ソケット P.235

燃料タンクキャップ P.232

前輪ブレーキレバー P.278

フロントシート P.261

ヒューズボックス、ABS FSR ヒューズ P.312

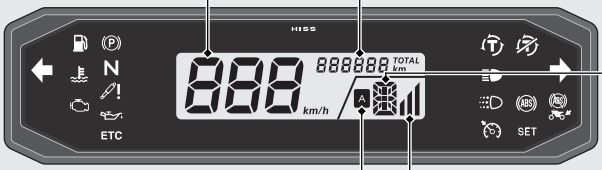
シフトレバー

マニュアルトランスミッションタイプ P.215

メーター

オドメーター[TOTAL]
総走行距離を表示します。
"------" が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

スピードメーター（速度計）



AT インジケーター
Dual Clutch Transmission タイプ
AT モード時に表示します。 P.219

ディスプレイの初期表示
メインスイッチを ▎（On）にすると、全ての表示があらわれます。表示されない部分がある場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ギアポジション表示

マニュアルトランスミッションタイプ

ギアポジションを表示します。

▶ トランスミッションが適切なシフトになっていない場合"-" が表示されます。

Dual Clutch Transmission タイプ

MT モード選択時にギアポジションを表示します。

ギアポジション表示は、下記の場合に点滅することがありますが異状ではありません。

▶ 前輪が地面から離れた場合

▶ メンテナンススタンドを立てるなどして、車輪を空転させた場合

この場合はメインスイッチを ○（Off） にし、再度メインスイッチを |（On） にします。

D モード（AT モード）選択時"D"を表示します。

S モード（AT モード）選択時"S"を表示します。

走行中にギアポジション表示の"-" 表示が点滅したときは ➡P.297

S モードレベルインジケーター ➡P.220

Dual Clutch Transmission タイプ

S モード選択時、レベルに応じて S モードレベルインジケーターが表示されます。

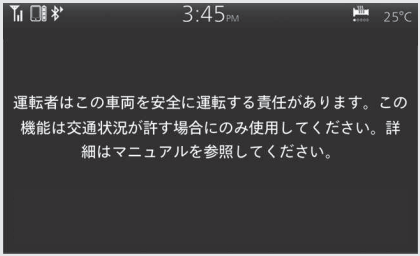
メーター 前ページの続き

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイは、各種機能の情報画面や設定画面が表示されます。マルチインフォメーションディスプレイはタッチパネルになっています。画面をタッチして操作できます。

- 安全のために、走行中に操作できない機能があります。操作できない機能については、安全な場所に停車して操作してください。

メインスイッチを▌（On）にすると画面に注意メッセージが表示されます。内容を確認してください。数秒後、ホーム画面に遷移します。



ホーム画面

ホーム画面から各種機能の情報画面や設定画面に遷移できます。

ホーム画面を表示するには **P.35**



Riding Information

Riding Information を表示します。
Riding Information は ゴールドイメージディスプレイ、シルバーイメージディスプレイまたはブロンズイメージディスプレイから選択することができます。

これらの表示は、ライディングモードに応じて切り替わります。
ゴールドイメージディスプレイ **P.24**
シルバーイメージディスプレイ **P.29**
ブロンズイメージディスプレイ **P.32**
各ライディングモードの表示設定を変更する **P.79**

Phone

Bluetooth に対応している携帯電話を使って電話をかけることができます。

Audio

Bluetooth デバイスから音楽を再生できます。

設定

各種設定を変更することができます。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

Riding Information

ゴールドイメージディスプレイ



外気温度計 P.64

時計（12 時間または 24 時間表示）
P.88

ライディングモード
表示 P.136

サイドスタンド
インジケーター P.64

サブインフォメーション
インジケーター P.38

クルーズコントロール設定車速
クルーズコントロール設定車速を
表示します。
クルーズコントロールの設定：
P.223

スピードメーター（速度計）

タコメーター（エンジン回転計）

アドバイス
エンジン回転数がレッドゾーンに入らないように運転してください。エンジン寿命に悪影響を与えます。

レッドゾーン
（エンジン限界回転域）

燃料計

マークが1つ（E）だけ点滅したときの燃料残量：

約 3.6 ℓ CRF1100L Africa Twin 〈s〉 CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈s〉

約 3.9 ℓ CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

燃料計の故障表示 P.298



アドバイス
燃料計が1つ（E）に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

トルクコントロール [T] レベルインジケーター P.126
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

[EB] [エンジンブレーキ] レベルインジケーター P.136
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

[P] [パワー] レベルインジケーター P.136
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。



G スイッチ [G] インジケーター P.122 Dual Clutch Transmission タイプ
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ABS モード [ABS] インジケーター P.118
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ハンドルグリップヒーターステータスアイコン

ハンドルグリップヒーターを ON に設定すると ステータスアイコンが表示されます。 P.241

走行中またはアイドリング中に点滅したときは P.299

ギアポジション表示

マニュアルトランスミッションタイプ

ギアポジションを表示します。

▶ トランスミッションが適切なシフトになっていない場合"-" が表示されます。

Dual Clutch Transmission タイプ

D モード、S モード選択時（オートマチックモード）および、マニュアルモード選択時にギアポジションを表示

ギアポジション表示は、下記の場に点滅することがありますが異状ではありません。

▶ 前輪が地面から離れた場合

▶ メンテナンススタンドを立てるなどして、車輪を空転させた場合

この場合はメインスイッチを ○（Off） にし、再度メインスイッチを |（On） にします。

走行中にギアポジション表示の"-" 表示が点滅したときは P.297

S モード選択時、レベルに応じて S モードレベルインジケーターが表示されます。



S モードレベルインジケーター P.219

Dual Clutch Transmission タイプ

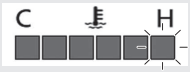
次ページに続く

水温計

水温が一定の温度を超えると、水温警告灯が点灯し、水温計のマーク全てが赤になり、水温計のマークが１つ（H）だけ点滅

走行中またはアイドリング中に点滅したときは P.293

水温計の故障表示 P.298





サスペンションダンピング [S] [Overall] インジケーター P.136

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

シルバーイメージディスプレイ



時計（12 時間または 24 時間表示） P.88

サイドスタンドインジケーター P.64

ライディングモード表示 P.136

サブインフォメーションインジケーター P.38

[P] [パワー] レベルインジケーター P.136
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

[EB] [エンジンブレーキ] レベルインジケーター P.136
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

トルクコントロール [T] レベルインジケーター P.126
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ABS モード [ABS] インジケーター P.118
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

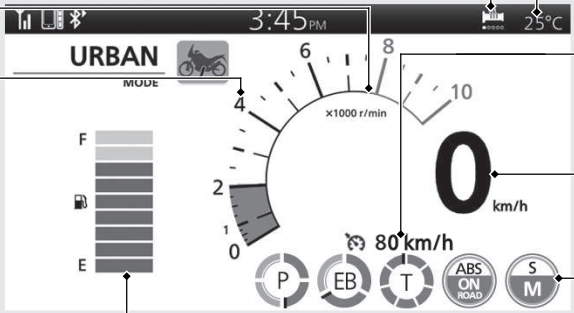
次ページに続く

ハンドルグリップヒーターステータスアイコン
ハンドルグリップヒーターを ON に設定すると ステータスアイコンが表示されます。 P.241
走行中またはアイドリング中に点滅したときは P.299

レッドゾーン
（エンジン限界回転域）

タコメーター
（エンジン回転計）

アドバイス
エンジン回転数がレッドゾーンに入らないように運転してください。エンジン寿命に悪影響を与えます。



外気温度計 P.64

クルーズコントロール設定車速

クルーズコントロール設定車速を表示します。

クルーズコントロールの設定： P.223

スピードメーター（速度計）

サスペンションダンピング [S] [Overall] インジケーター P.136

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

燃料計

マークが1つ（E）だけ点滅したときの燃料残量：

約 3.6 ℓ CRF1100L Africa Twin 〈S〉 CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈S〉

約 3.9 ℓ CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

燃料計の故障表示 P.298



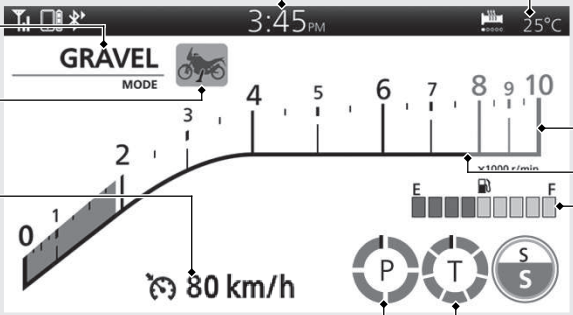
アドバイス

燃料計が1つ（E）に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

ブロンズイメージディスプレイ



外気温度計 P.64

時計（12 時間または 24 時間表示）
P.88

ライディングモード表示 P.136

サイドスタンドインジケーター P.64

クルーズコントロール設定車速
クルーズコントロール設定車速を表示します。
クルーズコントロールの設定：
P.223

[P] [パワー] レベルインジケーター P.136
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

トルクコントロール [T] レベルインジケーター P.126
インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

タコメーター（エンジン回転計）

アドバイス
エンジン回転数がレッドゾーンに入らないように運転してください。
エンジン寿命に悪影響を与えます。

レッドゾーン
（エンジン限界回転域）

燃料計
マークが１つ（E）だけ点滅したときの燃料残量：
約 3.6 ℓ CRF1100L Africa Twin 〈s〉 CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈s〉
約 3.9 ℓ CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission
燃料計の故障表示 P.298

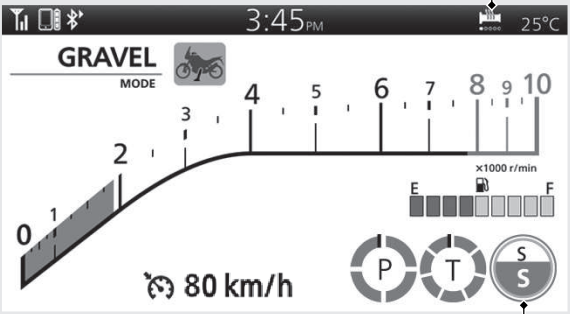
アドバイス
燃料計が１つ（E）に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

ハンドルグリップヒーター ステータスアイコン
ハンドルグリップヒーターを ON に設定すると ステータスアイコンが表示されます。
P.241
走行中またはアイドリング中に点滅したときは P.299



サスペンションダンピング [S] [Overall] インジケーター P.136

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

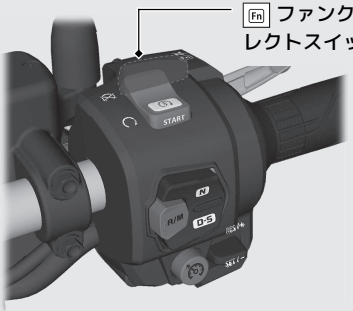
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

インジケーターが点滅した場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

基本操作

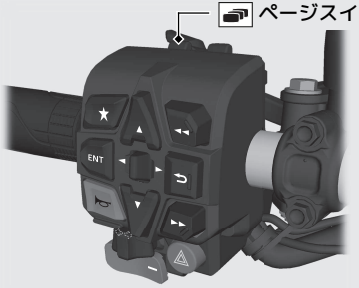
左ハンドルバーの各スイッチ、右ハンドルバーの Fn ファンクションセレクトスイッチまたはタッチパネルを操作して各種機能の操作および設定を行うことができます。

ただし、安全のために、走行中に操作できない機能があります。操作できない機能については、安全な場所に停車して操作してください。



ホーム画面に戻るには

左ハンドルバーの ページスイッチを後に押し続けるか、車両が停止しているときにマルチインフォメーションディスプレイの時計部をタッチする。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

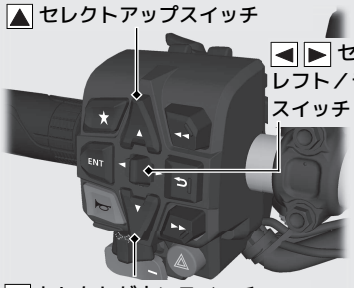
メニューを選択するには

左ハンドルバーで操作するには：

▲ または ▼ を押してメニューを選択します。

左ハンドルバーの ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチで操作するには：

◀ または ▶ を押してメニューを選択します。



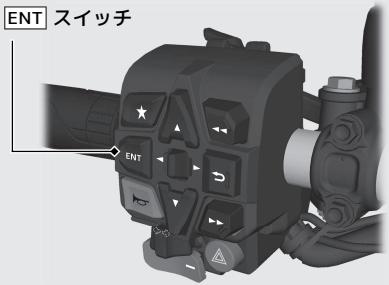
タッチスクリーンで操作するには：

選択するメニューをタッチします。

選択したメニューを決定するには

左ハンドルバーで操作するには：

左ハンドルバーの ENT スイッチを押して選択したメニューを決定する。

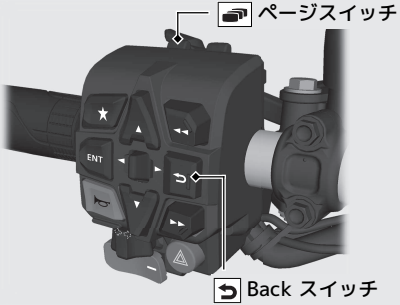


タッチスクリーンで操作するには：

選択するメニューをタッチします。

設定画面を終了するには

Riding Information に戻るには：
左ハンドルバーの ページスイッチを後に押す。
ホーム画面を表示するには：
左ハンドルバーの ページスイッチを後に押し続ける。
前の画面に戻るには：
左ハンドルバーの Back スイッチを押す。



タッチスクリーンで操作するには：
タッチスクリーンの をタッチする。
また、車速が約 6 km / h に達すると設定モードは終了します。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

Page 1：

Page 1 は次の項目を表示します：トリップメーター A [トリップ A] および トリップメーター A [トリップ A] に関連する下記項目またはトリップメーター B [トリップ B]から選択された 3 つの項目を表示します。 P.84

- トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費] P.43
- トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度] P.44
- トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量] P.45
- トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間] P.46
- 表示なし P.58



Page 2：

Page 2 は次の項目を表示します：トリップメーター B [トリップ B] および トリップメーター B [トリップ B] に関連する下記項目から選択された 3 つの項目を表示します。 P.84

- トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費] P.48
- トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度] P.49
- トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量] P.50
- トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間] P.51
- 表示なし P.58



次ページに続く

メーター 前ページの続き

Page 3：

Page 3 には下記項目から選択された 4 つの項目を表示します。 P.84

- 瞬間燃費 [瞬間燃費] P.52
- 走行可能距離 [範囲] P.53
- バッテリー電圧 [電圧] P.54
- 日付 [日付] P.54
- 平均燃費 [平均燃費] P.55
- 燃料消費量 [燃料消費量] P.56
- 経過時間 [経過時間] P.56
- 減算トリップメーター [-トリップ] P.57
- 表示なし P.58



Page 4：

Page 4 には下記項目の設定値を表示します。

- 後輪 ABS 機能 [ABS RR] P.59
- トルクコントロール [HSTC] レベル P.60
- ウィリーコントロール [W] レベル P.61
- CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
  CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission
  リアサスペンションスプリングの強さ [プリロード] P.62
- Dual Clutch Transmission タイプ
  G スイッチ [G] P.63



次ページに続く

メーター 前ページの続き

Page を変更するには

❶ゴールドイメージディスプレイを選択する。
P.79

❷◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押 し、Page を選択する。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Page 1 と燃料計を切り換えるには

❶シルバーイメージディスプレイを選択する。
P.79

❷◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押 し、Page 1 または燃料計を選択する。

トリップメーター A [トリップ A]

トリップメーター A を 0 km にリセットしてからの走行距離を表示



"---.-" が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター A [トリップ A] をリセットするには P.66

トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]

トリップメーター A をリセットしてからの平均燃費を km/L の単位で表示
平均燃費はトリップメーター A に基づいて算出します。
表示範囲：0.0 ～ 299.9 km/L

- 初期表示は“---.-” を表示します
- 平均燃費が 299.9 km/L を超えた場合は “299.9” を表示します。
- トリップメーター A をリセットした場合は “---.-” を表示します。



“---.-” が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]をリセットするには P.66

トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]

トリップメーター A をリセットしてからの平均速度 を km/h の単位で表示
平均速度はトリップメーター A に基づいて算出します。
表示範囲：0.0 ～ 299.0 km/h

- トリップメーター A をリセットした場合は“299.0”を表示します。



トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]をリセットするには ➡P.66

トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量]

トリップメーター A をリセットしてからの燃料消費量を L の単位で表示

表示範囲：0.0 ～ 300.0 L

- 燃料消費量が 300.0 L を超えた場合は“300.0”を表示します。
- トリップメーター A をリセットした場合は“299.9”を表示します。



トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量]をリセットするには P.66

次ページに続く

トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間]

トリップメーター A をリセットしてからの経過時間を表示

表示範囲：00:00 ～ 99:59 （時間:分）

- 99:59 を超えると "99:59" でロックします。
- トリップメーター A をリセットした場合は "00:00" を表示します。



"00:00"が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間]をリセットするには P.66

トリップメーター B [トリップ B]

トリップメーター B を 0 km にリセットしてからの走行距離を表示



“---.-” が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター B [トリップ B] をリセットするには P.67

トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]

トリップメーター B をリセットしてからの平均燃費を km/L の単位で表示
平均燃費はトリップメーター B に基づいて算出します。
表示範囲：0.0 ～ 299.9 km/L

- 初期表示は"---.-" を表示します
- 平均燃費が 299.9 km/L を超えた場合は "299.9" を表示します。
- トリップメーター B をリセットした場合は "---.-" を表示します。



"---.-" が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]をリセットするには P.67

トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]

トリップメーター B をリセットしてからの平均速度 を km/h の単位で表示
平均速度はトリップメーター B に基づいて算出します。
表示範囲：0.0 ～ 299.0 km/h

- トリップメーター B をリセットした場合は “299.0”を表示します。



トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]をリセットするには P.67

次ページに続く

トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量]

トリップメーター B をリセットしてからの燃料消費量を L の単位で表示

表示範囲：0.0 ～ 300.0 L

- 燃料消費量が 300.0 L を超えた場合は“300.0”を表示します。
- トリップメーター B をリセットした場合は“299.9”を表示します。



トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量]をリセットするには P.67

トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間]

トリップメーター B をリセットしてからの経過時間を表示

表示範囲：00:00 ～ 99:59（時間:分）

- 99:59 を超えると “99:59” でロックします。
- トリップメーター B をリセットした場合は “00:00” を表示します。



“00:00”が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間]をリセットするには P.67

瞬間燃費 [瞬間燃費]

瞬間燃費を km/L の単位で表示

表示範囲：0.0 ～ 299.9 km/L

- 速度が 3 km/h 未満の場合は"---.-" を表示します。
- 瞬間燃費が 299.9 km/L を超えた場合は "299.9" を表示します。



"---.-" が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

走行可能距離 [範囲]

燃料タンク内の燃料残量から算出して走行可能な距離を km の単位で表示します。
走行する環境などにより、多少の誤差が生じることがあります。
表示範囲：999 ～ 0 km

- 走行可能距離が 999 km を超えた場合は“999”を表示します。
- 初期表示は“0” を表示します
- 算出された走行可能距離が 5 km 未満、または燃料残量が 1.0 L 未満の場合は“---” を表示します。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

バッテリー電圧 [電圧]

バッテリー電圧を V の単位で表示
表示範囲：7.5 ～ 18.5 V



"---.-" が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

日付 [日付]

今日の日付を表示



日付の設定をするには P.88

平均燃費 [平均燃費]

平均燃費をリセットしてからの平均燃費を km/L の単位で表示

表示範囲：0.0 ～ 299.9 km/L

- 初期表示は“---.-” を表示します
- 平均燃費が 299.9 km/L を超えた場合は “299.9” を表示します。
- 平均燃費をリセットした場合は“---.-” を表示します。



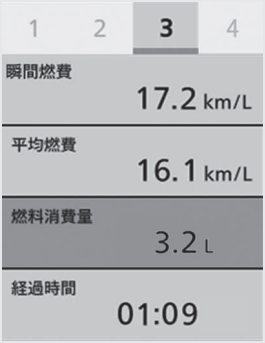
“---.-” が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

平均燃費 [平均燃費]をリセットするには
P.68

燃料消費量 [燃料消費量]

エンジンを始動してからの燃料消費量を表示
表示範囲：0.0 ～ 300.0 L

- 燃料消費量が 300.0 L を超えた場合は“300.0”を表示します。
- エンジン始動直後は“---.-”を表示します。



経過時間 [経過時間]

エンジンを始動してからの経過時間を表示
表示範囲：00:00 ～ 99:59 （時間:分）

- 99:59 を超えると “99:59” でロックします。



“00:00”が点滅したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

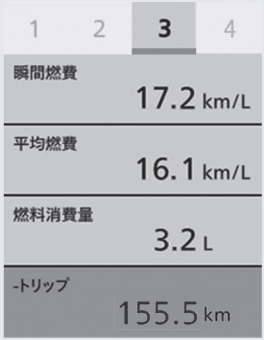
減算トリップメーター [-トリップ]

減算トリップメーターを設定するとリセットされる

設定値からリセット後走行した距離を km の単位で表示

表示範囲：999.0 ～ -1,609.0 km

-1609.0 km を超えると “-1609.0” でロックします。



減算トリップメーターの設定をするには

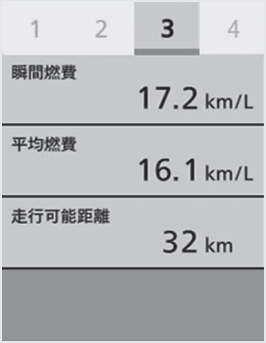
P.76

デフォルト設定： 000

次ページに続く

表示なし

項目の表示なし（ブランク）



後輪 ABS 機能 [ABS RR]

後輪 ABS 機能 [ABS RR] の設定値を表示



設定範囲：[ACTIVE]（有効）／[CANCEL]（無効）

デフォルト設定：[ACTIVE]（有効）

後輪 ABS 機能 [ABS RR] の設定を変更するには P.118

トルクコントロール [HSTC] レベル

トルクコントロール [HSTC] レベルの設定値を表示



設定範囲：レベル 1 ～ 7 または 0 （Off）

トルクコントロール [HSTC] レベルの設定を変更するには P.127

ウィリーコントロール [W] レベル

ウィリーコントロール [W] レベルの設定値を表示



設定範囲： レベル 1 ～ 3 または 0（Off）

ウィリーコントロール [W] レベルの設定を変更するには P.132

次ページに続く

リアサスペンションスプリングの強さ［プリロード］

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

リアサスペンションスプリングの強さ［プリロード］の設定値を表示



アイコン	走行状況
	ライダーのみ（最弱設定）
	ライダーおよび荷物積載
	二名乗車
	二名乗車および荷物積載（最強設定）

デフォルト設定：ライダーのみ

リアサスペンションスプリングの強さ［プリロード］の設定を変更するには P.284

G スイッチ [G]

Dual Clutch Transmission タイプ

G スイッチ [G] の設定値を表示



設定範囲：[ACTIVE]（on）／[CANCEL]（off）

デフォルト設定：

- [TOUR MODE]：[CANCEL]（off）
- [URBAN MODE]：[CANCEL]（off）
- [GRAVEL MODE]：[CANCEL]（off）
- [OFF ROAD MODE]：[ACTIVE]（on）
- [USER 1 MODE]：[CANCEL]（off）
- [USER 2 MODE]：[CANCEL]（off）

G スイッチ [G] の設定を変更するには
P.122

次ページに続く

メーター 前ページの続き

サイドスタンドインジケーター

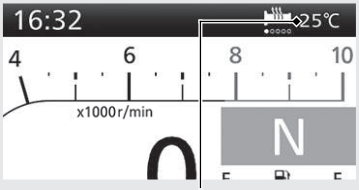
サイドスタンドが下りていると、サイドスタンドインジケーターを表示します。サイドスタンドを格納すると通常表示に戻ります。



サイドスタンドインジケーター

外気温度計

外気温を表示します。



外気温度計

表示範囲：-10 ℃ ～ 50 ℃

- - 11 ℃以下の場合は"---" を表示します。
- 50 ℃以上の場合は"50 ℃" が点滅します。

速度がおよそ 30km/h 以下のとき、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

クルーズコントロール設定車速

クルーズコントロール設定車速を表示します。



クルーズコントロール設定車速

クルーズコントロールの設定 P.223

メーター 前ページの続き

トリップメーター A [トリップ A]、トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]、トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]、トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量] 、トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間] のリセット

トリップメーター A [トリップ A] をリセットすると、トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]、トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]、トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量] 、トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間]も同時にリセットされます。

トリップメーター A [トリップ A] をリセットするには、Page 1 表示中に ENT ボタンを押し続けるまたは、Page 1 のエリアをタッチし続けます。



トリップメーター B [トリップ B]、トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]、トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]、トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量] 、 トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間] のリセット

トリップメーター B [トリップ B] をリセットすると、トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]、トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]、トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量] 、トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間]も同時にリセットされます。

トリップメーター B [トリップ B] をリセットするには、Page 2 表示中に ENT ボタンを押し続けるまたは、Page 2 のエリアをタッチし続けます。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

平均燃費 [平均燃費] のリセット

平均燃費 [平均燃費] をリセットするには、Page 3 表示中に ENT ボタンを押し続けるまたは、Page 3 のエリアをタッチし続けます。



各種項目の設定

マルチインフォメーションディスプレイのメニューへの移行

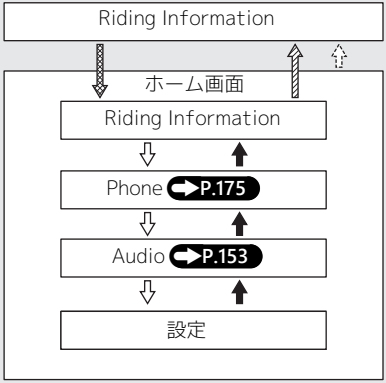
⟹ ページスイッチを後に押し続ける、またはマルチインフォメーションディスプレイの時計部をタッチする

⟹ [Riding Information] を選択し、ENT スイッチを押す、またはマルチインフォメーションディスプレイの [Riding Information] をタッチする

⇢ ページスイッチを後に押す

➡ ▲ セレクトアップスイッチを押す

⟹ ▼ セレクトダウンスイッチを押す



次ページに続く

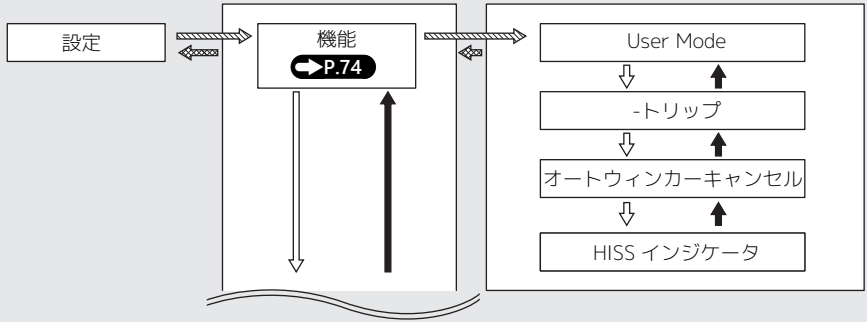
メーター 前ページの続き

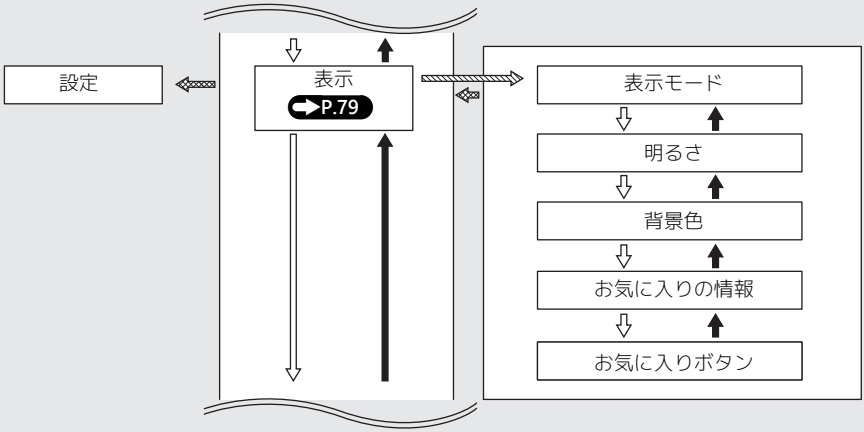
ENT スイッチを押す

Back スイッチを押すまたは、マルチインフォメーションディスプレイの をタッチする

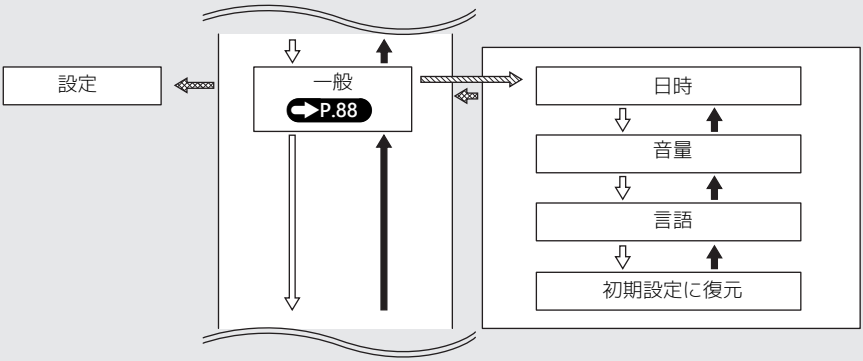
▲ セレクトアップスイッチを押す

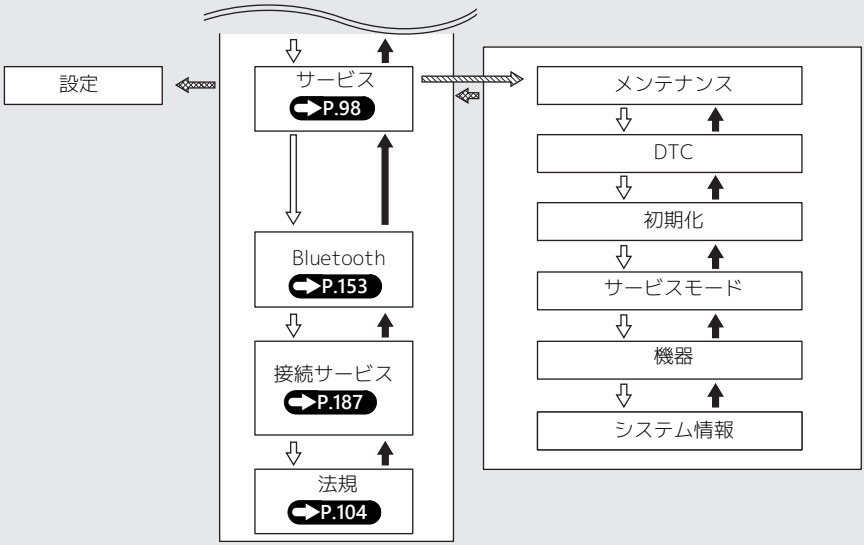
▼ セレクトダウンスイッチを押す





次ページに続く


設定
一般
P.88
日時
音量
言語
初期設定に復元


設定
サービス
P.98
Bluetooth
P.153
接続サービス
P.187
法規
P.104
メンテナンス
DTC
初期化
サービスモード
機器
システム情報

次ページに続く

メーター 前ページの続き

機能

以下の項目を変更することができます。

- User Mode（このページ）
- -トリップ P.76
- オートウィンカーキャンセル P.77
- HISS インジケータ P.78

User Mode

[USER 1 MODE]および [USER 2 MODE] の [パワー]、[エンジンブレーキ]、[OverallI] *1、[Front] *1、[Rear] *1、[ABS]、[プリロード] *1 の値を変更できます。

*1 ：CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

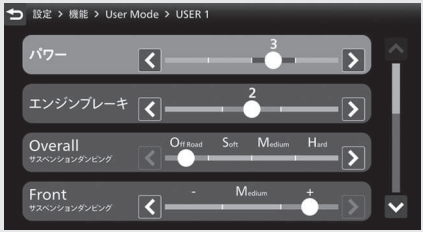


❶ [User Mode] を選択し、ENT スイッチを押す。
❷ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを使って［User 1］または［User 2］を選択し、ENT スイッチを押す。



❸ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、設定するメニューを選択する。

❹ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して好みのレベルを選択する。
▶ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押し続けると早く進みます。



❺ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

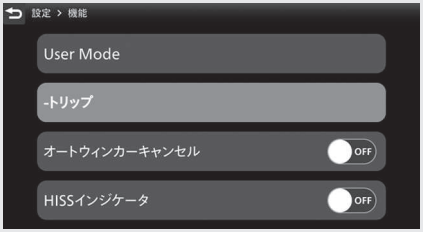
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲： P.140
デフォルト設定： P.138

次ページに続く

-トリップ

減算トリップメーター [-トリップ] の値を変更できます。



❶ [-トリップ] を選択し、ENT スイッチを押す。
❷ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して、変更する桁を選択する。
❸ 値を大きくするには：目的の値が表示されるまで ▲ セレクトアップスイッチを押す。
値を小さくするには：目的の値が表示されるまで ▼ セレクトダウンスイッチを押す。
► ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押し続けると早く進みます。



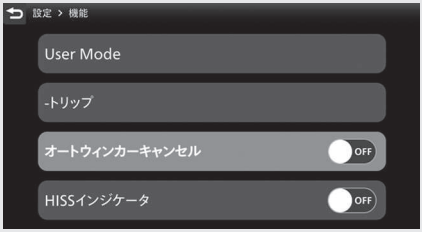
❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲： 000 ～ 999
デフォルト設定： 000

オートウィンカーキャンセル

オートウィンカーキャンセルの作動と解除の切り換えを行います。



❶[オートウィンカーキャンセル]を選択し、ENTスイッチを押して[ON]（有効）または[OFF]（無効）を切り換える。

❷Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.37

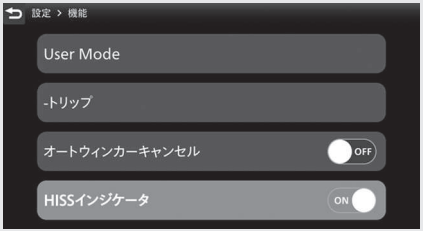
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：[ON]（有効）／[OFF]（無効）

デフォルト設定：[ON]（有効）

HISS インジケータ

HISS 表示灯の点滅の ON、OFF を切り換えることができます。



1. [HISS インジケータ] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（点滅） または [OFF]（非点滅） を切り換える。
2. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：[ON]（点滅）／[OFF]（非点滅）
デフォルト設定：[ON]（点滅）

表示

以下の項目を変更することができます。

- 表示モード （このページ）
- 明るさ P.81
- 背景色 P.82
- お気に入りの情報 P.84
- お気に入りボタン P.86

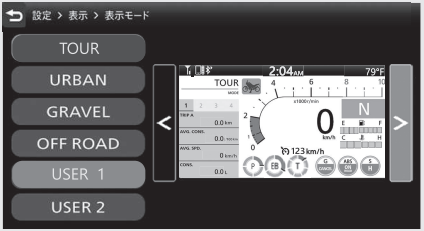
表示モード

Riding Information の表示モードを選択できます。



メーター 前ページの続き

1. [表示モード] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、設定するメニューを選択する。
3. ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して好みの表示モードを選択する。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：ゴールドイメージディスプレイ／シルバーイメージディスプレイ／ブロンズイメージディスプレイ

デフォルト設定：

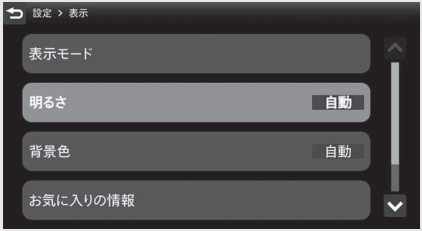
- [TOUR MODE]：ゴールドイメージディスプレイ
- [URBAN MODE]：シルバーイメージディスプレイ
- [GRAVEL MODE]：シルバーイメージディスプレイ
- [OFF ROAD MODE]：ブロンズイメージディスプレイ
- [USER 1 MODE]：シルバーイメージディスプレイ
- [USER 2 MODE]：ブロンズイメージディスプレイ

明るさ

バックライトの明るさを自動調節または手動設定で調整できます。

ディスプレイが高温になると画面が暗くなることがあります。温度が下がっても画面の明るさが戻らない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ディスプレイの自動調光 P.321



1. [明るさ] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. [自動] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（自動） または [OFF]（手動設定） を切り換える。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

❸ [OFF]（手動設定）を選択している場合、◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して好みのレベルを選択する。
▶ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押し続けると早く進みます。



❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

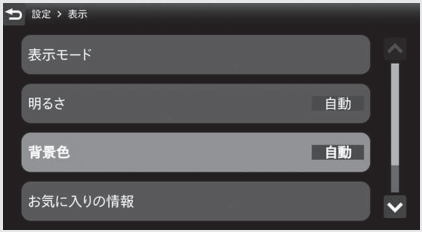
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲： レベル 1 ～ 8 または [自動]
デフォルト設定： [自動]

背景色

ディスプレイの背景色を設定できます。

背景色の自動切り換え P.321



❶ [背景色] を選択し、ENT スイッチを押す。
❷ [自動] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（自動）または [OFF]（手動設定）を選択する。
❸ [ON]（自動）を選択している場合、◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して好みのレベルを選択する。
▶ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押し続けると早く進みます。



[OFF]（手動設定）を選択している場合、▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、[白] または [黒] を選択する。



❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：自動 レベル 1 ～ 7、[白] または [黒]
デフォルト設定： 自動 1

次ページに続く

メーター 前ページの続き

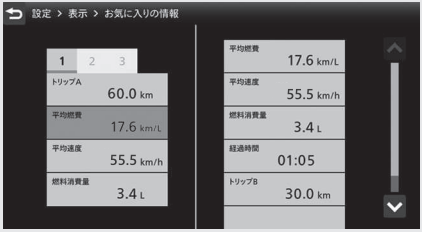
お気に入りの情報

以下の項目を選択できます。

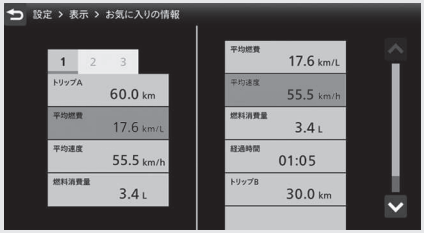
- Page 1
  - トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]
  - トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]
  - トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
  - トリップメーター A に基づく経過時間 [経過時間]
  - トリップメーター B [トリップ B]
  - 表示なし
- Page 2
  - トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]
  - トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]
  - トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
  - トリップメーター B に基づく経過時間 [経過時間]
  - 表示なし
- Page 3
  - 瞬間燃費 [瞬間燃費]
  - 走行可能距離 [範囲]
  - バッテリー電圧 [電圧]
  - 日付 [日付]
  - 平均燃費 [平均燃費]
  - 瞬間燃費 [燃料消費量]
  - 経過時間 [経過時間]
  - 減算トリップメーター [-トリップ]
  - 表示なし



❶ [お気に入りの情報] を選択し、ENT スイッチを押す。
❷ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押してページを選択する。
❸ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して変更する項目を選択し、 ENT スイッチを押す。



❹ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して設定する項目を選択し、 ENT スイッチを押す。



❺ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

デフォルト設定：

- Page 1
  - トリップメーター A に基づく平均燃費 [平均燃費]
  - トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]
  - トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
- Page 2
  - トリップメーター B に基づく平均燃費 [平均燃費]
  - トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]
  - トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
- Page 3
  - 瞬間燃費 [瞬間燃費]
  - 走行可能距離 [範囲]
  - バッテリー電圧 [電圧]
  - 日付 [日付]

お気に入りボタン P.114



❶ [お気に入りボタン] を選択し、ENT スイッチを押す。
❷ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して選択する。



❸ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：[HSTC]／
[ウィリーコントロール]／
[ライディングモード]／
[G スイッチ] Dual Clutch Transmission タイプ

デフォルト設定：[HSTC]

次ページに続く

メーター 前ページの続き

一般

以下の項目を変更することができます。

- 日時（このページ）
- 音量 P.91
- 言語 P.94
- 初期設定に復元 P.95

日時

マルチインフォメーションディスプレイは、GPS（グローバル・ポジショニング・システム）からの電波を受信し、自動的に時計およびカレンダーを更新します。
手動での調整も可能です。



自動更新機能を[ON]（有効）にするには：

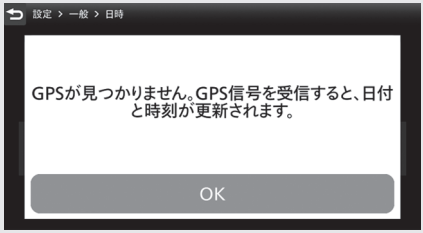
❶[日時]を選択し、ENTスイッチを押す。

❷[時刻を自動調整]を選択し、ENTスイッチを押して[ON]（有効）を選択する。



GPS信号が受信できない場合は確認メッセージが表示されます。

確認メッセージが表示された場合、確認メッセージを読み、ENTスイッチを押す。



❸Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

時計を手動で調整するには：

1. [日時] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. [時刻を自動調整] を選択し、ENT スイッチを押して [OFF]（無効）を選択する。



3. ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して日、月、年、時、分、または時間フォーマットを選択する。
   - 日、月、年、時、または分を進めるには：目的の値が表示されるまで ▲ セレクトアップスイッチを押す。
     日、月、年、時、または分を遅らせるには：目的の値が表示されるまで ▼ セレクトダウンスイッチを押す。
     ▶ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押し続けると早く進みます。
   - 時間フォーマットを切り換えるには：▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して希望の時間フォーマットに変更する。



❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：[ON]（有効）／[OFF]（無効）
デフォルト設定：[ON]（有効）

音量

オーディオシステムには車速が増すと自動的にBluetooth ヘッドセットの音量が増加する機能が装備されています。3 つの設定から選択します。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

オートボリュームの設定を変更するには：

1. [音量] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. [オートボリューム] を選択し、ENT スイッチを押す。



3. ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して選択する。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：[オフ]（無効）／[低]／[高]
デフォルト設定：[オフ]（無効）

音量を調整するには：

1. [音量] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、設定するメニューを選択する。
3. ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して好みのレベルを選択する。
   - ▶ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押し続けると早く進みます。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：

[Microphone] 以外：レベル 0 ～ 30

[Microphone] ：レベル 0 ～ 14

デフォルト設定：

- [ミュージック] (ライダー)：7
- [ミュージック] (同乗者)：7
- [電話]：7
- [システム]：7
- [着信音]：7
- [音声]：7
- [CarPlay]：7
- [Android Auto]：7
- [Microphone]：7

次ページに続く

メーター 前ページの続き

言語

システムの表示言語を変更できます。



1. [言語] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を選択する。



3. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

デフォルト設定：[日本語]

初期設定に復元

各種設定を工場出荷時の設定に戻します。



❶ [初期設定に復元] を選択し、ENT スイッチを押す。

❷ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、[いいえ]（復元しない）または [はい]（復元する）を選択する。

❸ [いいえ] を選択した場合

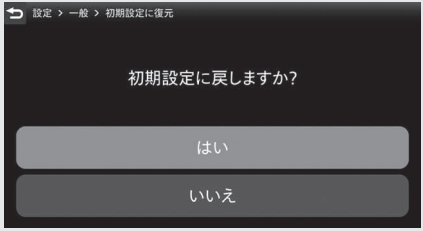
ENT スイッチを押す。

設定値を保持したまま、[一般]メニュー画面に戻ります。

[はい] を選択した場合

ENT スイッチを押す。

確認メッセージが表示されます。



❹ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、確認メッセージの [いいえ]（復元しない）または [はい]（復元する）を選択する。

次ページに続く

メーター 前ページの続き

5 [いいえ] を選択した場合

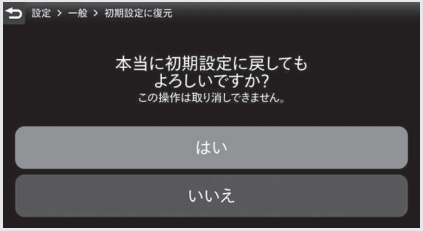
ENT スイッチを押す。

設定値を保持したまま、[一般]メニュー画面に戻ります。

[はい] を選択した場合

ENT スイッチを押す。

設定値が初期設定に戻り、［一般］メニュー画面に戻ります。



6 Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

工場出荷時の設定：

- -トリップ：000
- 表示モード：
  - ▶ [TOUR MODE]：ゴールドイメージディスプレイ
  - ▶ [URBAN MODE]：シルバーイメージディスプレイ
  - ▶ [GRAVEL MODE]：シルバーイメージディスプレイ
  - ▶ [OFF ROAD MODE]：ブロンズイメージディスプレイ
  - ▶ [USER 1 MODE]：シルバーイメージディスプレイ
  - ▶ [USER 2 MODE]：ブロンズイメージディスプレイ
- 明るさ：Auto
- 背景色：Auto 1

● お気に入りの情報：
  ▶ Page 1：
    - 平均燃費（トリップメーター A）[平均燃費]
    - トリップメーター A に基づく平均速度 [平均速度]
    - トリップメーター A に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
  ▶ Page 2：
    - 平均燃費（トリップメーター B）[平均燃費]
    - トリップメーター B に基づく平均速度 [平均速度]
    - トリップメーター B に基づく燃料消費量 [燃料消費量]
  ▶ Page 3：
    - 瞬間燃費 [瞬間燃費]
    - 走行可能距離 [範囲]
    - バッテリー電圧 [電圧]
    - 日付 [日付]
● お気に入りボタン：[HSTC]
● オートボリューム：[OFF]
● 定期メンテナンス：
  • 距離："-----"
  • 日付："----/---"
● オイル交換：
  • 距離："-----"
  • 日付："----/---"
● Bluetooth ペアリングされたデバイスを削除

次ページに続く

サービス

以下の項目を変更することができます。

- メンテナンス P.98
- DTC P.100
- 初期化 P.101
- サービスモード P.103
- 機器 P.104
- システム情報 P.104

メンテナンス

次回の定期点検時期と次回のエンジンオイル交換時期を確認できます。

次回の定期点検および次回のエンジンオイル交換までの期間の設定を変更することができます。



❶ [メンテナンス] を選択し、ENT スイッチを押す。

❷ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押して、設定するメニューを選択し、ENT スイッチを押す。



❸ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して 距離 、年または月のセクションを選択します。

- 距離、月、年を進めるには： 目的の値が表示されるまで ▲ セレクトアップスイッチを押す。
  距離、月または年を遅らせるには： 目的の値が表示されるまで ▼ セレクトダウンスイッチを押す。
  - ▶ ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押し続けると早く進みます。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲：

- 定期メンテナンス：
  - 距離：100 ～ 10,000 km
  - 日付：2000／1 月 ～ 2099／12 月
- オイル交換：
  - 距離：100 ～ 10,000 km
  - 日付：2000／1 月 ～ 2099／12 月

デフォルト設定：

- 定期メンテナンス：
  - 距離："-----"
  - 日付："----/---"
- オイル交換：
  - 距離："-----"
  - 日付："----/---"

DTC

車両に発生している異常の確認ができます。
DTC（故障コード）が表示されている場合は、異常の発生が考えられます。
高速走行をさけ、直ちに Honda 販売店で点検を受けてください。



❶ [DTC] を選択し、ENT スイッチを押す。



❷ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

初期化

タッチパネルの校正をすることができます。



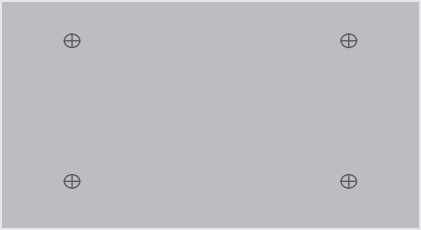
次ページに続く

メーター 前ページの続き

1. [初期化] を選択し、ENT スイッチを押す。
2. [タッチスクリーンの校正] を選択し、ENT スイッチを押す。



3. 4 つの十字の中心を、十字が表示された順にタッチする。
   ▶ 校正が完了すると、画面が緑色に点滅します。
   校正に失敗すると、画面が赤く点滅します。 手順 3 をもう一度行ってください。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

サービスモード

点検のために DRL（デイタイムランニングライト）とコーナリングライト*1 を点灯させることができます。停車時のみ使用できます。

*1：CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission



1. エンジンを始動する。 P.211
2. 車を停止する。
3. [サービスモード] を選択し、ENT スイッチを押す。
4. CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
   CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission
   ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチでモードを選択し、ENT スイッチを押す。
   ▶ 選択したモードのライトが点灯し、5 分後に自動的に消灯します。
4. CRF1100L Africa Twin〈s〉
   CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉
   ENT スイッチを押す。
   ▶ DRL が点灯し、5 分後に自動的に消灯します。



次ページに続く

メーター 前ページの続き

❺ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

機器

このメニューは選択できません。

システム情報

マルチインフォメーションディスプレイのさまざまな情報を表示します。

- ［ソフトウェアバージョン］
- ［ソフトウェアの更新］：選択できません。
- ［ハードウェア情報］
- ［GPS 受信ステータス］
- ［EULA］
- ［著作権と謝辞］

法規

マルチインフォメーションディスプレイの規制情報を表示します。

ポップアップ情報表示

以下の場合、マルチインフォメーションディスプレイの下部にポップアップ情報が表示されます。

● メンテナンスポップアップ情報表示：
車両の点検時期が近づいた場合

メンテナンスポップアップ情報表示

表示	説明	対処
	定期点検時期が近づいたときに表示	Honda 販売店で点検を受けてください。
	エンジンオイル交換時期が近づいたときに表示	オイル交換を行ってください。

警告灯／表示灯

警告灯／表示灯が点灯すべきときに点灯しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください

水温警告灯
メインスイッチを｜（On）にすると点灯し、数秒後に消灯
走行中またはアイドリング中に点灯したときは
P.293



方向指示器表示灯

ETC 表示灯 P.244

PGM-FI 警告灯
メインスイッチを｜（On）にすると点灯し、数秒後に消灯
走行中、アイドリング中に点灯または点滅したときは P.294

トルクコントロール警告灯

- メインスイッチを |（On）にすると点灯し、速度が約 5 km/h に達すると消灯
  同時に、トルクコントロールが作動可能な状態になる
- トルクコントロール作動時に点滅

走行中に点灯したときは P.296

トルクコントロール OFF 警告灯

トルクコントロールを停止（OFF）状態にすると点灯

方向指示器表示灯

ハイビームパイロットランプ
（前照灯上向き表示灯）

DRL（デイタイムランニングライト）表示灯

警告灯／表示灯 前ページの続き

Ⓟパーキングブレーキ警告灯

Dual Clutch Transmission タイプ

パーキングブレーキレバーが戻っていないときに点灯

N ニュートラル表示灯

トランスミッションがニュートラルの位置にあるときに点灯



燃料残量警告灯

- メインスイッチを｜（On）にすると点灯し、数秒後に消灯
- 燃料がリザーブのみになると点灯

  燃料残量警告灯が点灯したときの燃料有効残量：

  約 3.6 ℓ CRF1100L Africa Twin 〈s〉 CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈s〉

  約 3.9 ℓ CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

  CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

燃料計のマークが 1 つ（E）だけ点滅し、燃料残量警告灯が点灯したときは P.298

ABS 警告灯

メインスイッチを｜（On）にすると点灯し、速度が約 10 km/h に達すると消灯

走行中に点灯したときは ➡P.295

後輪 ABS OFF 警告灯

- メインスイッチを｜（On）にすると一時的に点灯し、数秒後に消灯
- 後輪の ABS 機能を停止（OFF）状態にすると点灯

SET クルーズコントロールセット表示灯

自動定速走行しているときに点灯

クルーズコントロール ➡P.223

クルーズコントロールメイン表示灯

クルーズコントロールメインスイッチを押すと点灯

クルーズコントロール ➡P.223

警告灯／表示灯 前ページの続き

サスペンション警告灯 CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

- サスペンションの初期化待ちの状態になったときに点灯
- 車を停め、警告灯が消灯するまで数秒間待ってください。
  消灯しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

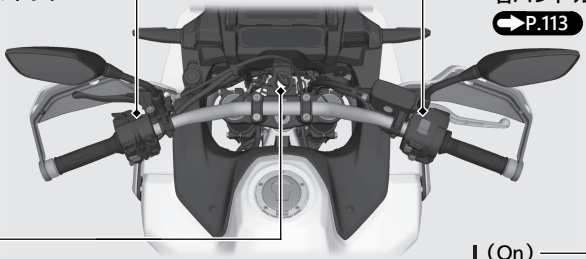


油圧警告灯
メインスイッチを｜（On）にすると点灯し、エンジンを始動すると消灯
走行中またはアイドリング中に点灯したときは P.294

HISS 表示灯 P.320

- メインスイッチを｜（On）にすると一時的に点灯し、数秒後に消灯
- メインスイッチを ○（Off）にすると 2 秒間隔で 24 時間点滅

スイッチ



メインスイッチ
電気回路の ON ／OFF、ハンドルロックに使用 P.117

▶（Off）または（Lock）の位置で、キーを抜くことができます。

右ハンドルスイッチ

エンジンストップスイッチ／START スタータースイッチ

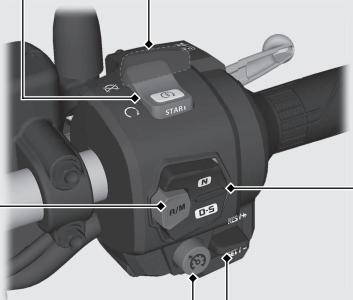
通常は、（Run）位置にしておく

▶ 非常時に（Stop）位置にすると、エンジンを停止できます。

エンジンを始動するには
P.211

Fn ファンクションセレクトスイッチ

マルチインフォメーションディスプレイ上のポップアップインフォメーションを表示させるときに押します。



A T／MT スイッチ

Dual Clutch Transmission タイプ

AT（オートマチック）モードとMT（マニュアル）モードの切り換え P.220

N-D スイッチ

Dual Clutch Transmission タイプ

ニュートラルと AT（オートマチック）モードの切り換え
P.220

クルーズコントロールメインスイッチ

クルーズコントロールを ON ／ OFF するときに押します。 P.224

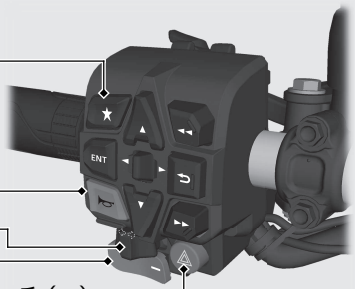
RES / + SET / - クルーズコントロールレバー

レバーを上下に動かし車速を設定したり、設定車速の調整を行います。 P.225

次ページに続く

スイッチ 前ページの続き

左ハンドルスイッチ



★ フェイバリットスイッチ

フェイバリットスイッチはHSTCスイッチ、ウィリーコントロールスイッチ、ライディングモードスイッチまたはGスイッチ（Dual Clutch Transmissionタイプ）に割り当てることができます。P.86

ホーンスイッチ

⇦⇨ウィンカー（方向指示器）スイッチ

- 右左折後ハンドルが直進状態になるとウィンカーは自動的に解除されます。
- 進路変更などハンドル操作角が少ない場合、ウィンカーは約7秒後または約120 m走行後、自動的に解除されます。
  - ▶ スイッチを押して手動でも解除できます。
  - ▶ 解除のタイミングは状況によって異なることがあります。
  - ▶ オートウィンカーキャンセルを正常に機能させるため、タイヤは必ず前後輪とも指定タイヤをお使いください。

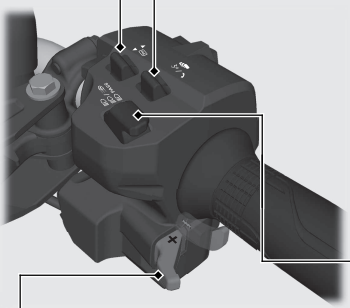
オートウィンカーキャンセルの設定を切り換えるには P.77

シフトダウンスイッチ（－）

Dual Clutch Transmissionタイプ P.222

⚠ハザード（非常駐車灯）スイッチ

- メインスイッチが｜（On）の時に使用できます。
- ハザードの解除はメインスイッチの位置にかかわらず行えます。
  - ▶ ハザードを作動させた状態でメインスイッチを○（Off）または🔒（Lock）にした場合でも点滅し続けます。



ファンクションレバー

- レバーを前後に動かしてオーディオシステムの音量を調整します。 P.151
- レバーを前後に動かして DRL の[自動]と[オフ]を切り換えます。 P.230
- レバーを前後に動かしてハンドルグリップヒーターのレベルを調整します。 P.241

ボイスコントロールスイッチ／ページスイッチ

- 電話を受ける、着信拒否および通話を終了するときに前へ押します。 P.183
- Apple CarPlay、Android Auto™ が利用可能なときに Siri または音声操作を起動させるために前へ押します。 P.196 P.210
- ホーム画面、Apple CarPlay、Android Auto™ 画面に移動するときに後ろに押します。 P.35
- Riding Information またはオーディオ画面に戻るときに後ろに押します。 P.37

ヘッドライト（前照灯）上下切り換えスイッチ／パッシングライトスイッチ（追い越し合図）

- ：ヘッドライトが上向き
- ／：ヘッドライトが下向き／DRL（デイタイムランニングライト）が作動可能
- PASS：ヘッドライトが下向きのときのみ作動

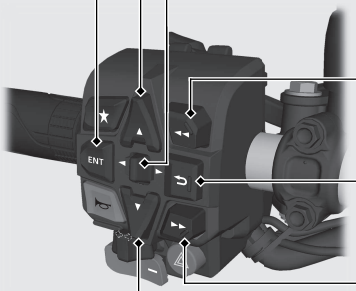
シフトアップスイッチ（+）

Dual Clutch Transmission タイプ

P.222

次ページに続く

スイッチ 前ページの続き



ENT スイッチ
ENT スイッチを押してメニューを決定します。 P.36

▲ セレクトアップスイッチ
▲ セレクトアップスイッチを押してメニューを選択します。 P.36

◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチ
◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀／▶ を押してメニューを選択します。 P.36

◀◀ 曲戻しスイッチ
再生中の曲を頭だし再生するか、巻き戻しします。
P.173

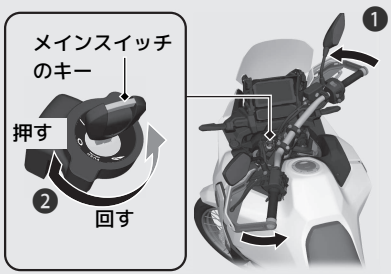
Back スイッチ
前の画面に戻るときに押します。 P.37

▶▶ 曲送りスイッチ
次の曲に切り替わるか、早送りします。
P.173

▼ セレクトダウンスイッチ
▼ セレクトダウンスイッチを押してメニューを選択します。 P.36

ハンドルロック

盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックをかけましょう。
U 字ロックなどの使用も推奨します。



かけかた

1. ハンドルを左にいっぱいにきる。
2. キーを押し込みながら、🔒（Lock）の位置まで回す。
   ► ロックがかかりにくい場合は、ハンドルを左右に軽く動かしてください。
3. キーを抜く

外しかた

キーを押し込みながら、○（Off）の位置まで回す。

後輪 ABS 機能

オフロード走行のために、任意で後輪の ABS 機能を OFF（停止）することができます。
後輪 ABS 機能は、[OFF ROAD MODE]、[USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] で OFF（停止）にできます。

- ▶ メインスイッチを▌（On）にすると、自動的に前後輪の ABS 機能が ON（有効）になります。しかし、エンジンストップスイッチを使用してエンジンを停止した場合、後輪 ABS 機能の設定は維持します。
- ▶ ABS モード [ABS] の [ON ROAD] を選択すると、自動的に前後輪の ABS 機能が ON（有効）になります。
- ▶ ライディングモードを変更すると、自動的に前後輪の ABS 機能が ON（有効）になります。

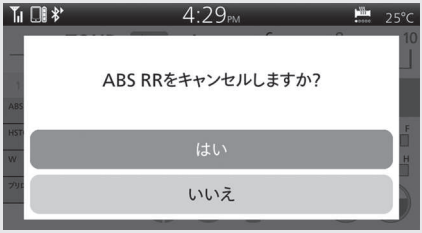
後輪 ABS 機能の OFF（停止）のしかた

1. 車を停止し、スロットルグリップを完全に閉じる。
2. [OFF ROAD MODE]、[USER 1 MODE] または [USER 2 MODE] を選択する。➡P.143
   もし [USER 1 MODE] または [USER 2 MODE] を選択している場合は、ABS モード [ABS] の [オフロード] を選択する。➡P.74
3. ゴールドイメージディスプレイを選択する。➡P.79
4. Page 4 を選択する。➡P.42

❺ ENT スイッチを押す。
❻ [ABS RR] を選択する。
❼ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し、［CANCEL］（停止）を選択する。



❽ 確認メッセージを読む。
❾ [はい] を選択し、ENT スイッチを押す。



❿ Back スイッチを押す。
▶ 後輪の ABS 機能［ABS RR］が［CANCEL］（停止）の状態になっている場合は、後輪 ABS OFF 警告灯が点灯します。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

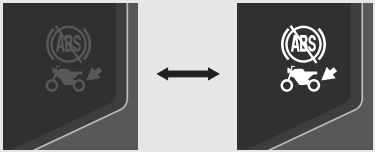
後輪 ABS 機能 前ページの続き

前後輪 ABS 機能の ON（有効）のしかた

1. 車を停止し、スロットルグリップを完全に閉じる。
2. ゴールドイメージディスプレイを選択する。 P.79
3. Page 4 を選択する。 P.42
4. ENT スイッチを押す。
5. [ABS RR] を選択する。
6. ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し、［ACTIVE］（有効）を選択する。
   ▶ 後輪の ABS 機能［ABS RR］が［ACTIVE］（有効）の状態になったとき、後輪 ABS OFF 警告灯が数回点滅してから消灯します。



❼ Back スイッチを押す。
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。



ゴールドイメージディスプレイ選択時：



前後輪の ABS 機能が [ACTIVE]（有効）

後輪 ABS 機能が [CANCEL]（停止）

設定範囲：[ACTIVE]（有効）／[CANCEL]（無効）
デフォルト設定：[ACTIVE]（有効）

G スイッチ

Dual Clutch Transmission タイプ

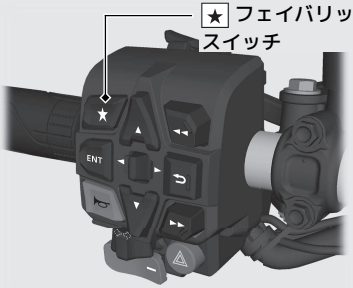
G スイッチを ON にすると、クラッチ制御がオフロード走行に適したレスポンス重視の特性となります。

- [USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] 以外
  メインスイッチを▌（On） にすると、G スイッチは自動的にデフォルト設定になる
  [USER 1 MODE] および [USER 2 MODE]
  メインスイッチを▌（On） にしても、G スイッチの設定は維持します。
- G スイッチは、急なスロットル操作や誤ったスロットル操作、道路状態などを補完するものではない
  ▶ 天候や路面状況に対して常に十分な注意をしてください。

G スイッチ ON／OFF 切り換え

● ★ フェイバリットスイッチを使用して設定する：

1. 車を停止し、スロットルグリップを完全に閉じる。
2. ★ フェイバリットスイッチの設定を [G スイッチ] にする。 P.86
3. ★ フェイバリットスイッチを押す。



● マルチインフォメーションディスプレイを使用して設定する：

❶ 車を停止し、スロットルグリップを完全に閉じる。

❷ ゴールドイメージディスプレイを選択する。 P.79

❸ Page 4 を選択する。 P.42

❹ ENT スイッチを押す。

❺ [G] を選択する。

❻ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し、[CANCEL]（off）を選択する。
◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し、[ACTIVE]（on）を選択する。



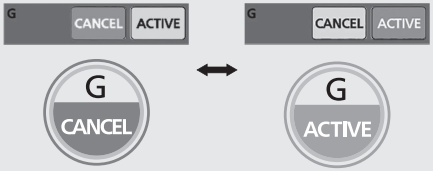
❼ ⮌ Back スイッチを押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

G スイッチ 前ページの続き

ゴールドイメージディスプレイ選択時：



G スイッチ [G]
[CANCEL]（off）

G スイッチ [G]
[ACTIVE]（on）

設定範囲：[ACTIVE]（on）／[CANCEL]（off）

デフォルト設定：

- [TOUR MODE]：[CANCEL]（off）
- [URBAN MODE]：[CANCEL]（off）
- [GRAVEL MODE]：[CANCEL]（off）
- [OFF ROAD MODE]：[ACTIVE]（on）
- [USER 1 MODE]：[CANCEL]（off）
- [USER 2 MODE]：[CANCEL]（off）

パーキングブレーキ

Dual Clutch Transmission タイプ

パーキングブレーキレバー

駐車時と暖機中はパーキングブレーキがかかっていることを確認する

▶ 走行前にパーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。

かけかた

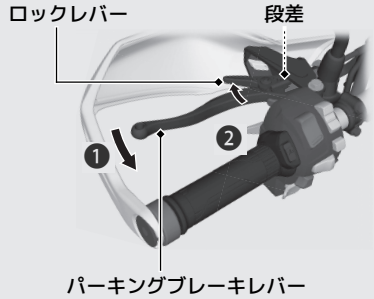
❶ パーキングブレーキレバーを強く握る。

❷ ロックレバーを矢印の方向に動かしてレバーの先端をパーキングブレーキレバーブラケットの段差に押し込み保持する。

❸ パーキングブレーキレバーを放すと、後輪がロックする。

▶ パーキングブレーキの調整を適切にしないと、ロックされないことがあります。

P.271



解除のしかた

パーキングブレーキレバーを強く握ると自動的にロックレバーが外れる。

▶ 走行前にパーキングブレーキが完全に解除され、パーキングブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

Honda セレクタブル トルク コントロール

トルクコントロールレベル（エンジン出力の制御）を選択、またはトルクコントロールの ON と OFF の切り換えができます。

▶ 運転中にトルクコントロールレベル選択および ON と OFF の切り換えをしないでください。トルクコントロールレベル選択、またはトルクコントロールの ON と OFF の切り換えは、車を停止してから行ってください。

▶ トルクコントロールが作動中（トルクコントロール警告灯が点滅中）は、トルクコントロールレベル選択、および ON と OFF の切り換えはできません。

▶ メインスイッチを〇（Off）にしてから｜（On）にしたときトルクコントロールレベルはメインスイッチを〇（Off）にしたときのレベルを維持します。

▶ 以下の操作をすると、トルクコントロールが ON になり、トルクコントロールレベルが自動的に選択されます。

- トルクコントロールが OFF の状態でメインスイッチを〇（Off）にしてから｜（On）にしたとき、トルクコントロールレベルは 1 になります。
- トルクコントロールを OFF から ON にすると、トルクコントロールレベルは OFF にしたときのレベルになります。

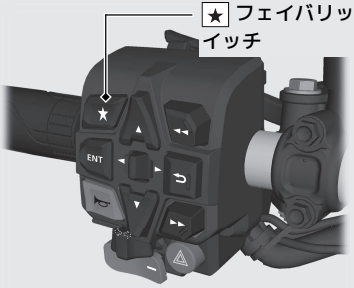
トルクコントロールレベル選択

● ★ フェイバリットスイッチを使用して設定する：

1. 車を停止する。
2. ★ フェイバリットスイッチの設定を [HSTC] にする。 ➡P.86
3. ★ フェイバリットスイッチを押す。

7：トルクコントロールレベル最大

1：トルクコントロールレベル最小



● マルチインフォメーションディスプレイを使用して設定する：

1. 車を停止する。
2. ゴールドイメージディスプレイを選択する。 ➡P.79
3. Page 4 を選択する。 ➡P.42
4. ENT スイッチを押す。
5. [HSTC] を選択する。

次ページに続く

Honda セレクタブル トルク コントロール 前ページの続き

❻ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押し、トルクコントロールレベルを選択する。



❼ ⮌ Back スイッチを押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

トルクコントロール ON/OFF 切り換え

❶ 車を停止する。
❷ ゴールドイメージディスプレイを選択する。 ➡P.79
❸ Page 4 を選択する。 ➡P.42
❹ ENT スイッチを押す。

❺ [HSTC] を選択する。

❻ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し続けて、トルクコントロールレベルを [0]（off）に切り換える。
◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し続けて、トルクコントロールレベルを [0]（off）にする前の値に切り換える。

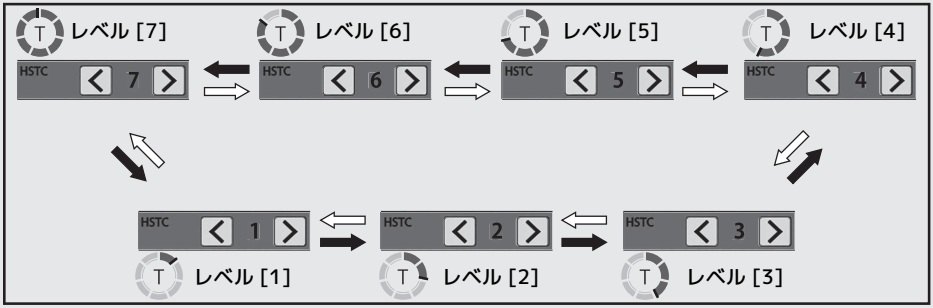


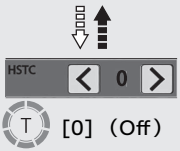
❼ ⮌ Back スイッチを押す。
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲： レベル 1 ～ 7 または 0（Off）

次ページに続く

Honda セレクタブル トルク コントロール 前ページの続き





→ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押す

⇨ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押す
または ★ フェイバリットスイッチを押す

▪▪▪→ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し続ける

▫▫▫⇨ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し続ける

ウィリーコントロール

ウィリーコントロールレベルを選択、またはウィリーコントロールレベルの ON と OFF の切り換えができます。

▶ 運転中にウィリーコントロールレベル選択および ON と OFF の切り換えをしないでください。ウィリーコントロールレベル選択、またはウィリーコントロールの ON と OFF の切り換えは、車を停止してから行ってください。

▶ メインスイッチを○（Off）にしてから|（On）にしたときは、メインスイッチ○（Off）時のウィリーコントロールの状態に応じて、以下のレベルになります。

- ウィリーコントロールのレベルが OFF 以外：ウィリーコントロールはメインスイッチを○（Off）にしたときのレベルを維持します。
- ウィリーコントロールが OFF：ウィリーコントロールを OFF にする前のレベルに戻ります。

▶ ウィリーコントロールを OFF から ON にしたとき、ウィリーコントロールレベルは OFF にする前のレベルに設定されます。

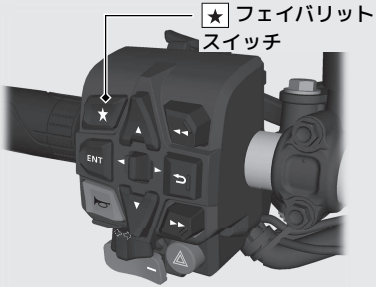
次ページに続く

ウィリーコントロール 前ページの続き

ウィリーコントロールレベル選択

● ★ フェイバリットスイッチを使用して設定する：

1. 車を停止する。
2. ★ フェイバリットスイッチの設定を [ウィリーコントロール] にする。 P.86
3. ★ フェイバリットスイッチを押す。
   - ▶ 3：ウィリーコントロールレベル [W] 最大
   - ▶ 1：ウィリーコントロールレベル [W] 最小



● マルチインフォメーションディスプレイを使用して設定する：

1. 車を停止する。
2. ゴールドイメージディスプレイを選択する。 P.79
3. Page 4 を選択する。 P.42
4. ENT スイッチを押す。
5. [W] を選択する。

❻ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押 し、ウィリーコントロールレベルを選択する。



❼ ⮌ Back スイッチを押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

ウィリーコントロール ON/OFF 切り換え

❶ 車を停止する。
❷ ゴールドイメージディスプレイを選択する。 ➡P.79
❸ Page 4 を選択する。 ➡P.42
❹ ENT スイッチを押す。
❺ [W] を選択する。

次ページに続く

ウィリーコントロール 前ページの続き

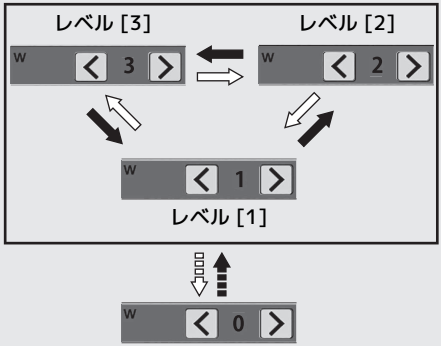
❻ ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し続けて、ウィリーコントロールレベルを［0］（off）に切り換える。
◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し続けて、ウィリーコントロールレベルを［0］（off）にする前の値に切り換える。



❼ ⮌ Back スイッチを押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

設定範囲： レベル 1 ～ 3 または 0（Off）



[0]（Off）

セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押す

セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押す
または ★ フェイバリットスイッチを押す

セレクトレフト／ライトスイッチの ▶ を押し続ける

セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ を押し続ける

ライディングモード

ライディングモードの切り換えができます。
ライディングモードは以下の内容で構成されています。
[P] [パワー]：エンジン出力レベル
[EB] [エンジンブレーキ]：エンジンブレーキレベル
ABS モード [ABS]：
- [オフロード]：オフロードモード
- [オンロード]：オンロードモード

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

サスペンションダンピング [S] [Overall]：サスペンションダンピング
サスペンションダンピング [Front]：サスペンションダンピング
サスペンションダンピング [Rear]：サスペンションダンピング

Dual Clutch Transmission タイプ

G スイッチ [G]：P.122

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

リアサスペンションスプリングの強さ [プリロード]：リアサスペンションスプリングの強さ
- [ライダー]：ライダーのみ（最弱設定）
- [ライダー＋荷物]：ライダーおよび荷物積載
- [ライダー＋同乗者]：二名乗車
- [ライダー＋同乗者＋荷物]：二名乗車および荷物積載（最強設定）



ライディングモードは 6 つのモードがあります。

ライディングモードは [TOUR MODE]、[URBAN MODE]、[GRAVEL MODE]、[OFF ROAD MODE]、[USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] が選択できます。

[TOUR MODE]、[URBAN MODE]、[GRAVEL MODE] および [OFF ROAD MODE]

各初期設定値は変更できません。

- ▶ **[TOUR MODE]**：タンデムやフル積載などの状態で快適な加速ができるモードです。
- ▶ **[URBAN MODE]**：オールラウンドにさまざまなシチュエーションで楽しめる標準的なモードです。
- ▶ **[GRAVEL MODE]**：オフロードなどの滑りやすい路面で安心して走行するのに適したモードです。
- ▶ **[OFF ROAD MODE]**：オフロードスポーツライディングを楽しむのに適しています。

[USER 1 MODE] および [USER 2 MODE]

各設定値は変更できます。

次ページに続く

ライディングモード 前ページの続き

デフォルト設定：

ライディングモード	[P] [パワー]	[EB] [エンジンブレーキ]	サスペンションダンピング [S] [Overall] *1	サスペンションダンピング [Front] *1	サスペンションダンピング [Rear] *1	ABS モード [ABS]	G スイッチ [G] *2
[TOUR MODE]	1	2	H	Medium	Medium	オンロード	CANCEL*3
[URBAN MODE]	2	2	M	Medium	Medium	オンロード	CANCEL*3
[GRAVEL MODE]	4	3	S	Medium	Medium	オフロード	CANCEL*3
[OFF ROAD MODE]	3	3	O	Medium	Medium	オフロード	ACTIVE*3
[USER 1 MODE]	2*3	2*3	M*3	Medium*3	Medium*3	オンロード*3	CANCEL*3
[USER 2 MODE]	4*3	3*3	S*3	Medium*3	Medium*3	オフロード*3	CANCEL*3

*1 ： CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

*2 ： Dual Clutch Transmission タイプ

*3 ：数値の変更ができます。

ライディングモード	リアサスペンションスプリングの強さ [プリロード]			
	[ライダー] *1	[ライダー＋荷物] *1	[ライダー＋同乗者] *1	[ライダー＋同乗者＋荷物] *1
[TOUR MODE]	5	10	15	20
[URBAN MODE]	5	10	15	20
[GRAVEL MODE]	5	10	15	20
[OFF ROAD MODE]	5	10	15	20
[USER 1 MODE]	5*2	10*2	15*2	20*2
[USER 2 MODE]	5*2	10*2	15*2	20*2

*1 ：CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

*2 ：数値の変更ができます。

次ページに続く

ライディングモード 前ページの続き

[P] [パワー]（エンジン出力レベル）

[P] [パワー] レベルは 4 段階に調整できます。

設定範囲：1 ～ 4

▶ レベル 1 は、高出力になります。

▶ レベル 4 は、低出力になります。

[EB] [エンジンブレーキ]（エンジンブレーキレベル）

[EB] [エンジンブレーキ] レベルは 3 段階に調整できます。

設定範囲：1 ～ 3

▶ レベル 1 は、エンジンブレーキの効果が強くなります。

▶ レベル 3 は、エンジンブレーキの効果が弱くなります。

サスペンションダンピング [S] [Overall]：サスペンションダンピング

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

サスペンションダンピング [S] [Overall] は 4 段階から選択できます。

設定範囲：[H] [Hard]ハード／[M] [Medium] ミディアム／[S] [Soft] ソフト／[O] [Off road] オフロード

▶ [H] [Hard] ハードは、サスペンションダンピングの効果が強くなります。

▶ [S] [Soft] ソフトは、サスペンションダンピングの効果が弱くなります。

▶ [O] [Off road] オフロードは、オフロード向けの設定です。

サスペンションダンピング [Front]：サスペンションダンピング

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

サスペンションダンピング [Front] レベルは 3 段階に調整できます。

設定範囲：[-]／[Medium]／[+]

- ▶ [+] は、サスペンションダンピングが強くなります。
- ▶ [-] は、サスペンションダンピングが弱くなります。

サスペンションダンピング [Rear]：サスペンションダンピング

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

サスペンションダンピング [Rear] レベルは 3 段階に調整できます。

設定範囲：[-]／[Medium]／[+]

- ▶ [+] は、サスペンションダンピングが強くなります。
- ▶ [-] は、サスペンションダンピングが弱くなります。

次ページに続く

ライディングモード 前ページの続き

ABS モード [ABS]

ABS モード [ABS] は 2 つのモードから選択できます。

設定範囲：[オフロード] / [オンロード]

▶ [オフロード] はオフロード設定。

▶ [オンロード] はオンロード設定。

G スイッチ [G] P.122

Dual Clutch Transmission タイプ

リアサスペンションスプリング [プリロード] ([ライダー]、[ライダー＋荷物]、[ライダー＋同乗者]、[ライダー＋同乗者＋荷物])

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

[プリロード] レベルは 24 段階に調整できます。

設定範囲：1～24

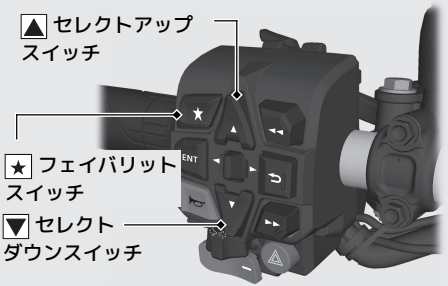
▶ レベル 24 は、リアサスペンションのプリロードが強くなります。

▶ レベル 1 は、リアサスペンションのプリロードが弱くなります。

ライディングモードの切り換えかた

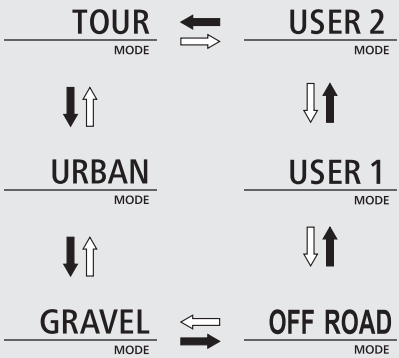
ライディングモードを変更すると、後輪 ABS 機能 [ABS RR] は自動的に [ACTIVE]（有効）に設定されます。

- ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを使用して設定する：
  1. ▲ セレクトアップスイッチまたは ▼ セレクトダウンスイッチを押す。



タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

- ★ フェイバリットスイッチを使用して設定する：
  1. ★ フェイバリットスイッチの設定を [ライディングモード] にする。 P.86
  2. ★ フェイバリットスイッチを押す。



次ページに続く

ライディングモード 前ページの続き

各設定値の変更

[USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] の [P] [パワー]、[EB] [エンジンブレーキ]、サスペンションダンピング [S] [Overall]、サスペンションダンピング [Front]、サスペンションダンピング [Rear]、ABS モード [ABS] 、リアサスペンションスプリングの強さ [プリロード] を変更できます。 P.74

オーディオシステム

オーディオシステムについて

オーディオシステムは Bluetooth 機器を接続して、機器内の音楽ファイルを再生することができます。

左ハンドルバーの各スイッチまたはタッチパネルを操作してオーディオシステムの操作および設定を行うことができます。ただし、安全のために、走行中に操作できない機能があります。操作できない機能については、安全な場所に停車して操作してください。

- 音量は緊急車両のサイレン、他車のホーンなどの周囲の状況が常に確認できるレベルにしてください。
- 安全運転に支障をきたすおそれがありますので走行中の操作は、必要最小限にしてください。
- Bluetooth 機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 機器はお客様の責任でご使用ください。
- 「iPhone」「iPad」「iPad Air」「iPad Mini」「iPod」「iPod touch」「iPod classic」「iPod shuffle」「iPod nano」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Google™ および Android Auto™ は Google LLC の商標です。

次ページに続く

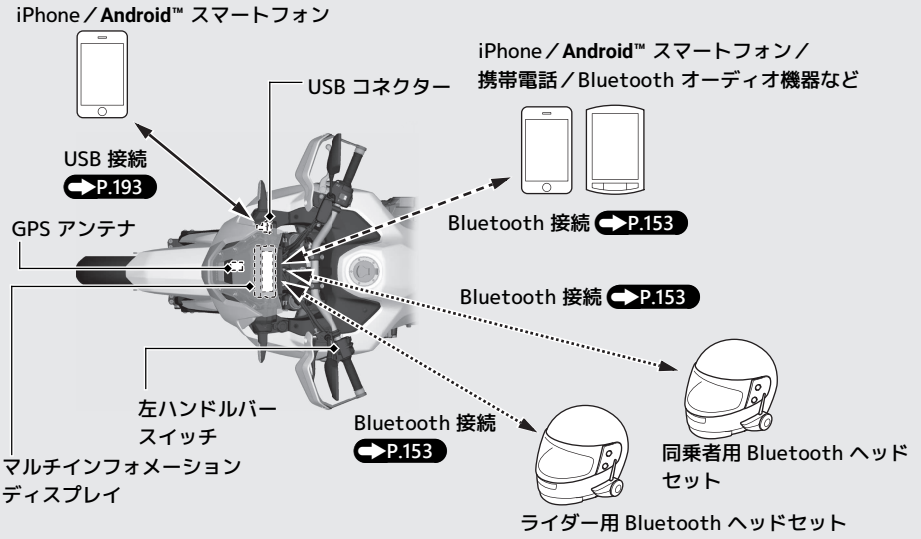
オーディオシステム 前ページの続き

Bluetooth オーディオに関する注意事項

- オーディオシステムは、同時に一台のオーディオ機器と二台のサウンド機器を Bluetooth 接続できます。他の機器を新しく登録した場合は、登録されていた機器の情報は解除されます。
- ペアリング中の携帯電話に着信があった場合に、再生中の音楽ファイルが止まることがあります。
- Bluetooth 機器を接続できない場合や、再生中の音声が途切れたり、ノイズが混ざる場合は、Bluetooth 機器の収納場所を変えてください。

- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものです。

オーディオシステム各部の名称



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

Apple CarPlay／**Android Auto™ 用 USB 接続**

オーディオシステム用プロファイル：

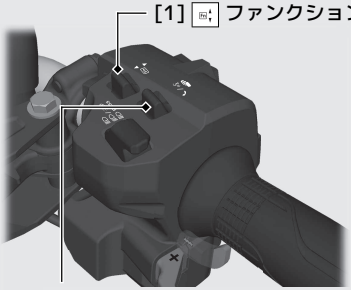
- HFP ver. 1.5
- A2DP ver. 1.2
- AVRCP ver. 1.4
- PBAP ver. 1.0

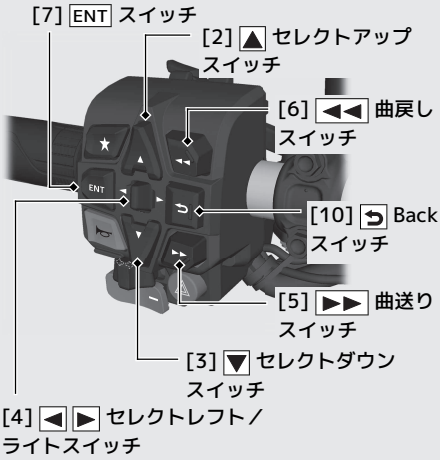
ヘッドセット用プロファイル：

- HFP ver. 1.7
- A2DP ver. 1.2

基本操作

タッチパネルや左ハンドルバーの各スイッチを操作して各種機能の操作および設定を行うことができます。
ただし、安全のために走行中はタッチパネルで一部の機能を操作することはできません。





次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

[1] ファンクションレバー：レバーを前または後に押して音量を調整する。
- 音量を上げるには：レバーを前に押す。
- 音量を下げるには：レバーを後に押す。
- 音量を早く上げるには：レバーを前に押し続ける。
- 音量を早く下げるには：レバーを後に押し続ける。

[2] ▲ セレクトアップスイッチ：スイッチを押してメニュー項目を選択する。

[3] ▼ セレクトダウンスイッチ：スイッチを押してメニュー項目を選択する。

[4] ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチ：スイッチを押してメニュー項目を選択する。

[5] ▶▶ 曲送りスイッチ：
- 次の曲に切り換えるには：スイッチを押す。
- 早送りするには：スイッチを押し続ける。

[6] ◀◀ 曲戻しスイッチ：
- 再生中の曲を頭だし再生するか、前の曲に切り換えるには：スイッチを押す。
- 巻き戻しするには：スイッチを押し続ける。

[7] ENT スイッチ：スイッチを押して決定します。

[8] ボイスコントロールスイッチ：
- 電話を受ける、または通話を終了するには： スイッチを前方に押す。
- 着信を拒否するには：スイッチを前に押し続ける。
- Apple CarPlay、または Android Auto™ が利用可能なときに Siri または音声操作を起動するには：スイッチを前方に押す

[9] ページスイッチ：
- ライディングインフォメーションまたはオーディオ画面に戻るには：スイッチを後に押す。
- ホーム画面、Apple Carplay 画面、または音声操作に戻るには：スイッチを後に押し続ける。

[10] Back スイッチ：
- 前の画面に戻るには：スイッチを押す。
- オーディオ画面に戻るには：スイッチを押し続ける。

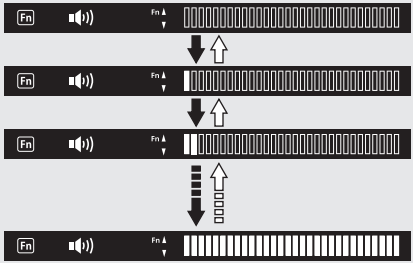
音量の調整

ヘッドセットの音量設定を調整できます。
下記モード中の音量も個別に設定できます。
各モードで音量を調節してください。

- [ミュージック](ライダー)
- [ミュージック](同乗者)
- [電話]
- [システム]
- [着信音]
- [音声]
- [CarPlay]
- [Android Auto]
- [Microphone]

各音量はメニューからも設定できます。
P.91

[Fn] ファンクションレバーを前または後に押すとポップアップ情報が表示され音量を調整できます。



[Fn] ファンクションレバーを前に押す
[Fn] ファンクションレバーを後に押す

オーディオシステム 前ページの続き

音量を上げるには：[▲] ファンクションレバーを前に押す。

▶ 音量を早く上げるには：[▲] ファンクションレバーを前に押し続ける。

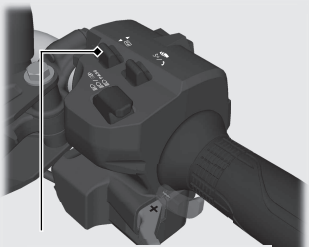
音量を下げるには：[▼] ファンクションレバーを後に押す。

▶ 音量を早く下げるには：[▼] ファンクションレバーを後に押し続ける。

設定範囲：

[Microphone] 以外：レベル 0 ～ 30

[Microphone] ：レベル 0 ～ 14



[▲▼] ファンクションレバー

オートボリューム

オーディオシステムには車速が増すと自動的にBluetooth ヘッドセットの音量が増加する機能が装備されています。3 つの設定から選択します。

オートボリュームの設定を変更するには
➡P.91

設定範囲：[OFF]（無効）／[低]／[高]

デフォルト設定：[OFF]（無効）

Bluetooth オーディオ

Bluetooth に対応しているデバイスを Bluetooth 経由で車両のシステムに接続できます。
接続するには、事前にデバイスを車両とペアリングしておく必要があります。

Bluetooth に対応しているスマートフォン、携帯電話やオーディオ機器などのペアリング：
スマートフォンのペアリング P.155
Bluetooth に対応しているライダー用および同乗者用ヘッドセットのペアリング：
ヘッドセットのペアリング P.160

オーディオシステム 前ページの続き

Bluetooth 対応バージョン／プロファイル

Bluetooth バージョン	Bluetooth 2.1 + EDR
Bluetooth プロファイル（iPhone、Android Auto™、または Bluetooth に対応している携帯電話やオーディオ機器など）	HFP (Hand Free Profile) ver. 1.5
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) ver. 1.2
	AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.4
	PBAP (Phone Book Access Profile) ver. 1.0
Bluetooth プロファイル（ライダー用ヘッドセット、同乗者用ヘッドセット）	HFP (Hand Free Profile) ver. 1.7
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) ver. 1.2

- 走行中はペアリングの操作はできません。安全な場所に停車して操作してください。
- Apple CarPlay 起動中は Bluetooth 接続ができません。
- オーディオシステムにインターカム機能はありません。ご使用になる場合は、ヘッドセットのインターカム機能をご利用ください。

スマートフォンのペアリング

Bluetooth に対応しているスマートフォン、携帯電話やオーディオ機器などのペアリングを行います。

2 通りの方法があります。

- [検出可能]：デバイス側から車両のシステムを検索します。
- [スマートフォンのペアリング]：車両のシステム側からデバイスを検索します。

走行中はペアリングの操作はできません。 安全な場所に停車して操作してください。

1. ペアリングするデバイスの Bluetooth 機能を有効にする。
   ▶ 詳しくは、ペアリングするデバイスの取扱説明書などをご確認ください。
2. [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押す。



3. [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

デバイス側から車両のシステムを検索する場合

4 [検出可能] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



5 デバイスの Bluetooth 設定メニューで “Honda Motorcycle #*****” を選択する。
► *****の部分は車両ごとに異なります。

6 デバイスの画面に確認メッセージが表示されたら“Pair” を選択する。

7 デバイス名とパスキーが画面に表示されます。[はい] を選択し、ENT スイッチを押す。



❽ ペアリングが完了すると、ペアリングされたデバイス名が表示されます。
アイコンのステータス：

	：電話機能が利用可能
	：音楽が再生可能



❾ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

車両のシステム側からデバイスを検索する場合

❹ [スマートフォンのペアリング] を選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

❺ [デバイスの追加] を選択し、ENT スイッチを押す。



❻ デバイスが検出されると、メイン画面上 にデバイス名が表示される。

► 一度に複数のデバイスが検出されると、リストの下の方にペアリングするデバイス名が表示されている場合があります。メイン画面を下へスクロールしてペアリングするデバイスを探してください。

❼ ペアリングするデバイスを選択し、ENT スイッチを押す。



❽ [はい] を選択し、ENT スイッチを押す。



❾ デバイスの画面に確認メッセージが表示されたら“Pair” を選択する。

❿ ペアリングが完了すると、ペアリングされたデバイス名が表示されます。
アイコンのステータス：

	：電話機能が利用可能
	：音楽が再生可能



⓫ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

デバイスのペアリングを解除するには： P.169

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

ヘッドセットのペアリング

走行中はペアリングの操作はできません。 安全な場所に停車して操作してください。

1. ペアリングするデバイスの Bluetooth 機能を有効にする。
   - ▶ 詳しくは、ペアリングするデバイスの取扱説明書などをご確認ください。
2. [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押す。



3. [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



4. [ヘッドセットのペアリング] を選択し、ENT スイッチを押す。



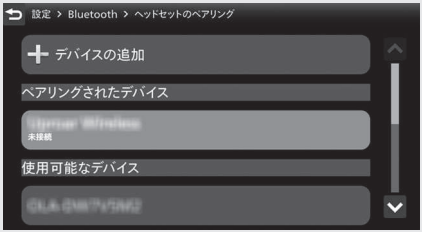
❺ [デバイスの追加] を選択し、ENT スイッチを押す。



❻ デバイスが検出されると、メイン画面上 にデバイス名が表示される。

▶ 一度に複数のデバイスが検出されると、リストの下の方にペアリングするデバイス名が表示されている場合があります。メイン画面を下へスクロールしてペアリングするデバイスを探してください。

❼ ペアリングするデバイスを選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

❽ ペアリングが完了すると、ペアリングされたデバイス名が表示されます。

ライダー	ライダー用ヘッドセットをペアリングしたときに表示
同乗者	同乗者用ヘッドセットをペアリングしたときに表示



❾ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

ヘッドセットのペアリングを解除するには：
P.169

ペアリングしたデバイスを接続して Bluetooth 機能を使う

自動で接続する

メインスイッチを ▌（On）にすると、ペアリング済みのデバイスを検出し、自動で接続します。

- ▶ 複数の登録済みデバイスを検出した場合、最後に接続したデバイスを優先し、接続します。
- ▶ 再接続後、前回再生していた音楽を自動で再生します。

各機能を個別に接続する／切断する

デバイスによっては、うまく接続できない場合があります。

❶ [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押す。



接続するには：

❷ スマートフォン、携帯電話やオーディオ機器などの場合：

1. ［スマートフォンのペアリング］を選択し、ENT スイッチを押す。



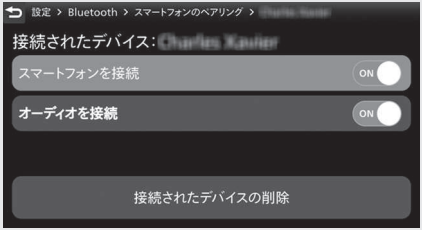
次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

2. デバイスを選び、ENTスイッチを押す。



3. [スマートフォンを接続] または [オーディオを接続] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



❸ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

❷ ヘッドセットの場合：

1. ［ヘッドセットのペアリング］を選択し、ENT スイッチを押す。



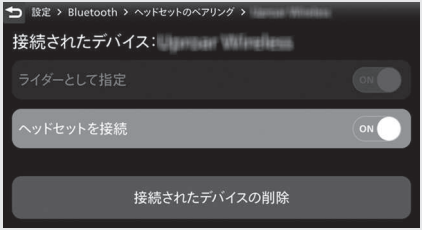
2. デバイスを選び、ENTスイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

3. [ライダーとして指定] または [ヘッドセットを接続] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



❸ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

切断するには：

❷ スマートフォン、携帯電話やオーディオ機器などの場合：

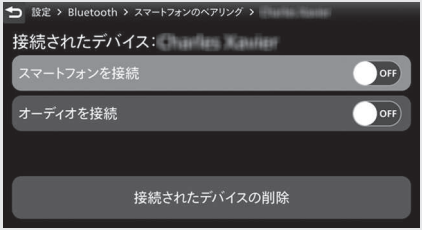
1. [スマートフォンのペアリング] を選択し、ENT スイッチを押す。



2. デバイスを選び、 ENT スイッチを押す。



3. [スマートフォンを接続] または [オーディオを接続] を選択し、 ENT スイッチを押して [OFF]（無効）に切り換える。



❸ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

❷ヘッドセット場合：

1. ［ヘッドセットのペアリング］を選択し、ENT スイッチを押す。



2. デバイスを選び、ENTスイッチを押す。



3. ［ライダーとして指定］または［ヘッドセットを接続］を選択し、ENT スイッチを押して［OFF］（無効）に切り換える。



❸Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。➡P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

ペアリングしているデバイスを削除する

❶ [Bluetooth] を選択し、ENT スイッチを押す。



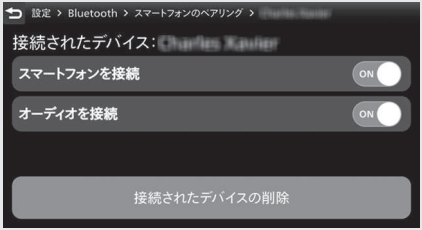
❷ [スマートフォンのペアリング] または [ヘッドセットのペアリング] を選択し、ENT スイッチを押す。



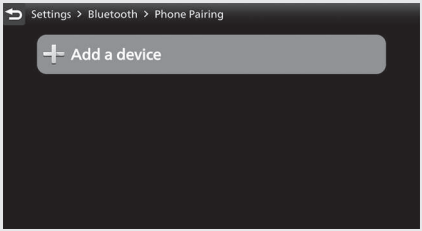
❸ ペアリングしているデバイスを選び、ENT スイッチを押す。

次ページに続く

❹ [接続されたデバイスの削除] を選択し、ENT スイッチを押す。



❺ デバイスの名前が画面から消える。

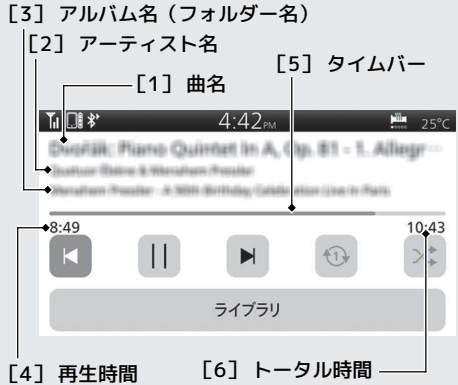


❻ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

音楽を再生する

デバイスを Bluetooth 接続して、音楽を楽しむことができます。



情報表示画面

画面に表示される情報は、接続しているデバイスや再生するファイルの種類によって異なります。

システムは ID3 タグ情報をサポートしています。 音楽ファイルに ID3 タグがない場合、曲のタイトルまたはファイル名が表示されます。

［1］ 曲名
［2］ アーティスト名
［3］ アルバム名（フォルダー名）
［4］ 再生時間
［5］ タイムバー
［6］ トータル時間

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

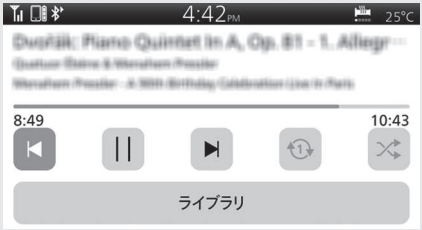
曲を再生するには

1 再生するデバイスを接続する。
デバイスの接続 P.163

2 [Audio] を選択し、ENT スイッチを押す。



3 ⏭ を選択し、ENT スイッチを押す。



4 Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

曲を一時停止するには

|| を選択し、ENT スイッチを押す。
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

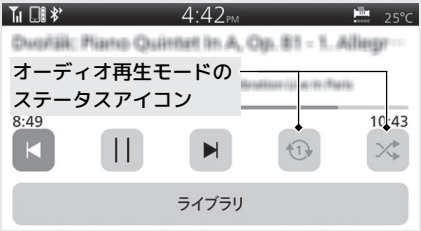
曲を切り換えるには

- 次の曲に切り換えるには：►► 曲送りスイッチを押す。
- 早送りするには：►► 曲送りスイッチを押し続ける。
- 再生中の曲を頭だし再生するか、前の曲に切り換えるには：◄◄ 曲戻しスイッチを押す。
- 巻き戻しするには：◄◄ 曲戻しスイッチを押し続ける。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

プレイモードを選択するには

音楽再生中にプレイモードをリピート再生、ランダム再生の選択ができます。
変更すると、オーディオ再生モードのステータスアイコンまたはアイコンの色が変わります。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

以下のようにプレイモードを切り換えます。

を選択し、ENT スイッチを押す。

	（黒）通常モード：繰り返しなし。
	（青）アルバムリピート再生モード：現在のプレイリスト内のすべてのトラック（［アーティスト］、［アルバム］など）を繰り返し再生します。
	（青）トラックリピート再生モード：現在のトラックをリピートします。

を選択し、ENT スイッチを押す。

	（黒）通常再生モード：トラックをオリジナルの順序で再生します。
	（青）ランダム再生モード：トラックをランダムに再生します。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Bluetooth ハンズフリー電話

Bluetooth ハンズフリー通話では、携帯電話を操作することなく、オーディオシステムを使用して電話の発着信ができます。
ハンズフリー通話を使用するには、Bluetooth 対応携帯電話と Bluetooth ヘッドセットが必要です。

- 走行中、タッチパネルでハンズフリー機能を操作することはできません。
- 周囲の状況や電波の状態により Bluetooth 接続が不安定な場合は、ハンズフリー通話機能が利用できない場合があります。
- 通話中、走行時の風切り音や周囲の騒音の影響など使用条件によっては、通話しづらい場合があります。そのときは、マイクの位置を変更したり、ウインドスクリーンの高さを調整してください。 ➡P.289

オーディオシステム 前ページの続き

準備

1. Bluetooth 対応携帯電話を接続する。 P.155
   ▶ 電話帳は接続ごとに更新されます。 通話履歴は、接続または通話ごとに更新されます。
2. Bluetooth ヘッドセットを接続する。 P.160
3. [Phone] を選択し、ENT スイッチを押す。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

電話をかける

直接電話番号を入力する以外に、スピードダイヤル、リダイヤル、履歴、電話帳を使って電話をかけることができます。

通話モードを変更するには、◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押す。下記の順でモードが切り換わります。

[通話履歴] ⇨ [スピードダイヤル] ⇨ [電話帳] ⇨ [キーパッド] ⇨ [設定]

- 走行中は、一部のメニューが無効になります。グレーアウトされているメニューは安全な場所に停車してから操作してください。
- 走行中は、スピードダイヤルと発信／着信履歴でのみ電話をかけることができます。

通話音量を調整するには： P.91

発信／着信履歴 [通話履歴] からかける

発信／着信履歴からは走行中も発信できます。
最新の発信／着信履歴を 30 件まで表示します。



❶ [通話履歴] を選択する。
❷ 電話をかけたい番号を選択し、ENT スイッチを押す。

↗	（青色）：発信
↙	（青色）：着信
↙	（赤色）：不在着信

❸ 通話を終了するには、 ボイスコントロールスイッチを前へ押す。
▶ 画面上の[通話終了] を選択しても、通話を終了できます。
❹ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

スピードダイヤルからかける

スピードダイヤルからは走行中も発信できます。

スピードダイヤルから電話をかけるには、あらかじめスピードダイヤルを登録する必要があります。 P.181

スピードダイヤルは最大 20 件まで登録できます。

1. [スピードダイヤル] を選択する。
2. 電話をかけたい相手を選択し、ENT スイッチを押す。
   ダイヤルが自動的に始まります。



3. 通話を終了するには、 ボイスコントロールスイッチを前へ押す。
   ▶ 画面上の[通話終了] を選択しても、通話を終了できます。
4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

電話帳からかける

走行中、電話帳からの発信はできません。

1. 車を停止する。
2. [電話帳] を選択する。
3. 電話帳はアルファベット順に保存されています。
   電話をかけたい相手を選択し、ENT スイッチを押す。
4. 電話番号が複数登録されている場合、かけたい電話番号を選択し、ENT スイッチを押す。



5. 通話を終了するには、 ボイスコントロールスイッチを前へ押す。
   ▶ 画面上の[通話終了] を選択しても、通話を終了できます。
6. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

電話番号 [キーパッド] を入れてかける

走行中、電話番号入力での発信はできません。

1. [キーパッド] を選択する。
2. ▲ セレクトアップスイッチ、▼ セレクトダウンスイッチ、◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して番号を選択し、ENT スイッチを押す。
   - ▶ [+] を使用するには：[0] を選択し、ENT スイッチを押し続ける。
3. [通話] を選択し、ENT スイッチを押して電話をかける。
   - ▶ 発信を中止するには、ENT スイッチを押す。
   - ▶ ENT スイッチを押してから 1 秒後に電話をかける場合：[+ 待機] を選択し、ENT スイッチを押す。
   - ▶ ENT スイッチを押してから 2 秒後に電話をかける場合：[+ 2 秒] を選択し、ENT スイッチを押す。



4. 通話を終了するには、 ボイスコントロールスイッチを前へ押す。
   - ▶ 画面上の[通話終了] を選択しても、通話を終了できます。
5. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

スピードダイヤルを登録する

スピードダイヤルを登録できます。

❶[スピードダイヤル] を選択する。

❷[スピードダイヤルを追加] を選択し、ENT スイッチを押す。



❸電話帳が表示される。

❹登録したい電話番号を電話帳から選び、ENT スイッチを押し続ける。
電話番号がスピードダイヤルに登録されます。



❺Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 ➡P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

登録したスピードダイヤルを削除する

1. [設定] を選択する。
2. [スピードダイヤルを編集] を選択し、ENT スイッチを押す。



3. 削除したい電話番号を選択し、ENT スイッチを押し続ける。



4. Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

電話を受ける

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信中画面を表示します。



着信音

接続された携帯電話で設定している着信音を鳴らす機能をサポートしています。
携帯電話の機機種によって対応していない場合があります。その場合は本システム内蔵の着信音を鳴らします。

電話を受けるには

着信があったとき、左ハンドルの [ボイスコントロールスイッチ] ボイスコントロールスイッチを前に押して電話を受けます。

- 画面上の[応答] を選択しても、電話を受けることができます。



通話音量を調整するには： P.91

オーディオシステム 前ページの続き

着信拒否するには

着信があったとき、左ハンドルの ボイスコントロールスイッチを前に押し続けると、着信拒否します。

● 画面上の[拒否]を選択しても、着信拒否することができます。



電話を切るには

通話中に、左ハンドルバーの ボイスコントロールスイッチ前に押して通話を終了します。

● 画面上の[通話終了] を選択しても、通話を終了できます。



Apple CarPlay

オーディオシステムに Apple CarPlay に対応した iPhone を USB 接続すると、マルチインフォメーションディスプレイで iPhone の電話、ミュージック、マップ（ナビゲーション）、メッセージなどの機能が使用できます。

- Apple CarPlay は、iOS 10 以降が搭載された iPhone 5 以降のモデルに対応しています。Apple CarPlay の機能について詳しくは、Apple のホームページをご覧ください。
- オーディオシステムに iPhone を接続するときや Apple CarPlay を起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Apple CarPlay は携帯電話ネットワークに接続できる iPhone が必要です。接続の前にデータプランなどの契約状況をご確認ください。
- Apple CarPlay を使用するには、Bluetooth ヘッドセットの接続が必要です。ヘッドセットのバッテリー切れや通信障害のために Bluetooth 接続が切断された場合、接続が回復するまで Apple CarPlay を使用することはできません。
- 周囲の状況や電波の状態によりモバイルデータ通信が不安定になると、Apple CarPlay の機能が利用できないことがあります。
- 走行中、タッチパネルで Apple CarPlay を操作することはできません。
- 画面に表示されるアプリケーションやメニュー項目は、接続されているデバイスや iOS のバージョンによって異なる場合があります。

次ページに続く

- Apple CarPlay 経由で接続している場合、音楽再生および電話は Apple CarPlay 内でのみ行われます。 Bluetooth オーディオの再生または Bluetooth ハンズフリー通話で電話をかける場合は、USB ソケットから iPhone を外し、Bluetooth 接続します。

  デバイスを Bluetooth 接続する： P.155
- オペレーティングシステム、ハードウェアソフトウェア、および Apple CarPlay の仕様変更や新たに定められた規制や規制の改定などにより、Apple CarPlay の機能とサービスは予告なく中止になることがあります。
- Apple CarPlay は、Apple Inc. の商標です。

ご利用前にご理解いただきたいこと

Apple CarPlay ご利用中は、車両からユーザ情報および位置や速度などの車両情報が接続中の iPhone に送信されます。
Apple CarPlay をご利用いただいた場合は、Apple CarPlay および Apple iOS の利用規約に同意されたものとみなされます。
Apple CarPlay でのユーザ情報および位置や速度などの車両情報の取り扱いに関する詳細は、Apple のプライバシーポリシーをご確認ください。
Honda は、Apple CarPlay をご利用いただいたことにより生じた損害について、一切の責任を負いません

Apple CarPlay によってお使いの iPhone から送受信されたユーザー情報と車両情報の使用および取り扱いは、Apple iOS の使用規約と Apple プライバシーポリシーによって管理されています。

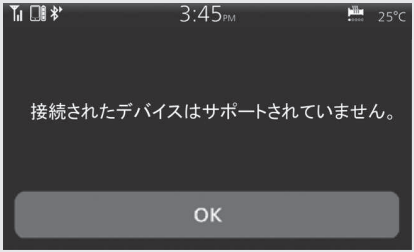
Apple CarPlay のセットアップ

iPhone を USB 接続すると、Apple CarPlay での機器使用確認画面が表示されます。Apple CarPlay は、Apple CarPlay の利便性を高める目的で、接続した iPhone からユーザーおよび車両情報（例： 車両位置、速度、ステータスなど）が送信されます。

1. Bluetooth ヘッドセットを接続する。P.160
2. iPhone を USB ソケットに接続する。P.193

► 次の画面が表示された場合、Apple CarPlay は使用できませんが USB 電源は供給できます。

1. [OK] を選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

Apple CarPlay を有効にするには：

❸ マルチインフォメーションディスプレイに機器使用確認画面が表示されたら、［有効］を選択し、ENT スイッチを押す。

▶ 次回接続したときに免責事項画面が表示させない為には、［現在の選択を保存］ を［ON］に設定してください。



- **［有効］ を選択し、［現在の選択を保存］が［OFF］のとき：**1 回だけ Apple CarPlay の使用を許可します。（次回接続時、免責事項画面が表示されます。）
- **［有効］ を選択し、［現在の選択を保存］ が ［ON］ のとき：** 常に Apple CarPlay の使用を許可します。（免責事項画面は表示されません。）
- **［無効］ を選択し、［現在の選択を保存］が［OFF］のとき：** Apple CarPlay の使用を許可しません。（次回接続時、免責事項画面が表示されます。）
- **［無効］ を選択し、［現在の選択を保存］が［ON］のとき：** Apple CarPlay の使用を許可しません。（免責事項画面は表示されません。）

❹ Apple CarPlay 設定を有効にする。 P.189

❺ Apple CarPlay メニューが表示されます。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

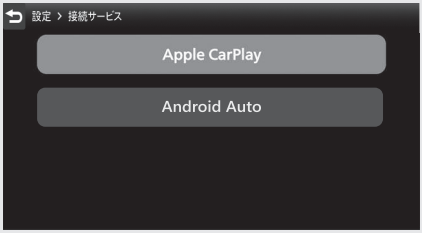
免責事項画面を表示するには P.191

Apple CarPlay の有効／無効を切り換える

❶ [接続サービス] を選択し、ENT スイッチを押す。



❷ [Apple CarPlay] を選択し、ENT スイッチを押す。



❸ 接続する機器を選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

Apple CarPlay を有効にするには：

❹ [Apple CarPlay を有効にする] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



❺ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Apple CarPlay を無効にするには：

❹ [Apple CarPlay を有効にする] を選択し、ENT スイッチを押して [OFF]（無効）に切り換える。



❺ Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

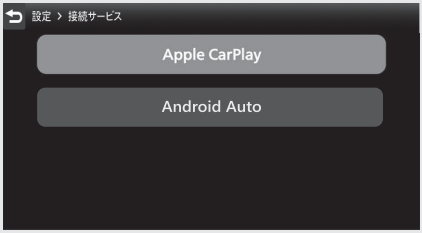
タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Apple CarPlay の免責事項画面を表示する／表示しない

❶ [接続サービス] を選択し、ENT スイッチを押す。



❷ [Apple CarPlay] を選択し、ENT スイッチを押す。



❸ 接続する機器を選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

免責事項画面を表示する：

❹［接続時に確認］を選択し、ENT スイッチを押して［ON］（表示する）に切り換える。



❺Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

免責事項画面を表示しない：

❹［接続時に確認］を選択し、ENT スイッチを押して［OFF］（表示しない）に切り換える。



❺Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.37

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

iPhone を接続するには

- 接続した機器をフロントシート下やリアシート下などに放置しないでください。高温で、機器が故障する可能性があります。
- 接続する機器付属の取扱説明書に記載されている注意事項を守って使用してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- メインスイッチが ▎（On）のとき、iPhone を USB ソケットに接続することで充電が可能です。充電時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 接続した機器が走行振動等で損傷しないよう、やわらかい布あるいはカバー等で保護した状態でのご使用をおすすめします。
- USB ソケットに水を付着させないように注意してください。
- ハブ接続は行わないでください
- 適合外の USB 機器は使用しないでください。
- iPhone が Apple CarPlay 経由で接続されている場合、Bluetooth 機器の音楽ファイルは再生できず、iPhone の音楽ファイルは Apple CarPlay 内でのみ再生できます。

iPhone を接続するには：P.235

接続した iPhone を取り外すには

オーディオシステムとデータ通信を行っていないときはいつでも機器を取り外すことができます。ケーブルから機器の取り外しかたは機器の指示に従ってください。

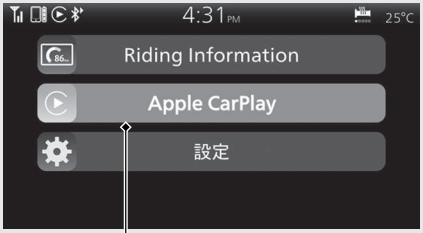
オーディオシステム 前ページの続き

Apple CarPlay メニュー

Apple CarPlay メニュー画面



ホーム画面



電話

コンタクトリストから電話をかけたり、Voicemail を聞くことができます。

- ▶ 電話は Apple CarPlay によって受発信が行われます。Apple CarPlay に接続された iPhone では Bluetooth ハンズフリー電話を使用することはできません。Bluetooth ハンズフリー電話を使用したい場合は、Apple CarPlay をオフにするか、iPhone の USB 接続を解除してください。
- ▶ Apple CarPlay によって電話を受信したときは、ENT スイッチで電話を受けることができます。 ボイスコントロールスイッチでは電話を受けることができません。

ミュージック

接続した iPhone 内の音楽を再生できます。

- ▶ Apple CarPlay に接続された iPhone では、Bluetooth オーディオは使用できません。ただし、Apple CarPlay に接続されていない iPhone では Bluetooth オーディオが使用できます。

マップ

Apple のマップを表示して、接続した iPhone と同様のナビゲーション機能を使用できます。

メッセージ

接続した iPhone に届いたテキストメッセージを音声読み上げで確認したり、返信したりすることができます。

Honda

ホーム画面に戻ります。

Apple CarPlay メニュー画面に戻ります。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

Apple CarPlay で Siri を使用する

Siri を起動するには、ヘッドセット（ライダー用）とペアリングする必要があります。 P.155

Siri を有効にする

1. Apple CarPlay を起動する。 P.187
2. 接続した iPhone の Siri の設定を有効にする。
   ▶ 詳しくは、iPhone のユーザーガイドなどをご確認ください。
3. 左ハンドルバーの [ボイスコントロールスイッチ] ボイスコントロールスイッチを前に押す。
4. Siri に話しかける。
   走行中、風切り音や周囲の騒音の影響など使用条件によっては、Siri が正しく認識されないことがあります。そのときは、マイクの位置を変更したり、ウインドスクリーンの高さを調整してください。 P.289

Apple CarPlay Siri でできる機能について詳しくは Apple のホームページをご覧ください。

Siri を無効にする

左ハンドルバーの [ボイスコントロールスイッチ] ボイスコントロールスイッチを前に押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Siri は、Apple Inc. の商標です。

オーディオシステム 前ページの続き

Android Auto™

オーディオシステムに Android Auto™ に対応した Android™ スマートフォン を USB 接続すると、マルチインフォメーションディスプレイで Android™ スマートフォンの電話、Google Maps™（ナビゲーション）、音声操作などの機能が使用できます。

初めて Android Auto™ を使用するときは、スマートフォンの画面で初期設定を完了する必要があります。 Android Auto™ を使用する前に、安全な場所に停車した状態でこの初期設定を完了することをお勧めします。

- Android Auto™ は Android™ 5.0 以降が搭載された Android™ スマートフォンに対応しています。また、お使いのスマートフォンが Android™ 9.0 以前の場合、Android Auto™ を使用するには、接続するスマートフォンに Google Play™ から Android Auto™ アプリをダウンロードする必要があります。
- 最新の機器や最新の OS バージョンによっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。Android Auto™ のすべての機能を使用するために、最新の OS バージョンへのアップデートを推奨します。
- オーディオシステムに Android™ スマートフォンを接続するときや Android Auto™ を起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Android Auto™ は携帯電話ネットワークに接続できる Android™ スマートフォンが必要です。接続の前にデータプランなどの契約状況をご確認ください。
- Android Auto™ のすべての機能を使用するには、*Bluetooth* ヘッドセットの接続が必要です。

デバイスを *Bluetooth* 接続する： P.160

- 周囲の状況や電波の状態によりモバイルデータ通信が不安定になると、Android Auto™ の機能が利用できないことがあります。
- 走行中、タッチパネルで Android Auto™ を操作することはできません。
- 画面に表示されるアプリケーションやメニュー項目は、接続されているデバイスの設定や Android™ のバージョンによって異なる場合があります。
- Android Auto™ に接続された Android™ スマートフォンでは、*Bluetooth* オーディオは使用できません。
- Android™ スマートフォンを機器純正の USB ケーブルを使用して USB コネクターに接続することができます。
- オペレーティングシステム、ハードウェア、ソフトウェア、および Android Auto™ の仕様変更や新たに定められた規制や規制の改定などにより、Android Auto™ の機能とサービスは予告なく中止になることがあります。
- Honda は、Android Auto™ の仕様や機能に対していかなる保証もできません。
- Google™ 社によって Android Auto™ のサービスが開始されている国／地域にて使用可能です。詳細については Google™ 社のサポートサイトをご確認ください。
- Google™ 、Android™ 、Google Maps™ 、Google Play™、Android Auto™ およびその他のマークは、Google LLC の商標です。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

ご利用前にご理解いただきたいこと

Android Auto™ ご利用中は、車両からユーザ情報および位置や速度などの車両情報が接続中のAndroid™ スマートフォンに送信されます。

Android Auto™ をご利用いただいた場合は、Android Auto™ アプリケーションをダウンロードする際の利用規約に同意されたものとみなされます。

Android Auto™ によりアップロードされたユーザ情報および位置や速度などの車両情報の取り扱いに関する詳細は、Google™ のプライバシーポリシーをご確認ください。

Honda は、Android Auto™ をご利用いただいたことにより生じた損害について、一切の責任を負いません。

Android Auto™ のセットアップ

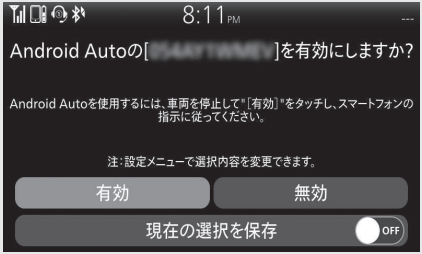
USB ソケットに Android™ スマートフォンを接続すると、自動的にペアリングを行い、Android Auto™ での機器使用画面が表示されます。

► 車両が安全な場所に停車しているときのみ、Android Auto™ の初回接続設定を実行します。初回接続時に、接続する Android™ スマートフォンがオーディオシステムと *Bluetooth* 接続のペアリングを設定していない場合、自動的に *Bluetooth* 接続のペアリング設定が実行されます。

1. *Bluetooth* ヘッドセットを接続する。 ➡P.160
2. Android™ スマートフォンを USB ソケットに接続する。 ➡P.235
   ► 一部の USB ケーブルは Android Auto™ と互換性がない場合があります。 USB-IF にて認証された USB 2.0 規格に準拠した USB ケーブルをご使用ください。接続する USB ケーブルによってはうまく作動しないことがあります。その場合は USB ケーブルを変更して再接続してください。
3. マルチインフォメーションディスプレイに機器使用確認画面が表示されたら、[有効] を選択し、ENT スイッチを押す。
   ► 次回接続したときに免責事項画面を表示させない為には、[現在の選択を保存] を [ON] に設定してください。

次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き



[有効] を選択し、[現在の選択を保存] が [OFF] のとき：1 回だけ Android Auto™ の使用を許可します。（ 次回接続時、免責事項画面が表示されます。）

[有効] を選択し、[現在の選択を保存] が [ON] のとき： 常に Android Auto™ の使用を許可します。（免責事項画面は表示されません。）

[無効] を選択し、[現在の選択を保存] が [OFF] のとき：Android Auto™ の使用を許可しません。（次回接続時、免責事項画面が表示されます。）

[無効] を選択し、[現在の選択を保存] が [ON] のとき：Android Auto™ の使用を許可しません。（免責事項画面 は表示されません。）

4 Android Auto™ 設定を有効にする。 P.203
▶ Android Auto™ メニューが表示されます。

5 ENT スイッチを押してアプリランチャーを開く

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

免責事項画面を表示するには： P.205

Android Auto™ の有効／無効を切り換える

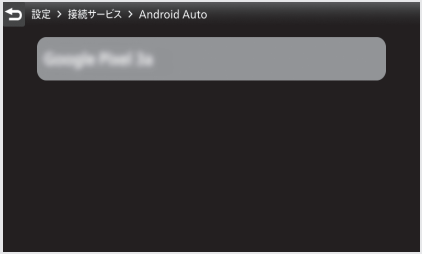
❶［接続サービス］を選択し、ENT スイッチを押す。



❷［Android Auto］を選択し、ENT スイッチを押す。



❸接続する機器を選択し、ENT スイッチを押す。



次ページに続く

オーディオシステム 前ページの続き

Android Auto™ を有効にするには：

❹［有効］を選択し、ENT スイッチを押して［ON］（有効）に切り換える。



❺Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.23

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Android Auto™ を無効にするには：

❹［有効］を選択し、ENT スイッチを押して［OFF］（無効）に切り換える。



❺Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。P.23

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Android Auto™ の免責事項画面を表示する／表示しない

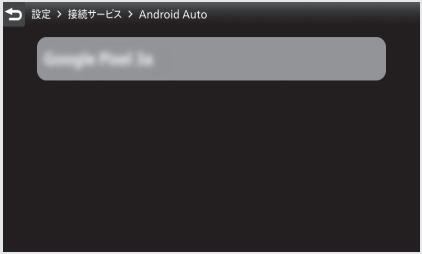
❶[接続サービス] を選択し、ENT スイッチを押す。



❷[Android Auto] を選択し、ENT スイッチを押す。



❸接続する機器を選択し、ENT スイッチを押す。



オーディオシステム 前ページの続き

免責事項画面を表示する：

4 [接続時に確認] を選択し、ENT スイッチを押して [ON]（有効）に切り換える。



5 Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.23

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

免責事項画面を表示しない：

4 [接続時に確認] を選択し、ENT スイッチを押して [OFF]（無効）に切り換える。



5 Riding Information、前の画面、またはホーム画面に戻る。 P.23

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

Android™ スマートフォンを接続するには

- 接続した機器をフロントシート下やリアシート下などに放置しないでください。高温で、機器が故障する可能性があります。
- 接続する機器付属の取扱説明書に記載されている注意事項を守って使用してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- メインスイッチが ❙（On）のとき、Android スマートフォン を USB ソケットに接続することで充電が可能です。充電時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 接続した機器が走行振動等で損傷しないよう、やわらかい布あるいはカバー等で保護した状態でのご使用をおすすめします。
- USB ソケットに水を付着させないように注意してください。
- ハブ接続は行わないでください。
- 適合外の USB 機器は使用しないでください。

Android™ スマートフォンを接続するには：
P.235

接続した Android™ スマートフォンを取り外すには

オーディオシステムとデータ通信を行っていないときはいつでも機器を取り外すことができます。 ケーブルから機器の取り外しかたは機器の指示に従ってください。

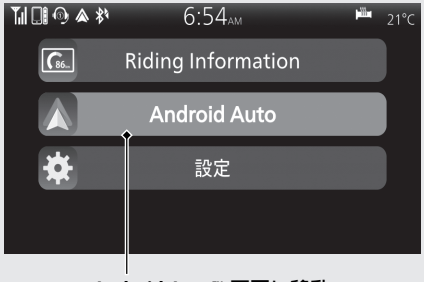
オーディオシステム 前ページの続き

アプリランチャー画面

アプリランチャー画面



ホーム画面



マップ
Google Maps™ を表示して、接続したスマートフォンと同様のナビゲーション機能を使用できます。

電話
電話をかけたり、ボイスメールを聞くことができます。
▶ 電話は Android Auto™ によって受発信が行われます。
（音声操作）
音声で Android Auto™ を操作します。
（通知センター）
Android™ の通知を確認できます。

（アプリランチャー）
アプリランチャー画面を表示します。

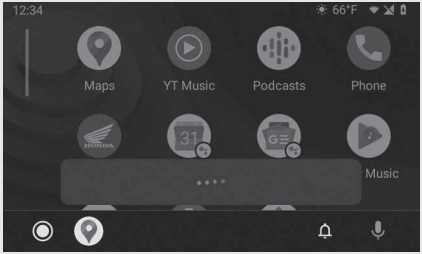
終了
ホーム画面に戻ります。

Android Auto™ に対応しているアプリも使用できます。対応しているアプリについては、Google™ のホームページをご覧ください。

オーディオシステム 前ページの続き

音声操作

音声操作を起動するには、ヘッドセット（ライダー用） とペアリングする必要があります。
P.160



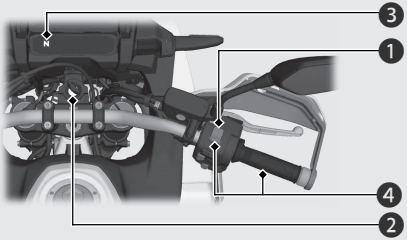
1. Android Auto™ 接続中に、左ハンドルの スイッチを前に押すか、 を選択する。
2. ENT スイッチを押して音声操作を開始する。

走行中、風切り音や周囲の騒音の影響など使用条件によっては、音声操作が正しく認識されないことがあります。そのときは、マイクの位置を変更したり、ウインドスクリーンの高さを調整してください。 P.289

エンジン始動

マニュアルトランスミッションタイプ

始動するには、エンジン・冷却水の温度にかかわらず、次の手順で行ってください。

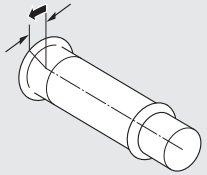


アドバイス

- スタータースイッチを押して 5 秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを○(Off)にしてください。その後バッテリー電圧回復のため 10 秒ほど経ってからやり直してください。
- 無用な空ぶかしや長時間のアイドリングはエンジンやマフラー、触媒装置に悪影響を与えます。
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチを○(Off)にしてください。再度走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

1. エンジンストップスイッチが ◯ (Run) の位置にあるか確認する。
2. メインスイッチを | (On) に回す。
3. ギアをニュートラルにする。(表示灯点灯)
   - ▶ ギアが入った状態では始動しません。ただし、サイドスタンドが格納されている状態でクラッチレバーを握れば始動します。
4. スロットルグリップを閉じたまま、START ⓢ スタータースイッチを押す。
   - ▶ もし、エンジンがかからない場合は、スロットルグリップをわずかに(遊びを除いて 3 mm 程度)回しながら、START ⓢ スタータースイッチを押してください。

遊びを除いて 3 mm 程度



次ページに続く

エンジン始動 前ページの続き

エンジンがかからないときは

次の方法を試してください。

① スロットルグリップを全開にし、START スタータースイッチを押す。
▶ この時点では、エンジンは始動しません。（スロットルグリップが全開の場合は、START スイッチを押してもエンジンは始動しない仕様です。）5 秒後にスロットルグリップとSTART スイッチをはなして、手順 ② へ進んでください。

② 通常手順（❶ ～ ❹）でエンジンをかける。

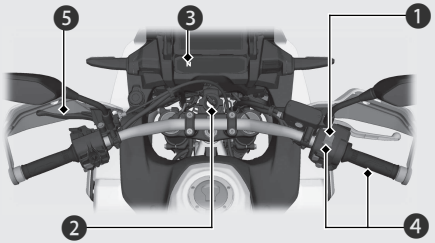
③ エンジンがかかり、エンジン回転が安定しない場合はスロットルグリップを少し開ける。

④ エンジンがかからないときは 10 秒間待ってから、① ② の手順を繰り返す。

それでも始動できないときは ➡P.292

Dual Clutch Transmission タイプ

始動するには、エンジン・冷却水の温度にかかわらず、次の手順で行ってください。

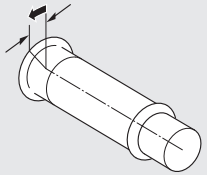


アドバイス

- スタータースイッチを押して 5 秒以内でエンジンがかからないときは、一度メインスイッチを◯(Off)にしてください。その後バッテリー電圧回復のため 10 秒ほど経ってからやり直してください。
- 無用な空ぶかしや長時間のアイドリングはエンジンやマフラー、触媒装置に悪影響を与えます。
- 万一転倒した場合は、一旦メインスイッチを◯(Off)にしてください。再度走行を行う際は、各部の損傷状態や、走行に支障が無いかを十分に確認してください。

1. エンジンストップスイッチが ⟳ (Run) の位置にあるか確認する。
2. メインスイッチを | (On) に回す。
3. ギアがニュートラルになっているか確認する。(表示灯点灯)
4. スロットルグリップを閉じたまま、START Ⓢ スタータースイッチを押す。
   - ▶ もし、エンジンがかからない場合は、スロットルグリップをわずかに(遊びを除いて 3 mm 程度) 回しながら、START Ⓢ スタータースイッチを押してください。

遊びを除いて 3 mm 程度



5. 走行前にパーキングブレーキが完全に解除されているか確認する。 P.125

次ページに続く

エンジン始動 前ページの続き

エンジンがかからないときは P.212

それでも始動できないときは P.292

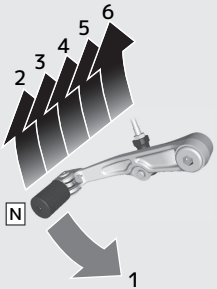
エンジンを停止するときは

① ギアをニュートラルにする。（表示灯点灯）
▶ ニュートラル以外でメインスイッチを○（Off）にすると、クラッチが切れた状態でエンジンが停止します。
② メインスイッチを○（Off）に回す。
③ 駐車の際には、パーキングブレーキをかける。
P.125

ギアチェンジ

マニュアルトランスミッションタイプ

この車のトランスミッションは、下 1 速、上 5 速シフトの 6 速リターン式です。速度に応じてギアを切り換えることが必要です。



走行前に、サイドスタンドが完全に納まっているか確認してください。
サイドスタンドを出したままギアチェンジを行うと、エンジンが停止します。

速度範囲

1 速 0 - 60 km/h
2 速 25 - 85 km/h
3 速 35 - 110 km/h
4 速 45 - 135 km/h
5 速 50 - 150 km/h
6 速 55 km/h 以上

シフトダウンについて

追い越しなど、強力な加速が必要なときはシフトダウンをします。高い速度でのシフトダウンは、尻振りなどの原因や、走行安定性を損なうほか、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。次の速度内で行ってください。

シフトダウン可能限界速度

6 速→5 速 150 km/h 以下
5 速→4 速 135 km/h 以下
4 速→3 速 110 km/h 以下
3 速→2 速 85 km/h 以下
2 速→1 速 60 km/h 以下

次ページに続く

ギアチェンジ 前ページの続き

Dual Clutch Transmission タイプ

この車は 6 速オートマチックトランスミッションを装備しています。AT モード時には自動的に変速し、MT モード時にはスイッチ操作で変速することができます。

速度範囲

1 速 0 - 60 km/h
2 速 25 - 85 km/h
3 速 35 - 110 km/h
4 速 45 - 135 km/h
5 速 50 - 150 km/h
6 速 55 km/h 以上

シフトダウンについて

追い越しなど、強力な加速が必要なときはシフトダウンをします。高い速度でのシフトダウンは、尻振りなどの原因や、走行安定性を損なうほか、エンジンやトランスミッションに悪影響を与えます。次の速度内で行ってください。

シフトダウン可能限界速度

6 速→5 速 150 km/h 以下
5 速→4 速 135 km/h 以下
4 速→3 速 110 km/h 以下
3 速→2 速 85 km/h 以下
2 速→1 速 60 km/h 以下

Dual Clutch Transmission タイプ

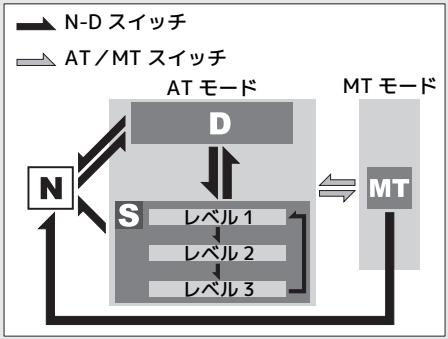
DCT（デュアルクラッチトランスミッション）

DCT には 3 つのモードがあり、走行状況やライディングスタイルに合わせ選択することができます。
走行状況に合わせた最適なタイミングで自動的にシフトアップ・シフトダウンを行う AT モードには、通常走行用の D モードと、よりスポーティーな 3 段階の S モードの 2 つの走行モードがあります。
MT モードでは、シフトスイッチ操作により、マニュアルでのシフトアップ・シフトダウンが可能です。

- ▶ DCT が AT モード("D"または"S"表示)や MT モード(1～6 の表示)の状態で、車両を前後に押し引きしたり、停車時や低速時にハンドルを操作したりするときは、スロットルグリップを回さないように注意してください。車両が予期せず急発進するおそれがあります。
- ▶ DCT システムを正常に機能させるため、タイヤとスプロケットは前後とも指定のものをお使いください。

DCT システムは自己診断機能を備えており、エンジン始動直後にギアポジション表示に"－"が数秒から十数秒間表示され、その後消灯します。

"－"が表示されている間は走行モードに切り換えできません。



次ページに続く

ギアチェンジ 前ページの続き

ニュートラル（N）：
メインスイッチを▌（On）にすると自動的に選択されます。

▌メインスイッチを▌（On）にしてもニュートラルにならない場合：

- メインスイッチを◯（Off）にし、再度▌（On）にする
- それでもニュートラルが選択されない場合 P.297
  ▶ ギアがニュートラルに切り換わるときに音がすることがありますが、異常ではありません。

▌N と D の切り換え可能な条件：

- 停止した状態でアイドリングしている
- スロットルを完全に閉じている
  ▶ スロットル操作中は N と D の切り換えはできません。
- ホイールが静止している
  ▶ ホイールが回転している状態では、N と D の切り換えはできません。
- サイドスタンドが格納されている

アドバイス
クラッチの損傷をさけるため、長時間上り坂でスロットルを操作して停止状態を保たないでください。

オートマチック（AT）モード：
このモードでは走行状況に従って自動的にギアが変速されます。
シフトアップスイッチ（＋）、シフトダウンスイッチ（－）を使って、一時的にギアチェンジすることができます。カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。➡P.222
AT モード内では D モード、S モードの 2 種類のモードを選択できます。

D モード：
AT モードを選択時の標準モードです。通常走行や燃費走行の場合に選択します。

S モード：
AT モード選択時での追い越しや登坂、引き離しなど、より大きな駆動力が必要な場合に選択します。
S モードには 3 段階の設定があります。

マニュアル（MT）モード：
6 速マニュアル操作です。
シフトスイッチ操作により、任意に 1 速～ 6 速を選択できます。➡P.222

ギアチェンジ 前ページの続き

ニュートラルと AT、MT モードの切り換え

ニュートラル（N）から AT モードへの切り換え

N-D スイッチの D-S 側を押します（①）。
AT インジケーターが表示され、ギアが 1 速に入ります。

AT、MT モードからニュートラルへの切り換え

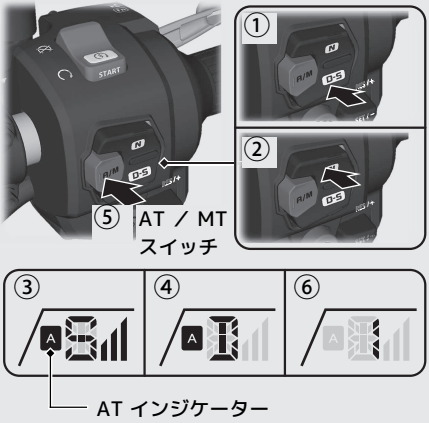
N-D スイッチの N 側を押します（②）。

AT モード時の D モードと S モードの切り換え

N-D スイッチの D-S 側を押します。S 表示もしくは D 表示が点灯します（③、④）。

AT モードと MT モードの切り換え

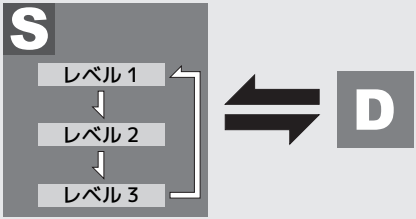
AT／MT スイッチを押します（⑤）。
MT モード選択時は、ギアポジションが表示され、AT インジケーターは表示しません（⑥）。



AT モード時の S モードレベルの選択

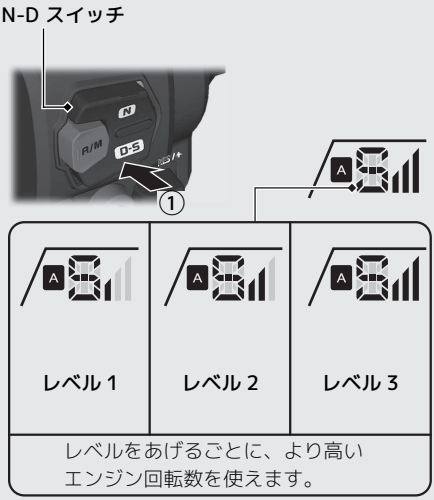
S モード時に N-D スイッチの D-S 側を押し続けます（①）。

► スロットルグリップを完全に閉じてください。その後 S モードの任意のレベルを選択します。



N-D スイッチの D-S 側を押し続ける

N-D スイッチの D-S 側を押す



メインスイッチを○（Off）または、S モード以外にしても、選択されたレベルを保持します。

次ページに続く

ギアチェンジ 前ページの続き

MT モード時の走行

シフトアップスイッチ（+）、シフトダウンスイッチ（−）でシフトアップ、シフトダウンを行います。

選択されたギアは、ギアポジション表示に表示されます。

- ▶ MT モード時にギアは自動的にシフトアップしません。エンジン回転数がレッドゾーンに入らないようにしてください。
- ▶ MT モード時でも低速になると、ギアは自動的にシフトダウンします。
- ▶ MT モード時でも発進は 1 速から行います。

シフト制御

エンジン回転数がレブリミットを越える場合はシフトダウンはできません。

ギアチェンジの操作

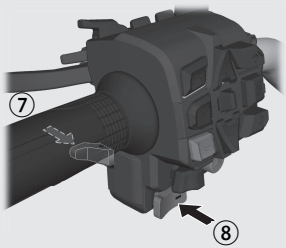
シフトアップ：

シフトアップスイッチ（＋）を押します（⑦）。

シフトダウン：

シフトダウンスイッチ（−）を押します（⑧）。

- ▶ シフトスイッチを押したままでは連続で変速しません。続けて変速をするときは、一度シフトスイッチから指を離して再びシフトスイッチを押してください。



クルーズコントロール（自動定速走行装置）

高速道路または、発進、停止の繰り返しの少ない自動車道路などを一定速度で運転できる装置です。
クルーズコントロールが設定可能なギアポジションと速度範囲は以下の通りです。法定速度を守って走行してください。

マニュアルトランスミッションタイプ	
設定可能な速度範囲	50 ～ 160 km/h
設定可能なギアポジション	4 速 ～ 6 速

Dual Clutch Transmission タイプ	
設定可能な速度範囲	50 ～ 160 km/h
設定可能なギアポジション	3 速 ～ 6 速

次のような道路では、安全のため、クルーズコントロールは使用しないでください。

- 混んでいて車間距離が十分にとれない道路
- 急なカーブ、急な下り坂のある道路
- 悪天候下の道路

登坂時および降坂時は条件によっては一定車速を保てない場合があります。

次ページに続く

クルーズコントロール（自動定速走行装置） 前ページの続き

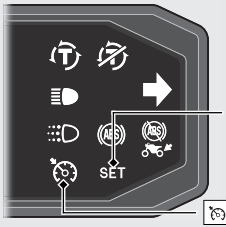
希望車速をセットし、定速走行する

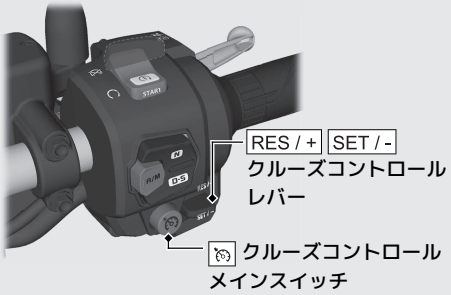
❶ 走行車速とギアポジションが設定可能な要件を満たしていることを確認する。
▶ 要件を満たしていないと車速の設定は行えません。

❷ クルーズコントロールメインスイッチを押す。（クルーズコントロールメイン表示灯が点灯）

❸ スロットルグリップを加減して希望の車速になったら、RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを"SET / -"側に動かす。（クルーズコントロールセット表示灯が点灯）
▶ 現在の車速がセットされます。

自動定速走行をしない場合は、安全のためクルーズコントロールメインスイッチを解除（OFF）しておいてください。





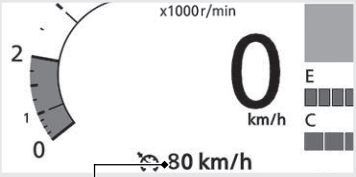
設定車速を変更する

設定車速を微調整するには

1. Riding Information を表示する。 P.37
2. 設定車速を上げるとき： RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“RES / +”側に押して離す。
   ▶ そのときの車速に対して約 1 km/h 増速します。

   設定車速を下げるとき： RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“SET / -”側に押して離す。
   ▶ そのときの車速に対して約 1 km/h 減速します。

設定可能な速度範囲以外の車速は設定できません。（上限速度または下限速度で止まります。） P.223



クルーズコントロール設定車速

クルーズコントロール（自動定速走行装置） 前ページの続き

設定車速を連続的に変更するには

- 設定車速を上げるとき：RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“RES / +”側に押し続けます。
  設定車速の変化に応じて車両速度が自動で上がります。希望の車速に達したら、RES / + SET / -クルーズコントロールレバーを離します。
  RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“RES / +”側に押し続けると、設定可能な速度範囲の上限で止まります。
- 設定車速を下げるとき：RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“SET / -”側に押し続けます。
  設定車速の変化に応じて車両速度が自動で下がります。希望の車速に達したら、RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを離します。
  RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“SET / -”側に押し続けると、設定可能な速度範囲の下限で止まります。

設定車速を手動で上げるには

1. スロットルグリップで加速し希望の車速まで上げる。
2. RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“SET / -”側に押して離す。
   ▶ 離したときの車速にセットされます。

クルーズコントロール中一時的に加速したいとき

1. スロットルグリップを通常の加速時と同じように回して加速する。
2. 設定車速に戻るには、ブレーキをかけずにスロットルグリップをもとの位置に戻す。
   ▶ 車両は、前回設定した車速で定速走行します。

クルーズコントロールを解除する

クルーズコントロールを解除するには

- クルーズコントロールメインスイッチを押します。（クルーズコントロールメイン表示灯が消灯し、設定車速が消去されます。）

クルーズコントロールを一時的に解除にするには

❶以下の操作を行うと、自動定速走行状態が一時的に解除される。（クルーズコントロールセット表示灯が一時的に消灯しますが、設定速度は記憶されています。）

- ブレーキレバーを握るか、ブレーキペダルを踏んだとき
- スロットルグリップを全閉位置よりさらに減速方向に回したとき
- マニュアルトランスミッションタイプ
  クラッチレバーを握ったとき、またはシフトレバーを操作したとき

❷解除前の設定車速に戻したいときは、以下の操作を行う。

- 車速が 50 km/h 以上の場合、RES / + SET / - クルーズコントロールレバーを“RES / +”側に押して離します。
- 車速が 50 km/h 以下の場合、RES / + SET / - 50 km/h 以上まで加速後クルーズコントロールレバーを“RES / +” 側に押して離します。

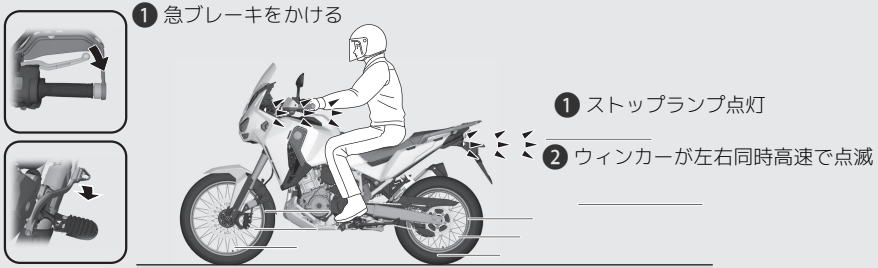
エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、自車が急ブレーキをかけたことをウィンカーが左右同時自動的に高速で点滅して後続車に知らせ、追突される可能性を低減するシステムです。
50 km/h 以上で走行しているときにシステムが急ブレーキを検知すると作動します。

エマージェンシーストップシグナルは、以下の状態になると作動が停止します。

- ブレーキを離したとき
- ABS が停止したとき
- 急減速でなくなったとき
- ハザードスイッチを ON にしたとき

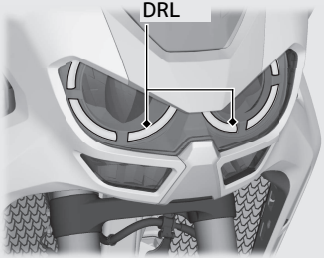
作動の仕組み



▶ エマージェンシーストップシグナルは、追突されるおそれを低減するシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。
▶ ハザードスイッチが ON のときは、エマージェンシーストップシグナルは作動しません。
▶ ABS が一定時間以上作動しないとき、システムが作動しない場合があります。

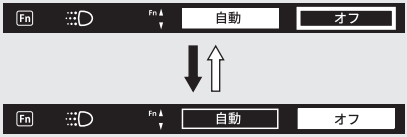
DRL（デイタイムランニングライト）

ヘッドライト（前照灯）上下切り換えスイッチ／パッシングライトスイッチ（追い越し合図）を≣D/⁝⁝Dの位置にし、DRL を自動（➡P.115）に設定すると、ヘッドライトと DRL が周囲の明るさに応じて、自動で切り換わります。
フォトセンサーによって周囲の明度を検出します。フォトセンサーが明るいと判断した場合は DRL が点灯し、暗いと判断した場合はヘッドライト（下向き）が点灯します。
ヘッドライト（下向き）の点灯時、DRL は減光します。



DRL 自動／オフの切り換え

1. エンジンを始動する。
2. Fn ファンクションセレクトスイッチを使用し、ポップアップ情報表示の DRL を選択する。
3. Fn ファンクションレバーを前後に動かして、［自動］と［オフ］を切り換える。



Fn ファンクションレバーを前に動かす

Fn ファンクションレバーを後ろに動かす

DRL をオフに切り替えた場合でも、メインスイッチを ▎(On) の位置にすると、DRL は［自動］に切り換わります。

コーナリングライト

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

コーナリングライトは、コーナリング時に車両の進行方向を照らします。

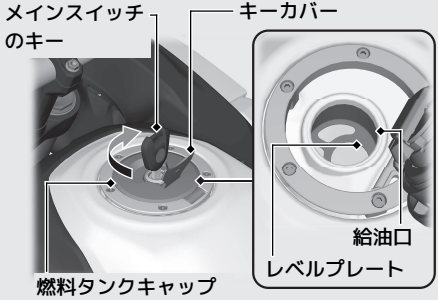
作動条件：

- 10 km/h 以上の速度で走行
- 車が左または右に傾いている

バンク角によって 3 段階点灯状態が切り替わります。



燃料補給



燃料がにじみ出ることがあるので、レベルプレート以上入れないでください。

使用燃料：無鉛レギュラーガソリン

タンク容量

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

18 ℓ

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

24 ℓ

燃料についての注意 P.9

燃料タンクキャップの開けかた

キーカバーを開け、キーを差し込み右に回して、燃料タンクキャップを開ける。

燃料タンクキャップの閉じかた

①燃料タンクキャップを手で確実に押してロックする。

②キーを抜き、キーカバーを閉じる。

▶ キャップがロックされないと、キーは抜けません。

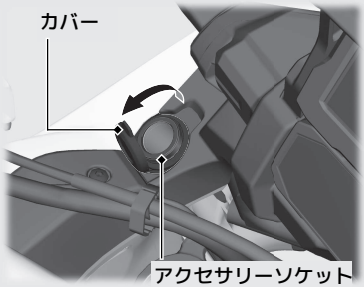
⚠ 警告

ガソリンは燃えやすいため、ヤケドを負ったり、爆発して重大な傷害に至る可能性があります。

燃料補給およびガソリンの取り扱い ➡P. 9

アクセサリーソケット

アクセサリーソケットは、左側インナーパネルカバーにあります。
接続する機器についてはご自身の責任でお使いください。
カバーを開けてお使いください。
定格 24 W (12 V、2 A)まで使用できます。



▶ バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でお使いください。
▶ ソケットへの異物侵入を防ぐために、使用しないときはカバーを閉めてください。
▶ 走行中に動いたり、振動による損傷を与えないように、機器をしっかりと固定してください。

アドバイス

- 発熱する機器や定格以上の機器を使用しないでください。
- ソケットが濡れた状態では使用しないでください。
- 機器のケーブルが挟まれたり絡まったりしないようにしてください。
- 機器のケーブルがハンドル操作や運転の妨げにならないようにしてください。

USB ソケット

USB ソケットは、右側フロントウィンカーカバー*1、または右側インナーパネルカバー*2 にあります。

*1：CRF1100L Africa Twin 〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission 〈s〉

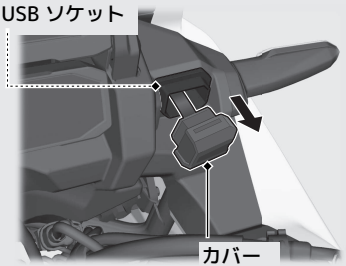
*2：CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

接続する機器についてはご自身の責任でお使いください。

定格 7.5 W (5 V、1.5 A) まで使用できます。
カバーを開けてお使いください。

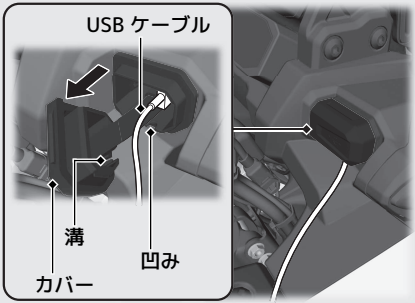
USB 機器を接続するには

1. カバーを開ける。
2. 接続する機器の純正 USB ケーブルを USB ソケットに接続する。



USB ソケット 前ページの続き

❸ USB ケーブルを凹みに通します。
❹ USB ケーブルをカバーの溝に通してカバーを閉じます。



▶ バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でお使いください。
▶ ソケットへの異物侵入を防ぐために、必ずカバーを閉めてください。
▶ 走行中に動いたり、振動による損傷を与えないように、機器をしっかりと固定してください。

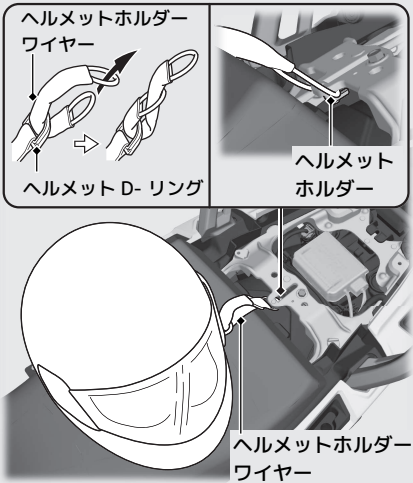
アドバイス

- 発熱する機器や定格以上の機器を使用しないでください。
- USB ソケットを損傷する可能性があるので、USB ソケットが濡れた状態、洗車中、またはその他の濡れた状態で使用しないでください。
- 機器のケーブルが挟まれたり絡まったりしないようにしてください。
- 機器のケーブルがハンドル操作や運転の妨げにならないようにしてください。

その他装備の使いかた

ヘルメットホルダー

ヘルメットホルダーはリアシート下にあります。ヘルメットホルダーワイヤーはリアシート下のリアフェンダーの上にあります。 P.238



▶ ヘルメットホルダーは駐車時のみお使いください。

リアシートの取り外しかた P.264

⚠ 警告

ヘルメットホルダーにヘルメットをつけたまま走行しないでください。

走行の妨げになり、重傷を負ったり死亡したりする事故が発生することがあります。

次ページに続く

その他装備の使いかた 前ページの続き

ヘルメットホルダーワイヤー

リアシート下にヘルメットホルダーワイヤーがあります。



ヘルメットホルダーワイヤー

▶ ヘルメットホルダーワイヤーは図のようにリアフェンダーの上に収納してください。

リアシートの取り外しかた P.264

書類入れ

フロントシート裏側に、書類入れがあります。

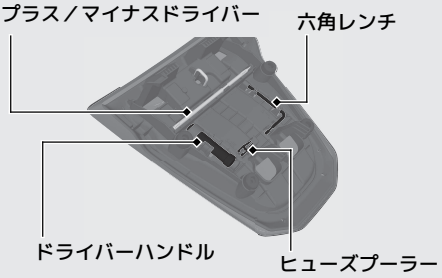


書類入れ

フロントシートの取り外しかた P.261

ヒューズプーラー、プラス／マイナスドライバー、ドライバーハンドル、六角レンチ

リアシート裏側に、ヒューズプーラー、プラス／マイナスドライバー、ドライバーハンドルおよび六角レンチがあります。



リアシートの取り外しかた P.264

携帯工具

携帯工具ボックス内に携帯工具があります。



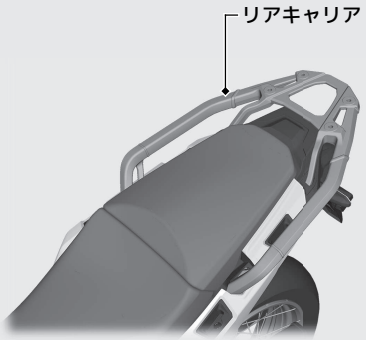
携帯工具ボックスの取り外しかた P.258

その他装備の使いかた 前ページの続き

リアキャリア

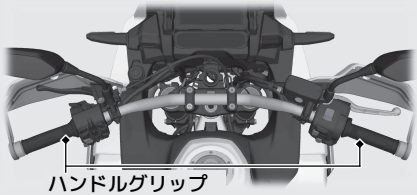
最大積載量を超えて荷物を積まないでください。

最大積載量：10 kg



ハンドルグリップヒーター

この車は、運転する際に手元を暖めるハンドルグリップヒーターを装備しています。ハンドルグリップヒーターを使用する際は、手袋を着用してください。



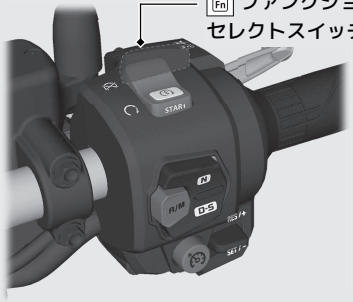
ハンドルグリップヒーターステータスアイコン：

ハンドルグリップヒーターを ON にするとヒーターレベルとともに表示します。 ヒーターレベルは 5 段階に調整できます。

2 秒ごとに点滅したときは P.299

ハンドルグリップヒーターの使いかた

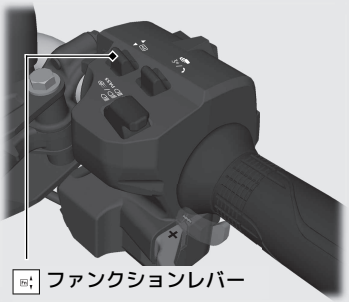
1. エンジンを始動する。
2. Fn ファンクションセレクトスイッチを押してハンドルグリップヒーターディスプレイを表示する。



次ページに続く

その他装備の使いかた 前ページの続き

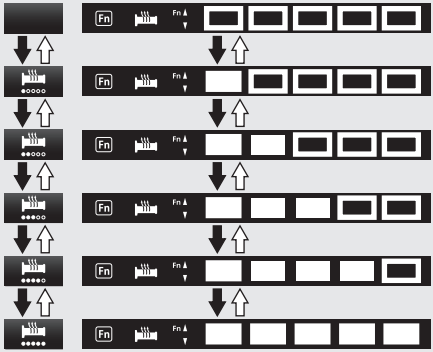
❸ ファンクションレバーを前または後に押し、ハンドルグリップヒーターレベルを選択する。
- ▶ ハンドルグリップヒーターの温度は外気温によって変化するので、暖かい日の高温度設定はさけてください。
- ▶ 走行中は、ハンドルグリップヒーターの操作を行わないでください。



❹ OFF にするには、ハンドルグリップヒーターアイコンが消えるまで ファンクションレバーを後に数回押す。

アイドリング状態での長時間のご使用はさけてください。バッテリーあがりの原因となります。

メインスイッチを ○ （Off）にした場合、選択しているヒーターレベルは保持されます。
- ▶ ヒーターレベルの変更操作後、5 秒以内にメインスイッチを ○ （Off）にした場合、ヒーターレベルは保持されません。

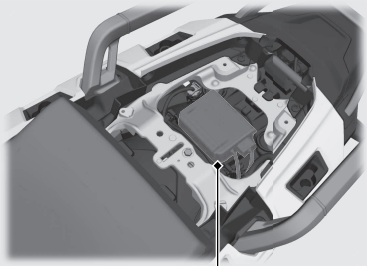

OFF（消灯）
レベル 1 最低温度
レベル 2
レベル 3
レベル 4
レベル 5 最高温度
ファンクションレバーを前に押す
ファンクションレバーを後に押す

次ページに続く

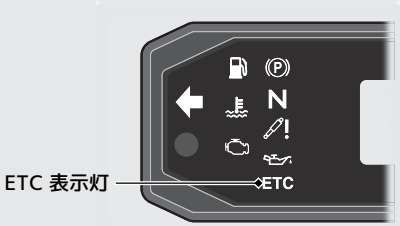
その他装備の使いかた 前ページの続き

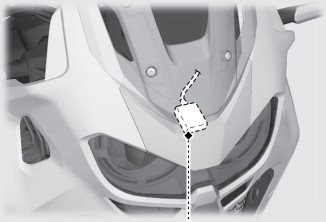
ETC 車載器／ ETC 表示灯／ ETC アンテナ

ETC 車載器の取り扱いについては、別冊の ETC 車載器取扱説明書をお読みください。



リアシートの取り外しかた P.264





ETC アンテナはフロントカバーの中にあります。

メンテナンス

メンテナンスを行う前に必ず「メンテナンスの基礎知識」をお読みください。
また、サービスデータについては「スペック」を参照ください。

メンテナンスの基礎知識 ..... P. 246
主要部品の脱着方法 ..... P. 257
クリップ ..... P. 257
携帯工具ボックス ..... P. 258
バッテリー ..... P. 259
バッテリーボックスカバー ..... P. 260
フロントシート ..... P. 261
リアシート ..... P. 264
エンジンオイル ..... P. 265
冷却水 ..... P. 267
ブレーキ ..... P. 269
ドライブチェーン ..... P. 272
クラッチ ..... P. 273
ブリーザードレーン ..... P. 276
スロットル ..... P. 277
その他の調整 ..... P. 278
ブレーキレバーの距離調整 ..... P. 278
フロントサスペンションの調整 ..... P. 279
リアサスペンションの調整 ..... P. 283
ウインドスクリーンの高さの調整 ..... P. 289

メンテナンスの基礎知識

メンテナンスの重要性

お車をご使用の方の安全と車を快適にご使用いただくために、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行っていただく日常点検と、1 年ごと（12 か月ごと）、2 年ごと（24 か月ごと）の定期点検整備が義務付けられています。安全快適にお乗りいただくために、必ず実施してください。

⚠ 警告

誤った点検整備や、不適当な整備、未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

- 点検整備は、取扱説明書・メンテナンスノートに記載された点検方法・要領を守り、必ず実施してください。
- 異状箇所は乗車前に修理してください。

安全なメンテナンスのために

メンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

- エンジンを停止し、キーを抜いた状態で行う
- 平坦地で足場のしっかりとした場所で行う
- エンジン、マフラー、ブレーキなど高温になる部分はヤケドのおそれがあるので、冷えるまで触れない
- エンジンを始動して作業をする場合は、換気を十分に行う

日常点検

安全快適にご使用いただくために法令に従って、日常のお車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。
点検時期の目安としては、長距離走行や洗車時、給油時などに実施し、その結果をメンテナンスレコードに記入してください。
異音や異状を感じたときは、直ちに Honda 販売店にご相談ください。

▌日常点検項目

この車には下記の日常点検項目が適用されます。

- **ブレーキ**
  - レバーの遊び（油圧式）
  - ペダルの遊び（油圧式）
  - ブレーキの効き具合
  - ブレーキ液の量
- **タイヤ**
  - 空気圧
  - 亀裂、損傷
  - 異状な摩耗
  - 溝の深さ
- **エンジン**
  - 冷却水の量
  - オイルの量
  - かかり具合、異音
  - 低速、加速の状態
- **灯火装置および方向指示器**
- **運行において異状が認められた箇所**
- **ドライブチェーンの緩み（Honda 指定）**

定期点検

安全快適にお車をご使用いただくために、定期点検を必ず実施してください。

また、これらの他にも使い始めてから 1 か月目（または、1,000 km 時）に行う点検、Honda が指定する点検整備項目もあります。

▌道路運送車両法で定められた点検

道路運送車両法で定められた点検には、以下の種類があります。

- 日常点検
- 1 年ごと（12 か月ごと）に行う点検
- 2 年ごと（24 か月ごと）に行う点検

小型二輪車［250 cm^3（cc）を超えるもの］は、1 回目を登録日から 3 年後に、2 回目以降は 2 年ごとに、国で定める継続検査が必要です。

次ページに続く

ご自身で点検を実施する場合

安全のため、ご自分の知識と技量に合わせた範囲内で行ってください。難しいと思われる内容については、Honda 販売店にご相談ください。
点検結果は、メンテナンスノートの定期点検整備記録簿に記入し、大切に保存、携行してください。

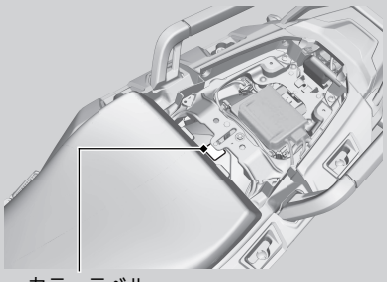
1 か月目点検について

新車から 1 か月目（または、1,000 km 時）は、特に初期の点検整備が車の寿命に影響することを重視し、点検を無料でお取り扱いいたします。お買いあげの Honda 販売店で行ってください。他の販売店にてお受けになると有料となる場合があります。また、オイル代、消耗部品代および交換工賃等は実費をいただきます。詳細については、メンテナンスノートをご覧ください。

交換部品について

整備の際は、Honda 純正部品を使用してください。色物部品をご注文のときは、カラーラベルに記載されているモデル名、カラーおよびコードをお知らせください。

カラーラベルは、リアシートを取り外すと確認できます。 P. 264



⚠ 警告

Honda 純正部品以外のアクセサリー・部品の使用や、不正な改造は思わぬ事故の原因となり、重傷を負ったり、死亡したりすることがあります。

Honda 純正部品を使用してください。

リチウムイオンバッテリー

この車は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。バッテリーのターミナル部に汚れや腐食がある場合のみ清掃してください。

アドバイス

バッテリーには寿命があります。交換時期については、Honda 販売店にご相談ください。交換する場合は、必ず Honda 純正のリチウムイオンバッテリーを使用してください。

アドバイス

バッテリーの充電については、バッテリーメーカー推奨のリチウムイオンバッテリー充電器を使用してください。推奨以外の充電器を使用するとバッテリーが損傷するおそれがあります。くわしくは Honda 販売店にご相談ください。

アドバイス

ブースターケーブルを用いたジャンプスタートは行わないでください。ジャンプスタートにより、バッテリーや車両の電気系統が損傷するおそれがあります。

▌万一の場合の応急処置

以下のようなときは、応急処置したあと、直ちに医師の診察を受けてください。

- 電解液が眼に付着したとき
  - ▶ コップなどに入れた水で、15 分以上洗浄してください。加圧された水での洗浄は、眼を痛めるおそれがあります。
- 電解液が皮膚に付着したとき
  - ▶ 電解液のついた服を脱ぎ、皮膚を多量の水で洗浄してください。
- 電解液を飲み込んだとき
  - ▶ 水、または牛乳を飲んでください。

⚠ 警告

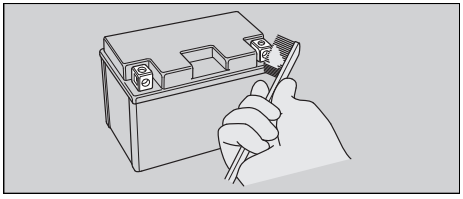
バッテリーには、可燃性の有機溶剤が電解液として含まれています。
誤った取扱いをすると、ヤケドや重大な傷害に至る可能性があります。

- バッテリーを火花、火気、高温になる熱源に近づけない。
- バッテリーを子供の手の届く所に置かない。
- バッテリー本体およびバッテリー端子の分解や改造をしない。
- 工具などの金属でバッテリーをショートさせない。
- バッテリーに衝撃をあたえない。

次ページに続く

ターミナル部の清掃

1. バッテリーを取り外す。P. 259
2. ターミナル部が腐食して白い粉が付いている場合は、ぬるま湯を注いで拭く。
3. ターミナル部の腐食が著しいときは、ワイヤーブラシまたはサンドペーパーで磨く。



4. 清掃後、バッテリーを取り付ける。

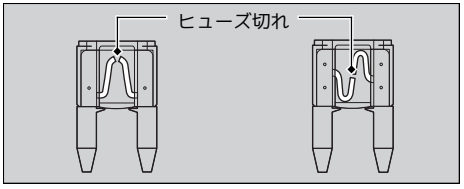
電装部品やアクセサリーを取り付けるときは純正アクセサリーをご使用ください。それ以外のものを使用するとバッテリーあがりや故障の原因となります。

ヒューズ

この車の電気回路は、ヒューズで保護されています。電装部品が動作しないときは、ヒューズを調べ、必要に応じて交換してください。P. 312

ヒューズの点検・交換

メインスイッチを○（Off）にして、ヒューズを取り外して点検します。切れている場合は、指定されている容量のヒューズと交換してください。
ヒューズの容量はスペックページをご確認ください。P. 337



アドバイス

指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。

交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、ヒューズの劣化以外の原因が考えられます。 Honda 販売店にご相談ください。

エンジンオイル（トランスミッションオイル）

エンジンオイルは走行距離や走行状況、時間の経過とともに劣化したり減っていきます。そのため、定期交換時期に行う交換だけではなく日常点検によるオイル点検・補給が必要です。汚れたり古くなったオイルはエンジンに悪影響を与えますので早めに交換してください。
オイル交換はHonda販売店で行うことを推奨します。交換時期はスペックページをご確認ください。P. 334

エンジンオイル（トランスミッションオイル）の選びかた

推奨エンジンオイル（トランスミッションオイル）：
Honda 純正 ウルトラ G1

相当品をご使用の場合は、オイル容器の表示を確認し、下記の全ての規格を満たしているオイルをお選びください。全ての規格を満たしている場合でも特性が異なりこの車に適合しない場合があります。

- JASO T 903 規格※1：MA
- SAE 規格※2：10W-30
- API 分類※3：SJ 級以上

また、必要以上に摩擦を低減するオイル添加剤はエンジンやクラッチの性能や寿命に悪影響を与える場合がありますので使用しないでください。

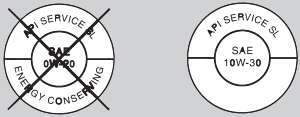
※1: JASO T 903 規格は、二輪車用4サイクルエンジンオイルの性能を分類する規格です。適合し届け出されたオイルの容器には、次の表示があります。



上段：オイルコード
下段：性能分類の表示
MA 性能であることを示しています

※2: SAE 規格は、オイルの粘度を定めた規格です。

※3: API 分類は、エンジンオイルのグレードに関する分類です。API マークの入っている相当品を使用する場合、下記のものをご使用ください。



推奨しません　推奨します

ブレーキ液

銘柄の異なるブレーキ液を使用しないでください。ブレーキ液が変質したりブレーキ装置の故障の原因となることがあります。

アドバイス

ブレーキ液は、プラスチックや塗装面を損傷します。漏れたブレーキ液は直ちに拭き取ってください。

指定ブレーキ液：
Honda 純正ブレーキフルード
DOT4

冷却水

Honda 純正ウルトララジエーター液を、蒸留水または水道水で下記濃度に薄めてお使いください。

標準濃度：50%
濃度による不凍温度：
30% の場合：-16°C まで
50% の場合：-37°C まで

アドバイス

指定以外のラジエーター液や不適当な水（井戸水や天然水）を使うと、サビなどの原因となります。

エアクリーナー

この車には、ろ紙にオイルを含ませたビスカス式のエアクリーナーエレメントが装備されており点検・清掃は不要ですが定期的な交換が必要です。
エアクリーナーエレメントの交換は、Honda 販売店にご相談ください。交換時期はスペックページをご確認ください。➔P. 335

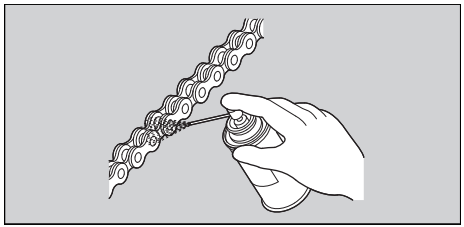
ドライブチェーン

チェーンは、定期的に点検および給油を行ってください。また悪路走行が多い場合や連続高速走行、急加速を繰り返すような運転を行う場合には、頻繁に点検を行ってください。➔P. 272
チェーンの異常（回転が滑らかでない、異音、固着、ローラーやO−リングの損傷）は、Honda 販売店にご相談ください。

ドライブチェーンの清掃と給油

緩み（たるみ）の点検後、車体を前後に動かし、チェーンやスプロケットに付着した泥、汚れを中性洗剤またはチェーンクリーナーを使用し、乾いた布などで落とします。汚れがひどい場合、やわらかいブラシを使用してください。汚れを落としたあとは、十分に乾燥させ、推奨オイルをチェーンローラーの両側に給油してください。

推奨オイル：
Honda 純正チェーンオイルまたは相当品



チェーンは、ゴムのシールを使用しているため、スチーム / 高圧洗浄、ワイヤーブラシ、ガソリンやベンゼンなどの揮発性溶剤、研磨材が入っている洗剤は使用しないでください。
シール（O-リング）チェーン専用の、クリーナーや潤滑油（チェーンスプレーなど）以外は使用しないでください。
オイルがブレーキやタイヤに付着しないようにしてください。チェーンにオイルをつけ過ぎると、衣服や車に飛び散り汚しますので、オイルをつけ過ぎないよう注意してください。

ブリーザードレーン

エンジンの性能を維持するためには、定期的なブリーザードレーンの清掃が必要です。➔P. 276

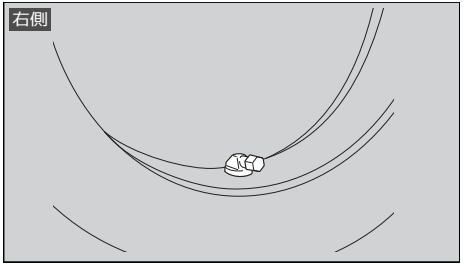
タイヤ

空気圧の点検

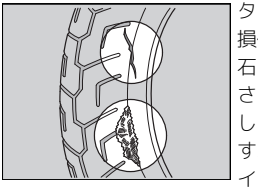
タイヤの空気圧は徐々に低下します。また、タイヤによっては空気圧不足が見た目ではわかりづらいため、少なくとも 1 か月ごとにタイヤゲージを使用して空気圧を点検してください。

タイヤは、走行後は温まり空気圧が高くなることがありますので、必ず冷えた状態で点検してください。

エアーバルブの向きがかわっていても、もとに戻そうとせず、Honda 販売店にご相談ください。

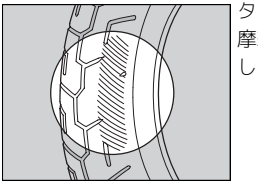


亀裂と損傷の点検



タイヤの全周に、亀裂や損傷、ひび割れおよび釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検します。道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きな凹みや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

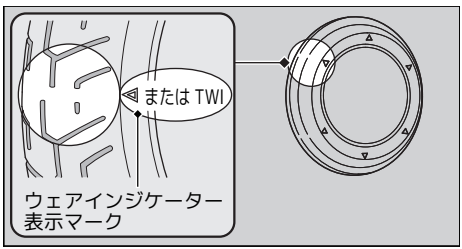
異状な摩耗の点検



タイヤの接地面が異状に摩耗していないかを点検します。

溝の深さの点検

ウェアインジケーター（スリップサイン）により溝の深さを確認します。サインが現れたときは、直ちに交換してください。また、安全走行のため、トレッド中央部の溝の深さが最小残溝量になったときは交換してください。



⚠ 警告

過度にすり減ったタイヤの使用や、不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤは交換してください。

次ページに続く

タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用してください。指定以外のタイヤは、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがありますので使用しないでください。

タイヤの交換は、Honda 販売店にご相談ください。指定タイヤ、空気圧、最小残溝量（溝の深さ）はスペックページをご確認ください。➔P. 334

- ホイールバランス調整のためにバランスウェイトを貼り付けるときは、Honda 純正部品、又は同等品のバランスウェイトを使用してください。

⚠ 警告

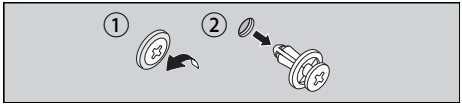
指定以外のタイヤを取り付けると、操縦性や走行安定性に悪影響を与えることがあります。また、そのことが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

タイヤ交換時には、必ず取扱説明書に記載された指定タイヤを取り付けてください。

クリップ

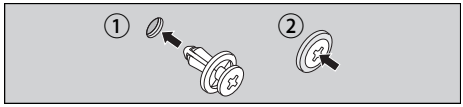
取り外し

1. ドライバーでピンが飛び出すまで反時計回りに軽く回す。
2. クリップを引き抜く。

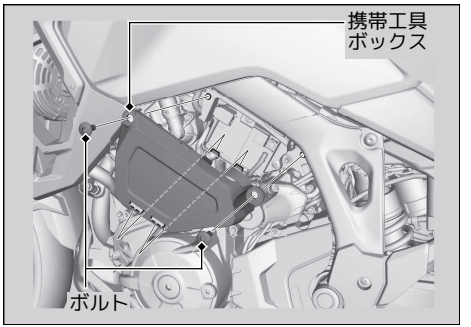


取り付け

1. クリップを穴に差し込む。
2. ピンを穴に押し込む。



携帯工具ボックス



取り外し

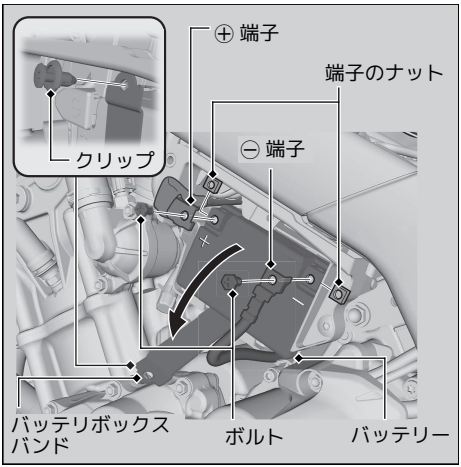
1. リアシートの裏側にある六角レンチを使い、ボルトを取り外す。 P. 239
2. 携帯工具ボックスを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います

バッテリー

取り外し



メインスイッチが〇（Off）になっていることを確認してください。

1. 携帯工具ボックスを取り外す。 P. 258
2. ⊖ 端子のボルトを外し、⊖ コードを外す。
3. ターミナルカバーをめくり、⊕ 端子のボルトを外し、⊕ コードを外す。
4. クリップを取り外す。 P. 257
5. バッテリーボックスバンドを開ける。
6. 端子のナットを落とさないよう、バッテリーをバッテリー ケースから取り出す。

取り付け

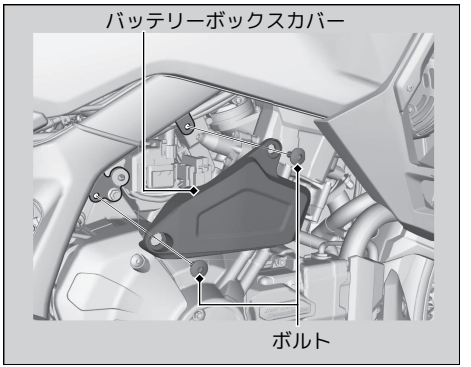
取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

バッテリーコードは、必ず先に⊕側より取り付けてください。また、ターミナル部にゆるみが生じないように、確実にボルトを締め付けてください。

バッテリーコードを再び取り付けたときに、時計の表示がずれている場合は合わせ直してください。 P. 88

バッテリーの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。 P. 249

バッテリーボックスカバー



取り外し

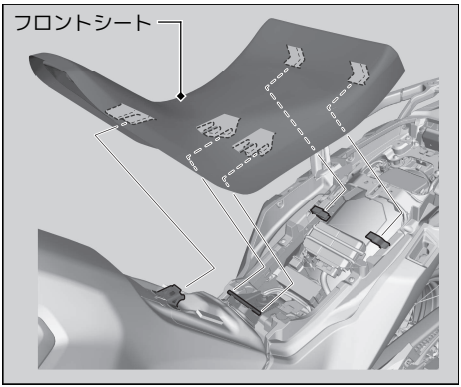
1. リアシートの裏側にある六角レンチを 使い、ボルトを取り外す。P. 239
2. バッテリーボックスカバーを取り外す。

取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

フロントシート

取り外し

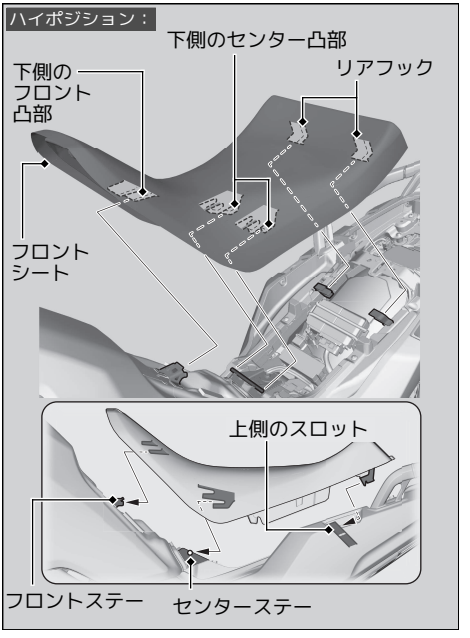


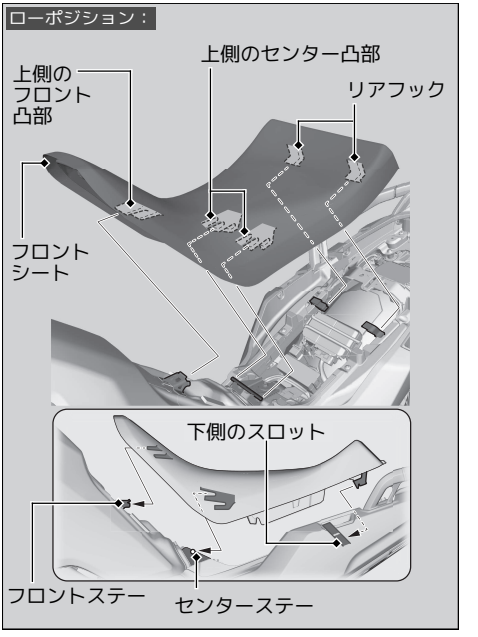
1. リアシートを取り外す。 P. 264
2. フロントシートを後方へずらしながら持ち上げて取り外す。

取り付け

1. ハイポジションを選択するとき：
   フロントシートの下側のフロント凸部および下側のセンター凸部を燃料タンクのフロントステーおよびセンターステーに差し込み、リアフックを上側のスロットに差し込む。
   ローポジションを選択するとき：
   フロントシートの上側のフロント凸部および上側のセンター凸部を燃料タンクのフロントステーおよびセンターステーに差し込み、リアフックを下側のスロットに差し込む。

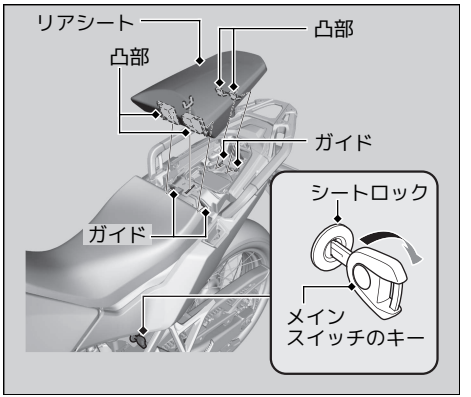
次ページに続く


ハイポジション：
下側のセンター凸部
下側の
フロント
凸部
リアフック
フロント
シート
上側のスロット
フロントステー
センターステー


ローポジション：
上側のセンター凸部
上側の
フロント
凸部
リアフック
フロント
シート
下側のスロット
フロントステー
センターステー

2. フロントシート前方へずらしながら押し下げて取り付ける。
   ▶ シートを軽く持ち上げて、しっかりと取り付けられていることを確認してください。
3. リアシートを取り付ける。 P. 264

リアシート



取り外し

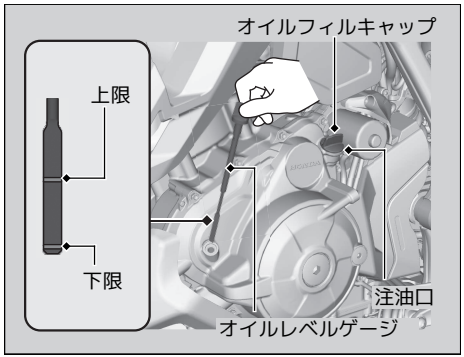
1. メインスイッチのキーをシートロックに差し込む。
2. メインスイッチのキーを右に回してシートロックを解除し、リアシートを前方へ押しながら持ち上げて取り外す。

取り付け

1. ガイドにリアシートの凸部を差し込む。
2. メインスイッチのキーをシートロックに差し込んだ状態で、リアシートの前方を押し下げ、ロックする。
   ▶ メインスイッチのキーをシート下に置き忘れた状態でシートを取り付けると、自動的にロックされ、キーを取り出せなくなりますのでご注意ください。
3. メインスイッチのキーを抜く。

オイルの量の点検

1. エンジンが冷えている場合は、3 ～ 5 分ほどアイドリングさせる。
2. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
3. メインスイッチを○（Off）にしてエンジンを止め、2 ～ 3 分間待つ。
4. オイルレベルゲージを外す。
5. 布等でオイルレベルゲージについたオイルを拭く。
6. 車を倒さないようにまっすぐに起こす。
7. オイルレベルゲージをねじ込まずに差し込む。
8. オイルがオイルレベルゲージの上限と下限の間にあることを確認する。
9. オイルレベルゲージを確実に取り付ける。



オイルの補給

エンジンオイルが不足している、またはオイルレベルが下限に近いときは、推奨エンジンオイルを上限まで補給してください。 ➔P. 251, ➔P. 334

1. エンジンオイルの点検後、オイルフィルキャップを取り外し、オイルレベルゲージで確認（➔P. 265）しながら、オイルを注入口より補給する。
   - ▶ 上限を超えて補給しないでください。
   - ▶ ゴミが入らないようにしてください。
   - ▶ オイルをこぼしたときは完全に拭き取ってください。
2. オイルフィルキャップとオイルレベルゲージを確実に取り付ける。

アドバイス

オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。また銘柄やグレードの異なるオイルを混用しないでください。

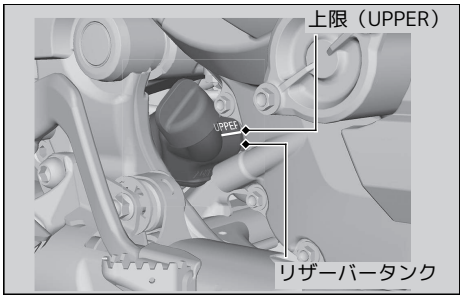
推奨エンジンオイルやオイルの選びかたについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。 ➔P. 251

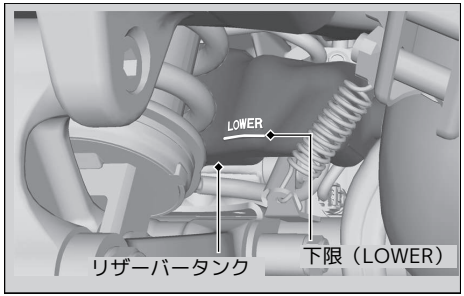
オイル漏れの点検

エンジンなどから、オイルが漏れていないことを確認します。

冷却水の量の点検

1. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
2. 車を倒さないようにまっすぐに起こす。
3. 冷却水がリザーバータンクの上限（UPPER）と下限（LOWER）の間にあることを確認する。



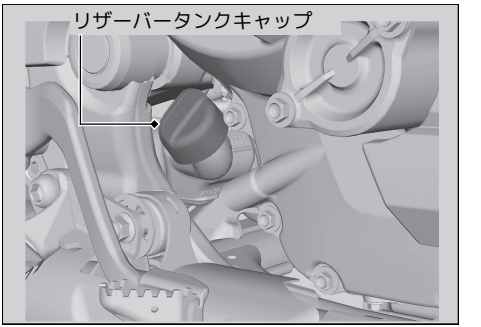


冷却水の減り具合が著しいとき、またはリザーバータンクに冷却水がない場合は水漏れが考えられます。Honda 販売店にご相談ください。

冷却水の補給

冷却水の補給はリザーバータンクキャップから行い、ラジエーターキャップは外さないでください。

1. リザーバータンクキャップを取り外す。
2. 平坦地で車体を垂直にし、冷却水（P. 252）のレベルを確認（P. 267）しながら補給する。
   - ▶ 上限（UPPER）を超えて補給しないでください。
   - ▶ ゴミが入らないようにしてください。
3. リザーバータンクキャップを確実に取り付ける。



⚠ 警告

エンジンが熱いときにラジエーターキャップを外すと冷却水が噴き出し、重いヤケドを負います。

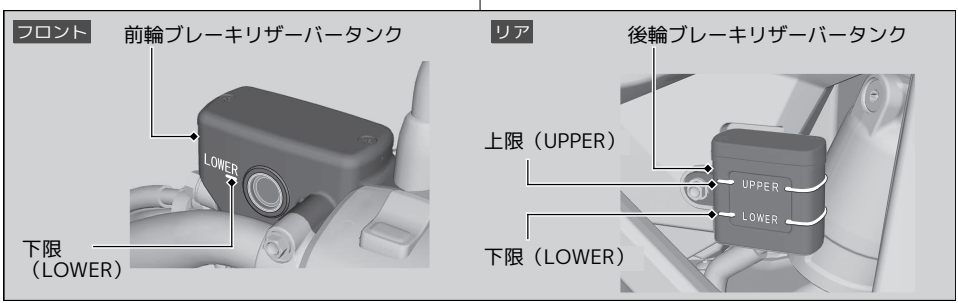
ラジエーターキャップを外す前には、必ずエンジン、ラジエーターが冷えていることを確認してください。

ブレーキ液の点検

1. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
2. フロント リザーバータンク上面を水平にし、液面が点検窓の下限（LOWER）以上にあることを確認する。
3. リア リザーバータンク上面を水平にし、液面が上限（UPPER）と下限（LOWER）の間にあることを確認する。

▶ 液面が下限（LOWER）以下の場合は、ブレーキパッドの摩耗の点検を行ってください。

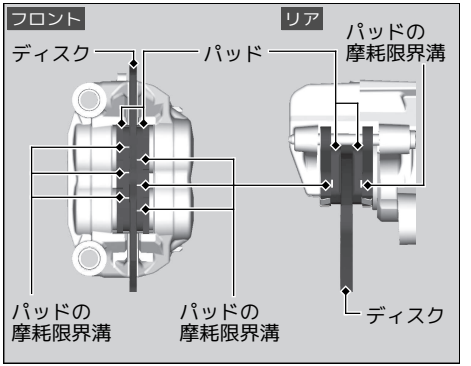
パッドが摩耗していない場合、あるいは液漏れやホースに損傷があるときは Honda 販売店にご相談ください。



ブレーキパッドの摩耗の点検

フロント
パッドの摩耗限界溝が無くなったら、パッドの摩耗限界です。

リア
パッドの摩耗限界溝がブレーキディスクの側面に達したら、パッドの摩耗限界です。

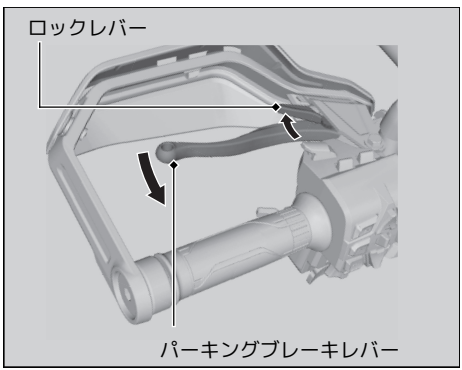


摩耗限界に達したら左右同時にパッドを交換してください。
ブレーキパッドの交換は、Honda 販売店にご相談ください。

1. フロント ブレーキキャリパーの前側からのぞいて点検します。
   ▶ 点検は片側だけでなく、左右のキャリパーで行ってください。
2. リア 車の右後ろ側からブレーキキャリパーをのぞいて点検します。

パーキングブレーキの点検（Honda 指定１年点検整備項目）

Dual Clutch Transmission タイプ



1. 足場のしっかりとした平坦地でエンジンを停止させる。
2. パーキングブレーキレバーを引いてから車を押し、パーキングブレーキの効き具合を点検する。

パーキングブレーキの効きが弱い時は Honda 販売店にご相談ください。

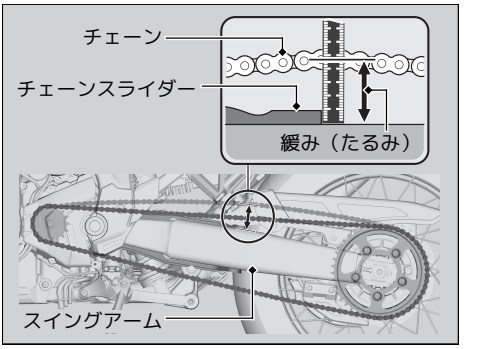
緩み（たるみ）の点検

チェーンの緩み（たるみ）が適正かどうか、滑らかに回転するか点検します。緩み（たるみ）が規定の範囲を超えている場合、回転が滑らかでないときは Honda 販売店にご相談ください。

1. トランスミッションをニュートラルに入れて、エンジンを停止する。
2. 足場のしっかりとした平坦地にサイドスタンドを立てる。
3. チェーンの上側を引き上げ、チェーンスライダー後端部にてスイングアームからチェーンまでの距離を計測し、規定の範囲内にあることを確認する。

ドライブチェーンの緩み（たるみ）：
48 - 53 mm

▶ 緩みが 60 mm 以上の場合、絶対に走行しないでください。



4. 車体を垂直にし、車体を前後に動かしてチェーンが滑らかに回転することを確認する。
   ▶ チェーンの回転が滑らかでない場合や、異音が出る場合は清掃と給油を行ってください。 P. 253

クラッチの点検

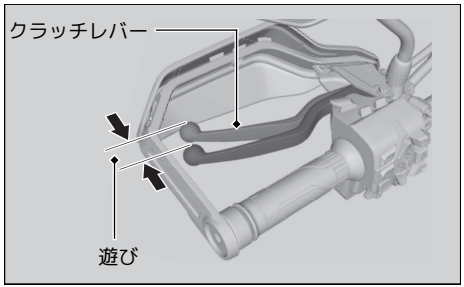
マニュアルトランスミッションタイプ

スムーズに動くかどうか、ハンドルを左右にきっても作動が重くないか、クラッチレバーの遊びが適正か点検します。

遊びが規定の範囲を超えている場合は調整してください。

異状を感じた場合やクラッチケーブル外表部に損傷があるときは Honda 販売店にご相談ください。

クラッチレバーの遊び：
10 - 20 mm

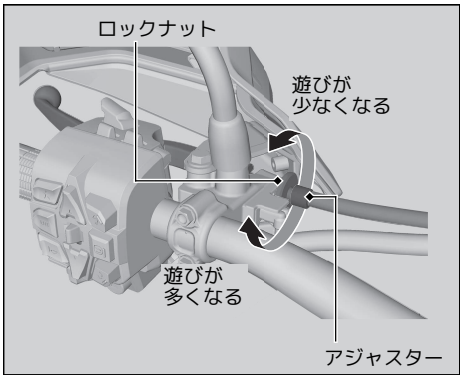


クラッチの調整

マニュアルトランスミッションタイプ

調整はクラッチレバー側から行います。

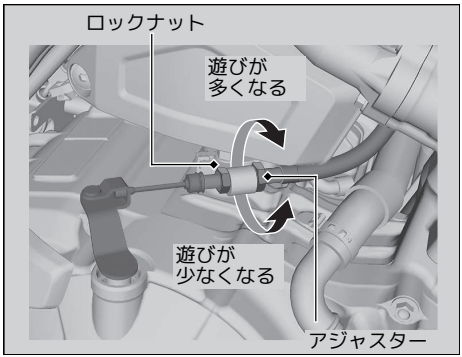
クラッチレバー側の調整（微調整）



1. ロックナットを緩め、遊びが規定の範囲になるまでアジャスターで調整する。
2. ロックナットを締め付け、クラッチレバーの遊びを確認する。

調整しきれない場合、クラッチ側で調整します。

クラッチ側の調整（主調整）



1. クラッチレバー側のアジャスターで遊びを最大にする。P. 274
2. ロックナットを緩める。
3. 遊びが規定の範囲になるまでアジャスターで調整する。
4. ロックナットを締め付ける。

調整後は、クラッチレバーの遊びを確認してください。
エンジンをかけ、チェンジ操作がスムーズであるか、エンストまたは飛び出し等がないことを確認してください。

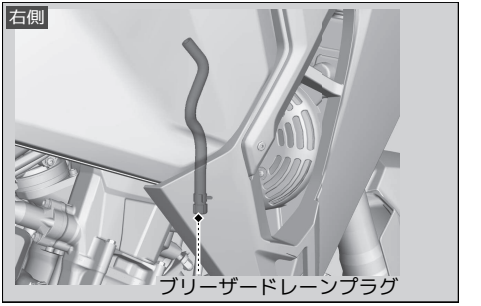
規定の数値に調整できない場合や、クラッチが正しく動作しないときは Honda 販売店にご相談ください。

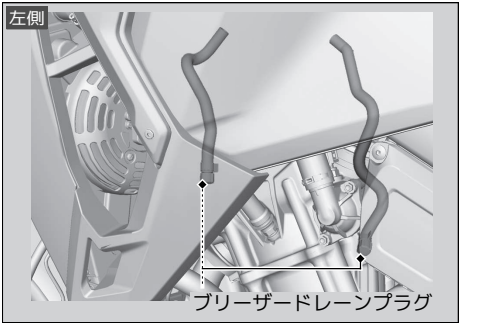
ブリーザードレーンの清掃（Honda 指定 1 年点検整備項目）

エンジンの性能を維持するためには、定期的なブリーザードレーンの清掃が必要です。
エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラーやエキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドにご注意ください。

清掃のしかた

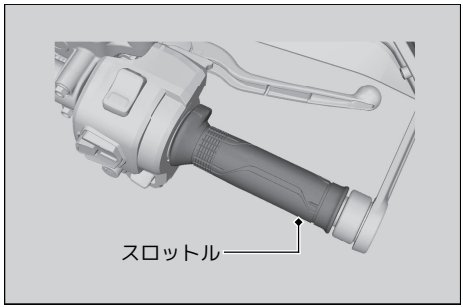
1. ブリーザードレーンプラグの下に受け皿などを用意する。
2. ブリーザードレーンプラグを外し、ブリーザードレーン内の堆積物を取り除く。
3. ブリーザードレーンプラグを確実に取り付ける。





スロットルの点検

メインスイッチを○（Off）にした状態でスロットルを作動させ、スムーズに動くかどうか点検します。異状を感じた場合は Honda 販売店にご相談ください。

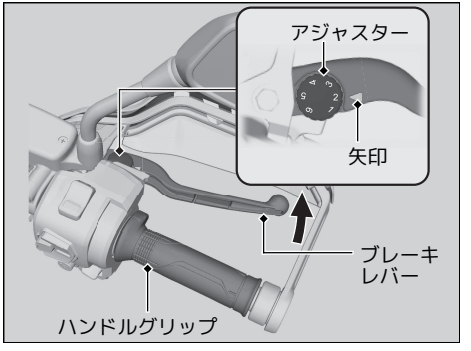


ブレーキレバーの距離調整

ブレーキレバーに、レバーとハンドルグリップの間隔を調整できるアジャスターが装備されています。

調整方法

レバーを前方に押しながらアジャスターを回し、アジャスターの数字と矢印が合う位置で段階的に調整します。



調整後は、走行する前にブレーキが正常に作動することを確認してください。

アドバイス

調整範囲を超えてアジャスターを回さないでください。

フロントサスペンションの調整

スプリングの強さ

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、スプリングの強さを調整できます。
スプリングの強さは、アジャスターを右（時計回り）に回すと強くなり、左（反時計回り）に回すと弱くなります。
スプリングのアジャスターは、15 回転回すことができます 。

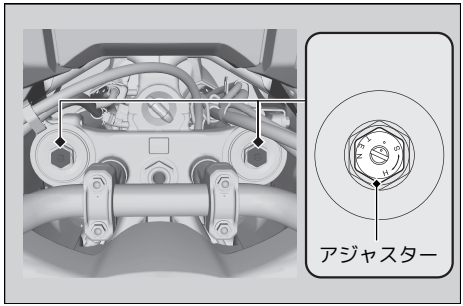
▶ フロントサスペンションスプリング調整用ボックスレンチは携帯工具の中に入っています。P. 239

CRF1100L Africa Twin〈s〉

標準は、アジャスターを左回りに止まるまで回したあと、右回りに 3 回転戻した位置です。

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

標準は、アジャスターを左回りに止まるまで回したあと、右回りに 6 回転戻した位置です。



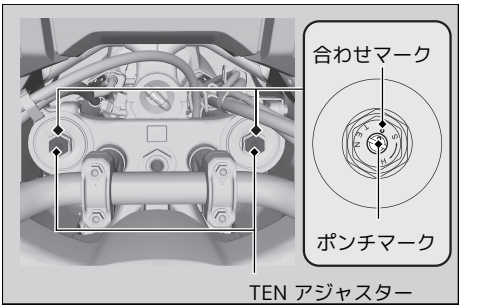
アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。
左右の強さは必ず同じにしてください。

次ページに続く

伸び側減衰力

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、伸び側減衰力を調整できます。
減衰力の強さは、TEN アジャスターを H 側（右回り）に回すと強くなり、S 側（左回り）に回すと弱くなります。
伸び側減衰力の TEN アジャスターは、約 3 回転回すことができます 。
標準は、TEN アジャスターを右回りに止まるまで回したあと、左回りに 2 3/4 回転戻し、ポンチマークが合わせマークに合う位置です。

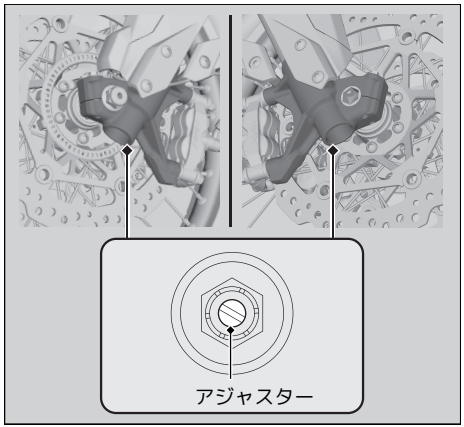


アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。
左右の強さは必ず同じにしてください。

縮み側減衰力

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、縮み側減衰力を調整できます。
減衰力の強さは、アジャスターを右（時計回り）に回すと強くなり、左（反時計回り）に回すと弱くなります。
縮み側減衰力のアジャスターは、約 12 クリック回すことができます 。
標準は、アジャスターを右回りに軽く止まるまで回したあと、左回りに 9 クリック戻した位置です。



アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。
左右の強さは必ず同じにしてください。

次ページに続く

サスペンションダンピング

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

- ライディングモードが変更されると、ライディングモードに対応するフロントサスペンションダンピング［Overall］および［Front］が選択されます。➔P. 143
- ［USER 1 MODE］および［USER 2 MODE］はサスペンションダンピング［Overall］および［Front］の設定値を変更できます。➔P. 74

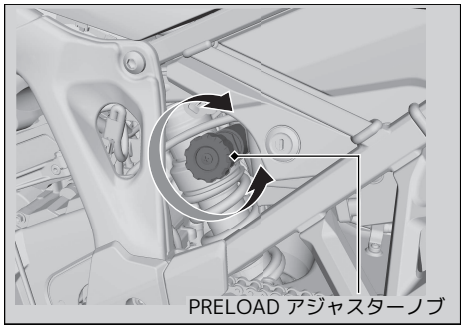
- **設定範囲：**
  ［Overall］：［H］［Hard］ハード／［M］［Medium］ミディアム／［S］［Soft］ソフト／［O］［Off road］オフロード
  ［Front］：［-］／［Medium］／［+］
- **デフォルト設定：**
  ［Overall］
  ［USER 1 MODE］：［M］［Medium］ミディアム
  ［USER 2 MODE］：［S］ソフト
  ［Front］：［Medium］

リアサスペンションの調整

スプリングの強さ

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、スプリングの強さを調整できます。
スプリングの強さは、PRELOAD アジャスターノブを HIGH 側（右回り）に回すと強くなり、LOW 側（左回り）に回すと弱くなります。
PRELOAD アジャスターノブを左回りに軽く止まるまで回したあと、右回りに戻し、最初にクリックする位置が 0 段（最弱位置）です。
スプリングの PRELOAD アジャスターノブは、約 35 クリック回すことができます 。
標準は、PRELOAD アジャスターノブを 0 段から右回りに 7 クリック戻した位置です。



アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。

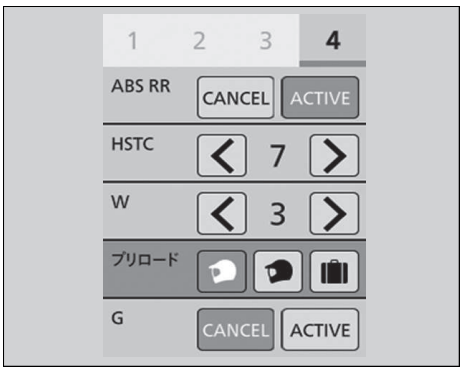
次ページに続く

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

走行状況に応じて、リアスプリングの強さを予めプログラムされた 4 つの設定から選択し、電子的に変更することができます。

リアスプリングの調整は、停車中および、加減速やホイールスピン、ウイリーなどを伴わない、一定速度で安定した走行時に動作します。
荒れた路面を走行する際や、指定タイヤに対し極端に径の違うタイヤを装着した場合は、安定した走行時であっても動作しないことがあります。

1. ゴールドイメージディスプレイを選択する。 P.79
2. Page 4 を選択する。 P.42
3. ENT スイッチを押す。
4. [プリロード] を選択する。
5. ◀ ▶ セレクトレフト／ライトスイッチの ◀ または ▶ を押して希望の設定を選択する。



6. Back スイッチを押す。

タッチパネルを使用しても上記の操作ができます。

リアスプリングの強さを以下の 4 つから選択します。

アイコン	走行状況
	ライダーのみ（最弱設定）
	ライダーおよび荷物積載
	二名乗車
	二名乗車および荷物積載（最強設定）

デフォルト設定：ライダーのみ

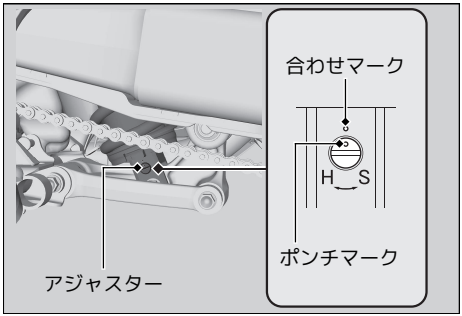
- [USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] はリアサスペンションスプリングの強さ [プリロード] の設定値を変更できます。 ➔P. 74

次ページに続く

伸び側減衰力

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、伸び側減衰力を調整できます。
減衰力の強さは、アジャスターを H 側（右回り）に回すと強くなり、S 側（左回り）に回すと弱くなります。
標準は、アジャスターを右回りに軽く止まるまで回したあと、左回りに 8 クリック戻し、ポンチマークが合わせマークに合う位置です。



アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。

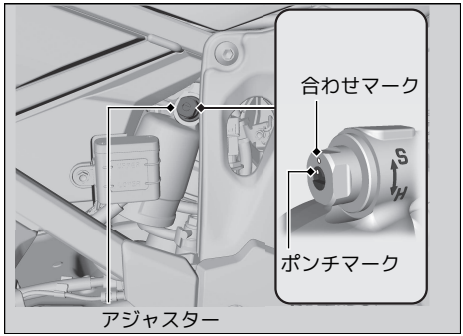
縮み側減衰力

CRF1100L Africa Twin〈s〉
CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

体重や路面の状態などに応じ、縮み側減衰力を調整できます。

減衰力の強さは、アジャスターを H 側（右回り）に回すと強くなり、S 側（左回り）に回すと弱くなります。

標準は、アジャスターを右回りに軽く止まるまで回したあと、左回りに 12 クリック戻し、ポンチマークが合わせマークに合う位置です。



アドバイス
アジャスターは、無理に回さないでください。

次ページに続く

サスペンションダンピング

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

- ライディングモードが変更されると、ライディングモードに対応するリアサスペンションダンピング [Overall] および [Rear] が選択されます。➔P. 143
- [USER 1 MODE] および [USER 2 MODE] はサスペンションダンピング [Overall] および [Rear] の設定値を変更できます。➔P. 74

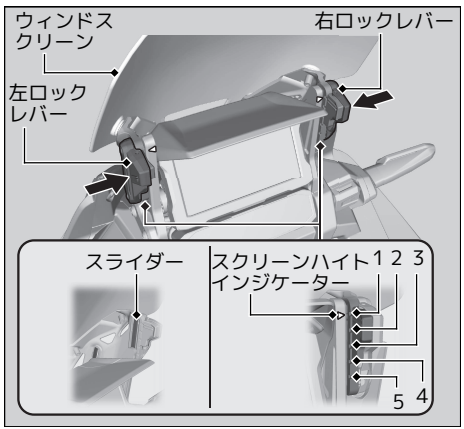
- **設定範囲：**
  [Overall]：[H] [Hard] ハード／[M] [Medium] ミディアム／[S] [Soft] ソフト／[O] [Off road] オフロード
  [Rear]：[-]／[Medium]／[+]
- **デフォルト設定：**
  [Overall]
  [USER 1 MODE]：[M] [Medium] ミディアム
  [USER 2 MODE]：[S] ソフト
  [Rear]：[Medium]

ウインドスクリーンの高さの調整

お好みに応じてウィンドスクリーンの高さを 5 段階に変更することが可能です。
スクリーンハイトインジケーターはウィンドスクリーンの高さを示しています。
標準位置は 1 です。

調整方法

1. 左右のロックレバーを押しウィンドスクリーンのロックを解除する。
2. 左右のロックレバーを押し続け、左右のロックレバーを上方向または下方向へ動かしウィンドスクリーンを上げ下げする。
3. お好みの位置で左右のロックレバーを放しスクリーンハイトインジケーターで高さを確認する。
   ▶ 左右のロックレバーを上下に動かし、ウィンドスクリーンがロックされていることを確認してください。



スクリーンがスムーズに動かない場合はスポンジか柔らかいタオルを使ってスライダーを清掃する。

▶ スライダーに給油をしないでください。

スライダーを清掃してもスクリーンがスムーズに動かない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

こんなときは

エンジンが始動しない（HISS 表示灯が消灯しない） ..... P. 292
オーバーヒート（水温警告灯が点灯） ..... P. 293
警告灯が点灯／点滅 ..... P. 294
油圧警告灯 ..... P. 294
PGM-FI 警告灯 ..... P. 294
ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯 ..... P. 295
トルクコントロール警告灯 ..... P. 296
走行中にギアポジション表示の“-” 表示が点滅 ..... P. 297
その他の故障表示 ..... P. 298
燃料計の故障表示 ..... P. 298
水温計の故障表示 ..... P. 298
ハンドルグリップヒーターの故障表示 ..... P. 299
オーディオシステムのトラブル ..... P. 300
電装部品のトラブル ..... P. 312
ヒューズ切れ ..... P. 312

スターターモーターは作動するがエンジンが始動しないとき

次の点を確認してください。

- 正しい手順でエンジンをかけているか ➡P. 211
- 燃料タンクにガソリンはあるか
- PGM-FI 警告灯が点灯していないか
  - ▶ 点灯している場合は、直ちに Honda 販売店にご相談ください。
- HISS 表示灯が点灯したままになっていないか
  - ▶ メインスイッチを◯（Off）にしてキーを抜き、再度キーを差し込み、メインスイッチを|（On） にしてください。それでも消灯しないときは、次の点を確認してください。
    他の HISS のキー（予備のキーを含む）が、メインスイッチの近くにあると通信不良の原因となります。
    キーに金属製のシールなどを貼ると通信不良の原因となります。
    確認しても消灯しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

スターターモーターが作動せず始動できないとき

次の点を確認してください。

- 正しい手順でエンジンをかけているか ➡P. 211
- ヒューズが切れていないか ➡P. 250
- バッテリーターミナル部に緩みや腐食がないか ➡P. 259

これらに該当しない場合や異常がある場合は、Honda 販売店にご相談ください。

オーバーヒート（水温警告灯が点灯）

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温警告灯が点灯し、水温計のマークが赤に変更され、1 つ（H）だけ点滅している
- 走行時の加速が急に悪くなる

このようなときは直ちに安全な場所に車を停めて次の処置・確認を行ってください。

アドバイス

オーバーヒートの状態で走行を続けると、エンジン故障の原因となります。

長時間のアイドリングにより、水温警告灯が点灯し、水温計のマークが赤に変更され、1 つ（H）だけ点滅する場合があります。

オーバーヒートの処置

1. メインスイッチを◯（Off）にしてエンジンを止め、再度メインスイッチを▌（On）にする。
2. ラジエーターの冷却ファンが作動するか作動音で確認し、メインスイッチを◯（Off）にする。

   冷却ファンが作動しない場合

   故障が考えられますので、エンジンをかけずHonda 販売店にご相談ください。

   冷却ファンが作動している場合

   メインスイッチが◯（Off）の状態で、エンジンが冷えるのを待ちます。
3. エンジンが冷えてから、リザーバータンクの冷却水を点検し、冷却水が不足していたら補給する。 ➡P. 267, ➡P. 268
4. ラジエーターホースなどを点検し、水漏れがないか確認する。

   水漏れがある場合

   エンジンをかけず、Honda 販売店にご相談ください。
5. 水温警告灯を確認しながら走行する。

   ▶ 異常がなければ走行可能ですが、異常が再発しない場合でも、なるべく早くHonda 販売店で点検を受けてください。

油圧警告灯

エンジンオイルの油圧が低下すると点灯します。油圧警告灯が点灯したら、速やかにエンジンを停止し、次の点を確認してください。

アドバイス
油圧が低下した状態で走行を続けると、エンジンが故障するおそれがあります。

1. オイルレベルを点検し、必要に応じて補給する。P. 265
2. エンジンを始動する。
   - ▶ 油圧警告灯が消えたら、走行できます。
   - ▶ 消灯しない場合は、エンジンを止めてHonda 販売店にご相談ください。
   - ▶ 急な加速をすると油圧警告灯が瞬間的に点灯する場合があります。（特にオイルレベルが下限、下限付近の場合）
   - ▶ オイルが減っていた場合、オイル漏れや故障のおそれがありますので、Honda 販売店で点検を受けてください。

PGM-FI 警告灯

点灯/点滅の理由

- エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。
- エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

点灯したときは

高速走行をさけ、直ちに Honda 販売店で点検を受けてください。

アドバイス
PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

点滅したときは

枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

アドバイス
エンジン再始動後、PGM-FI 警告灯が再び点滅するときは、50km/h 以下の速度で最寄りの Honda 販売店まで走行し点検を受けてください。

ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯

警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、Honda 販売店にご相談ください。

- 運転中に点灯または点滅したとき
- メインスイッチを▌（On） にしても点灯しないとき
- 10 km/h 以上で走行しても消灯しないとき

警告灯が点灯または点滅した場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。（ABSとしての作動はしません）

ABS 警告灯が消灯しているときに、後輪が持ち上がった状態で後輪を空転させると、警告灯が点滅する場合があります。この場合はメインスイッチを〇（Off）にし、再度メインスイッチを▌（On） にします。警告灯が点灯し、速度が約 30 km/h に達して消灯すれば正常です。

トルクコントロール警告灯

警告灯が以下のような状態になった場合、トルクコントロールの異常が考えられますので、Honda 販売店にご相談ください。

- 走行中に点灯し続けたとき
- メインスイッチを|（On）にしても点灯しないとき
- 5 km/h 以上で走行しても消灯しないとき

警告灯が点灯した場合でも走行は可能です。（トルクコントロールは作動しません）

▶ トルクコントロール作動中に警告灯が点灯したときは、一度スロットルグリップを完全に閉じることで、通常の状態に戻ります。

トルクコントロール警告灯が消灯した状態で、メインスタンドを立てるなどして後輪を空転させた場合、警告灯が点灯する場合があります。この場合はメインスイッチを○（Off）にし、再度メインスイッチを|（On）にします。警告灯が点灯し、速度が約 5 km/h に達して消灯すれば正常です。

走行中にギアポジション表示の“-” 表示が点滅

Dual Clutch Transmission タイプ

走行中にギアポジション表示の“-”表示が点滅したときはデュアルクラッチトランスミッションの異状が考えられます。

直ちに安全な場所に車を停めて Honda 販売店にご相談ください。

次の処置を試すことで、ご自身で Honda 販売店まで走行できる場合があります。

1. メインスイッチを◯（Off） にする。
2. 再度メインスイッチを▌（On） にして、エンジンを始動する。

エンジンが始動できない場合

メインスイッチを◯（Off） にして、ギアの噛みこみを外すためにお車を前後に少し動かしてください。再度メインスイッチを▌（On） にして、エンジンを始動します。

それでもエンジンが始動できない場合

ブレーキレバーを握るか、ブレーキペダルを踏み込みながらエンジンを始動します。

N から D への切り換えができた場合

ギアポジション表示に表示されたギアで走行できます。

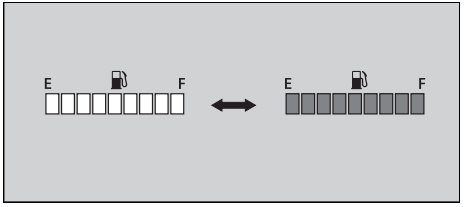
安全な速度で走行してください。

N から D への切り換えができなく、ギアポジション表示の“-” 表示が点滅している場合

故障が考えられますので、エンジンを始動せず、直ちに Honda 販売店にご相談ください。

燃料計の故障表示

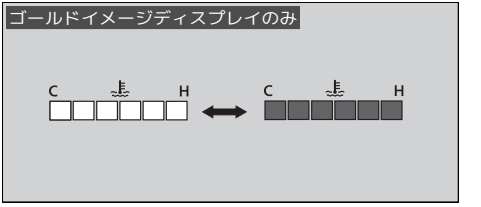
燃料計のマークが下図のように点灯、消灯をくりかえしたときは Honda 販売店にご相談ください。



水温計の故障表示

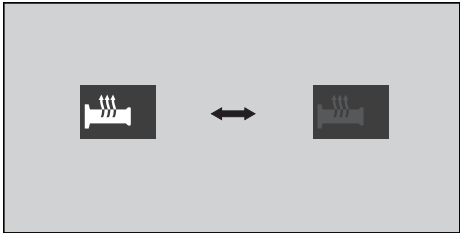
水温計のマークが下図のように点灯、消灯をくりかえしたときは Honda 販売店にご相談ください。

ゴールドイメージディスプレイのみ



ハンドルグリップヒーターの故障表示

ハンドルグリップヒーターのマークが下図のように点灯、消灯をくりかえしたときは Honda 販売店にご相談ください。



オーディオシステムのトラブル

事象	原因、対処
Bluetooth 機器をペアリングできない	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、本システムでご利用になれない場合や、操作できる機能に制限がある場合があります。
	車両側とお使いの Bluetooth 機器がペアリング可能な状態になっていることを確認してください。➡P. 155 ➡P. 160
	他の Bluetooth 対応機器が同時にペアリング操作を行っている場合、正しく接続されないことがあります。ペアリング操作をしている他の機器が存在しないことなど、周囲の状況を確認し再度ペアリング操作を行ってください。周囲に他の Bluetooth 機器がある場合、電波の干渉などによりペアリングできないことがあります。
	Bluetooth 機器を接続する際、周囲にペアリング準備状態になっている他の Bluetooth 機器がないことを確認してください。周囲に他の Bluetooth 機器がある場合、電波の干渉などによりペアリングできないことがあります。
	ペアリングに繰り返し失敗する場合は登録済みの機器を一度削除し、再度ペアリングしてみてください。➡P. 155 ➡P. 160

事象	原因、対処
Bluetooth 機器を接続できない	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては接続、再生までの時間を要する場合があります。
	エンジン始動時に一時的に接続が解除されることがありますが故障ではありません。エンジン始動後に Bluetooth 機器との再接続を行います。
	お使いの Bluetooth 機器に付属している取扱説明書に従って、Bluetooth 機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、自動的に接続されない場合があります。お使いの Bluetooth 機器に付属している取扱説明書に従って接続操作を行ってください。
	同時に接続できる Bluetooth 機器は Bluetooth 機器 1 台、Bluetooth ヘッドセット 2 台です。
	上記の点検を行っても症状が改善されない場合は、登録済みの機器を一度削除し、再度ペアリングしてみてください。 ➔P. 155 ➔P. 160

次ページに続く

事象	原因、対処
Bluetooth 機器を接続できない	Apple CarPlay 起動中は Bluetooth 接続ができません。 Apple CarPlay を終了し、再度ペアリングを行ってください。➡P. 155 ➡P. 160
	Apple CarPlay 起動中は、Bluetooth 機能は無効になります。
接続されているが再生されない	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、本システムでご利用になれない場合や、再生されない場合があります。推奨仕様をご確認ください。➡P. 154
	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、自動的に再生されない場合があります。お使いの Bluetooth 機器に付属している取扱説明書に従って再生操作を行ってください。
	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、機器への電話等の着信後、正常に音楽ファイルの再生がされない場合があります。再生が再開されない場合は、お使いの Bluetooth 機器が再生可能な状態になっているか確認してください。

事象	原因、対処
メインスイッチ▌（On）後やオーディオモード切り換え後、再生までに時間がかかる	メインスイッチを▌（On）にした後や、オーディオ機器の接続、再生までに時間を要する場合があります。また、再生準備中はオーディオを操作できない場合があります。
音が途切れる ノイズが混ざる	周囲に他の Bluetooth 機器や通信機器などの電磁波を発生する機器がある場合、通信に影響を与えることがあります。
	Bluetooth の特性上、まれに動作が不安定になる場合があります。動作が不安定な状態が続く場合、 Bluetooth 機能を一度 OFF にし再度 ON にするか ➡P. 169、もしくはお使いの Bluetooth 機器の電 源を入れ直してください。
	Bluetooth 機器の収納場所により、オーディオシステムとの通信に影響を与えることがあります。音が途切れたり、ノイズが混ざる場合は、機器の収納場所を変えてください。衣服のポケットなどに機器があり、運転者と同乗者の体の間に挟まれている場合などは通信に影響を与えることがあります。Bluetooth アンテナの場所については、「オーディオシステム各部の名称」を参照してください。➡P. 147 また、天候や周辺の建物、路面状況などにより、通信に影響を与えることがあります。

次ページに続く

事象	原因、対処
音が途切れる ノイズが混ざる	Bluetooth 機器の種類、使用しているアプリケーションソフトウェアによっては、機器への電話等の着信後、正常に音楽ファイルの再生がされない場合があります。Bluetooth 機能を一度 OFF にし再度 ON にしてください。それでも音が途切れたり、ノイズが混ざる場合は、お使いの Bluetooth 機器の状態を確認してください。
	症状が改善されない場合は、登録済みの機器を一度削除し、再度ペアリングしてみてください。 ➔P. 163
	推奨仕様をご確認ください。➔P. 154
Bluetooth ヘッドセットからの音量が小さい／大きい	各オーディオモードで音量を調整してください。➔P. 91
	オーディオ機器の音量設定を確認してください。
	接続した Bluetooth ヘッドセットの音量を調整してください。
表示されない 表示が正確ではない	オーディオ機器の種類、音楽ファイルによっては、表示されない、もしくは正確に表示されない場合があります。対応しているタグ形式をご確認ください。➔P. 171
	曲名、アーティスト名など音楽ファイルの情報が表示対応外のタグ形式の場合、“☒”が表示されるか、情報が表示されません。

事象	原因、対処
Bluetooth ハンズフリー通話が利用できない	接続された携帯電話がサポートされていない機器である可能性があります。 サポートされている Bluetooth のバージョン／プロファイルを確認してください。➡P. 154
	周囲の状況や電波の状態により Bluetooth 接続が不安定な場合は、ハンズフリー通話機能が利用できない場合があります。
	ハンズフリー通話を行うには、Bluetooth ヘッドセットの接続が必要です。➡P. 160
通話中、音量が小さい／大きい	電話の音量を調整してください。➡P. 91
同乗者のヘッドセットの音が鳴らない	同乗者のヘッドセットは音楽のみを出力します。 ハンズフリー電話または Siri の使用中は音楽の再生が中断されます。
Bluetooth ハンズフリー通話について	接続状況によっては、車両側または電話側の発着信履歴に表示される時刻が異なる場合があります。
	携帯電話の契約状況により使用できる機能が異なる場合があります。
	接続された携帯電話に保存されている電話帳、発着信履歴、音楽ファイルなどの数によっては画面表示が遅くなる場合があります。

次ページに続く

事象	原因、対処
Apple CarPlay が使用できない	接続された iPhone が Apple CarPlay 未対応モデルである可能性があります。Apple CarPlay 対応モデルか確認してください。➡P. 185
	接続された iPhone の iOS バージョンがサポートされていない可能性があります。iPhone を新しいバージョンにアップデートしてください。
	Apple CarPlay を使用するには、Bluetooth ヘッドセットの接続が必要です。Bluetooth ヘッドセットを接続してください。➡P. 160
	周囲の状況や電波の状態によりモバイルネットワーク通信が不安定になると、Apple CarPlay の機能が利用できないことがあります。
	ヘッドセットのバッテリー切れや通信障害のために Bluetooth 接続が切断された場合、接続が回復するまで Apple CarPlay を使用することはできません。
	Apple CarPlay が起動している状態でメインスイッチを ○（Off）にした場合を除き、画面は自動的に Apple CarPlay に切り替わりません。

事象	原因、対処
Apple CarPlay が使用できない	一部の USB ケーブルでは Apple CarPlay が起動しません。iPhone を接続するには、Apple 認定の USB ケーブルを使用してください。
	Apple CarPlay が起動する際に表示される機器使用確認画面で使用を許可しないと使用できません。Apple CarPlay の設定をリセットし使用を許可してください。➔P. 187
	接続した iPhone の Apple CarPlay 設定が無効になっている可能性があります。iPhone を取り外し、iPhone の Apple CarPlay 設定を有効にします。

事象	原因、対処
Android Auto™ が使用できない	接続された Android™ スマートフォン が Android Auto™ 未対応モデルである可能性があります。Android Auto™ 対応モデルか確認してください。 P. 198
	接続された Android™ スマートフォン の Android™ バージョンがサポートされていない可能性があります。 Android™ スマートフォンを新しいバージョンにアップデートしてください。
	Android Auto™ の全機能を使用するには、Bluetooth ヘッドセットの接続が必要です。Bluetooth ヘッドセットを接続してください。 P. 160
	周囲の状況や電波の状態によりモバイルネットワーク通信が不安定になると、Android Auto™ の機能が利用できないことがあります。
	ヘッドセットのバッテリー切れや通信障害のために Bluetooth 接続が切断された場合、HOME 画面に戻り Bluetooth ヘッドセットの接続状況を確認して下さい。

事象	原因、対処
Android Auto™ が使用できない	一部の USB ケーブルは Android Auto™ と互換性がない場合があります。 USB-IF にて認証された USB 2.0 規格に準拠した USB ケーブルをご使用ください。
	Android Auto™ が起動する際に表示される機器使用確認画面で使用を許可しないと使用できません。Android Auto™ の設定をリセットし使用を許可してください。 ➔P. 201
	接続した Android™ スマートフォンの Android Auto™ 設定が無効になっている可能性があります。Android™ スマートフォンを取り外し、Android™ スマートフォンの Android Auto™ 設定を有効にします。

事象	原因、対処
Apple CarPlay／Android Auto™ が作動しているが、操作できない	走行中、タッチパネルで Apple CarPlay／Android Auto™ を操作することはできません。左ハンドルバーのスイッチで操作するか、安全な場所に停車してから操作してください。
Apple CarPlay／Android Auto™ の一部の機能が利用できない	モバイルネットワーク通信の状況により一部の機能が制限される場合があります。
Apple CarPlay／Android Auto™ 画面が暗すぎる／明るすぎる	マップなどのアプリケーションを使用する際、[設定] の[背景色] 設定で、白 モードまたは黒 モードの切り換えタイミングを設定することができます。また、[明るさ] 設定でディスプレイの明るさを調整できます。 P. 81 P. 82

事象	原因、対処
オーディオシステムが操作できない	走行中は、一部の機能や設定が無効になるか、動作しません。グレーアウトされているメニューは安全な場所に停車してから操作してください。
メインスイッチの ○（Off）、❙（On）を連続して行ったとき	システムの再起動には時間がかかるため、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
高温／過電流保護	システムを保護するために、一部の操作が一時的に制限されることがあります。原因が解決された後、システムは自動的に復帰します。
ソフトウェアップデートについて	ソフトウェアのアップデートを実行した後、この取扱説明書に記載されている記述が、車両のオーディオシステムと一致しない場合があります。

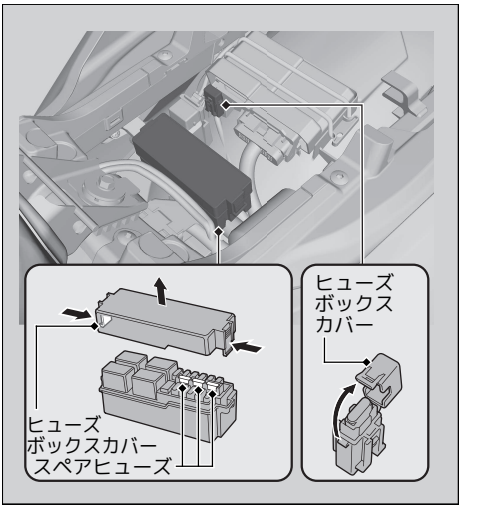
上記の点検を行っても症状が改善されない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

ヒューズの取り扱いについてはメンテナンスの基礎知識をご確認ください。➔P. 250

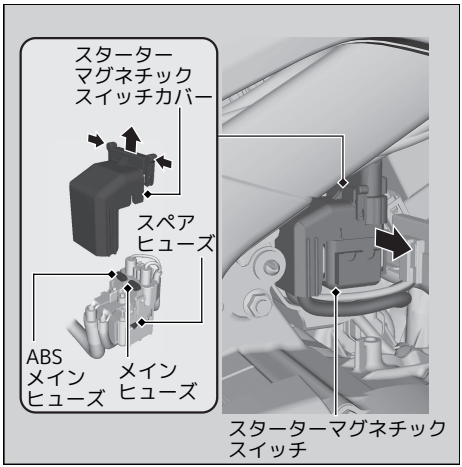
ヒューズ切れ

ヒューズボックス内のヒューズ、ABS FSR ヒューズ

1. フロントシートを取り外す。➔P. 261
2. ヒューズボックスのカバーを開ける。
3. ヒューズが切れている場合はヒューズプーラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
   ▶ ヒューズプーラーはリアシート裏側にあります。➔P. 239
4. ヒューズボックスのカバーを閉じる。
5. 外した部品を逆の手順で取り付ける。



メインヒューズ、ABS メインヒューズ

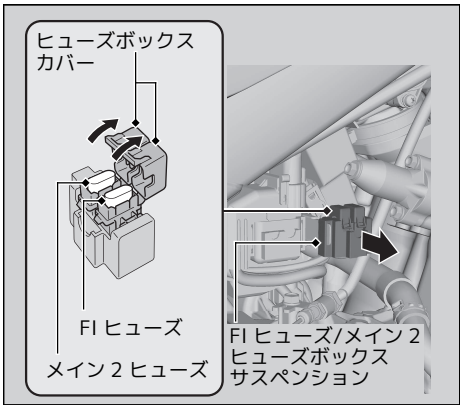


1. バッテリーボックスカバーを取り外す。P. 260
2. スターターマグネチックスイッチを取り外す。
3. スターターマグネチックスイッチカバーを取り外す。
4. メインヒューズ、ABS メインヒューズが切れている場合はヒューズプーラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
   - ▶ スペアヒューズはスターターマグネチックスイッチの横にあります。
   - ▶ ヒューズプーラーはリアシート裏側にあります。P. 239
5. 外した部品を逆の手順で取り付ける。

次ページに続く

FI ヒューズ、メイン 2 ヒューズ

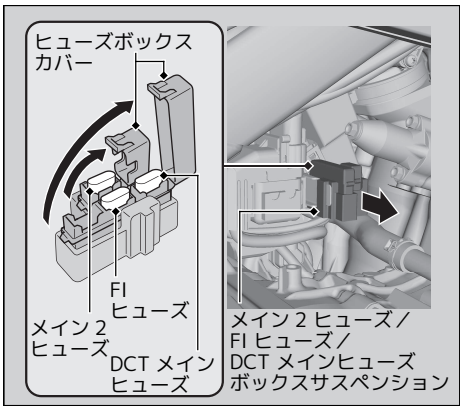
マニュアルトランスミッションタイプ



1. バッテリーボックスカバーを取り外す。
➔P. 260
2. FI ヒューズ/メイン 2 ヒューズボックスサスペンションを引いて取り外す。
3. ヒューズボックスのカバーを開ける。
4. FI ヒューズ、メイン 2 ヒューズが切れている場合はヒューズプーラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
   - ▶ スペア FI ヒューズはフロントシート下のヒューズボックスにあります。➔P. 312
   - ▶ スペアメイン 2 ヒューズはスターターマグネチックスイッチの横にあります。➔P. 313
   - ▶ ヒューズプーラーはリアシート裏側にあります。➔P. 239
5. 外した部品を逆の手順で取り付ける。

FI ヒューズ、メイン 2 ヒューズ、DCT メインヒューズ

Dual Clutch Transmission タイプ



1. バッテリーボックスカバーを取り外す。P. 260
2. メイン 2 ヒューズ／FI ヒューズ／DCT メインヒューズボックスサスペンションを引いて取り外す。
3. ヒューズボックスのカバーを開ける。
4. メイン 2 ヒューズ、FI ヒューズ、DCT メインヒューズが切れている場合はヒューズプーラーを使って、同じ容量のスペアヒューズと交換する。
   - ▶ スペア FI ヒューズはフロントシート下のヒューズボックスにあります。P. 312
   - ▶ スペアメイン 2 ヒューズ、スペア DCT メインヒューズはスターターマグネチックスイッチの横にあります。P. 313
   - ▶ ヒューズプーラーはリアシート裏側にあります。P. 239
5. 外した部品を逆の手順で取り付ける。

アドバイス

ヒューズが切れた際は、早めに Honda 販売店で点検し、スペアのヒューズを補充してください。

インフォメーション

サービス診断記録装置について..... P. 317
キーの取り扱い..... P. 317
装備に関する補足情報 ..... P. 318
車のお手入れ ..... P. 322
保管のしかた ..... P. 325
廃棄するとき ..... P. 326
フレームおよびエンジンナンバー ..... P. 329
触媒装置について..... P. 330
ソフトウェアアップデートについて ..... P. 331

サービス診断記録装置について

この車には、システムを制御するためのコンピューターが搭載されており、次の内容をデータとして記録します。

- 故障診断状態
- 運転状態

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを技術的な診断や Honda の車両の研究開発のために、取得、利用することがあります。 なお、会話等の音声や映像は記録されません。

キーの取り扱い

メインスイッチのキー

メインスイッチのキーには、キータグが付属します。キータグにはシリアルナンバーとバーコードがあります。

メインスイッチのキーには、HISS（イモビライザーシステム）の電子部品が内蔵されています。電子部品の破損またはデータ異常の発生を防ぐため、取り扱いの際には次のことをお守りください。

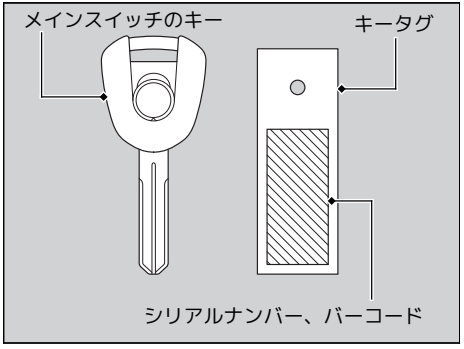
- キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えない
- 長時間、直射日光にさらしたり高温下で放置しない
- 削ったり、穴を開けない
- 強い磁気を帯びた場所に置かない

キー、キータグをすべて紛失した場合、イグニッションユニットの交換が必要になります。予備のキー、キータグは大切に保管してください。

次ページに続く

予備のキーの作成については、専用のキーおよびHISS の再登録が必要になりますので、Honda 販売店にご相談ください。

キーに金属製のキーホルダーを使用するとメインスイッチ周辺に傷がつくおそれがあります。



装備に関する補足情報

メインスイッチ

エンジンをかけずにメインスイッチを|（On）の状態にしておくとバッテリーあがりの原因となります。
走行中はメインスイッチのキーを操作しないでください。

エンジンストップスイッチ

このスイッチは、非常時に、すぐにエンジンを止めるために設けたものです。非常時以外は使用しないでください。走行中に操作すると、エンジン回転が不安定になり、走行に悪影響を与えます。
非常時にこのスイッチでエンジンを止めた場合は、メインスイッチを必ず○（Off）にしてください。|（On）のままにしておくと、バッテリーあがりの原因となります。

オドメーター

オドメーターは、999,999 km を超えると 999,999 km でロックします。

トリップメーター

トリップメーター A／B は、9,999.9 km を超えると 0.0 km に戻ります。

アシストスリッパークラッチシステム

マニュアルトランスミッションタイプ

アシストスリッパークラッチは、走行時のシフトダウンによる急激なエンジンブレーキを緩和することで、リヤタイヤのロックを防ぎ、クラッチ操作を容易にするシステムです。

エンジンオイルは MA 分類のものを使用してください。MA 分類以外のエンジンオイルを使用すると、アシストスリッパークラッチシステムの故障の原因になります。

次ページに続く

HISS

HISS は、登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにしたイモビライザー（盗難防止）システムです。
エンジンストップスイッチが（Run）の状態でメインスイッチを（On）にすると、HISS 表示灯が点灯し、数秒後に消灯することでエンジンの始動が可能であることを示します。消灯しない場合は始動できません。
HISS 表示灯が消灯しないとき P. 292

HISS 表示灯は、メインスイッチを（Off）にしたあと 2 秒間隔の点滅を開始し、24 時間経過すると消灯します。

メーターの設定機能を使用して、HISS 表示灯の点滅／非点滅の切り換えを行うことができます。
メーターの設定 P. 78

書類入れ

登録書類、保険証などは書類入れに入れ、フロントシートの裏側に収納してください。

取扱説明書、メンテナンスノート、ETC 車載器取扱説明書

運転するときは、取扱説明書、メンテナンスノートと ETC 車載器取扱説明書を携帯してください。

イグニッションカットオフシステム

この車は、転倒したとき、自動的にエンジンを停止するシステムが装備されています。エンジンを再始動するときは、システムの作動を解除するためにメインスイッチを一度（Off）にしてください。
IMU の故障が検出された場合、車両が転倒してもエンジンと燃料ポンプは自動的には停止しません。

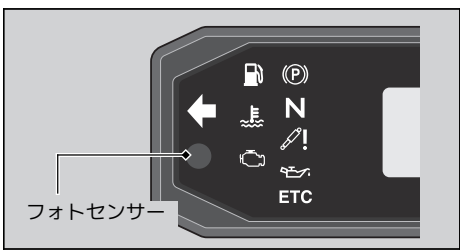
スロットルバイワイヤシステム

この車は、スロットルバイワイヤシステムが装備されています。
磁化されているものや磁気の干渉を受けやすいものは、右側のハンドルスイッチ周辺に近づけないでください。

フォトセンサー

フォトセンサーによって周辺の明るさを感知し、ディスプレイの自動調光と背景色、および DRL の切り換えを自動で行います。

- [明るさ] の [自動] で [ON] を選択した場合、ディスプレイの明るさを調光します。
- [背景色] の [自動] で [ON] を選択した場合、ディスプレイの背景色を白または黒に切り換えます。
- DRL の設定で [自動] を選択した場合、周辺の明るさをフォトセンサーで感知し、ヘッドライトと DRL を切り換えます。
  - ▶ フォトセンサーを傷つけたり、覆ったりすると、自動調光と背景色、DRL の切り換えが正常に作動しなくなる場合があります。



ヘッドライト、DRL、コーナリングライト*1、ストップ／テールランプ、フロントウィンカー・ポジションランプ、リアウィンカー、ライセンスプレートライト

LED 使用のライトは一体式です。
もし、1 個でも点灯しなくなった場合は、Honda 販売店にご相談ください。

*1　：　CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES
CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

車のお手入れ

お車を長持ちさせるため、清掃などのお手入れは大切です。普段見逃しがちな異状の発見にもつながります。また、海水や路面凍結防止剤などに含まれる塩分は、車体のサビを促進します。さらに、泥やほこりは、フロントフォークの摩耗を促進し、オイル漏れの原因となります。海岸付近や凍結防止剤を散布した路面、泥やほこりの多い道を走行したあとは、必ず洗車してください。

洗車

エンジン、マフラー、ブレーキなど高温になる部分は冷えるまで洗車しないでください。

1. 全体を水洗いして、汚れを取り除く。
2. 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、スポンジか柔らかいタオルを使って洗う。
   ▶ 傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
3. 十分な水で洗剤を洗い流しやわらかい布で拭きあげる。
4. 車体を乾燥させた後、ドライブチェーンと可動部分に注油する。
5. 車体の腐食を防ぐためワックスがけを行う。

洗車にあたっての注意

洗車するときは、次のことをお守りください。

- 高圧洗車機の使用はさける
  ▶ 車体に高い水圧がかかる洗車を行うと、可動部や電装部品などの作動不良や故障の原因となることがあります。
  ▶ ヘッドライトレンズやフェアリング、その他のプラスチック部品を洗うときは、傷を防ぐため、多量の水を使って、汚れを落としてください。
- マフラーに水を入れない
  ▶ 始動不良やサビの発生などの原因になります。
- フロントシートの下方から水を強くかけない
  ▶ 内部に水が入り、書類などが濡れることがあります。
- エアインテークやエアクリーナー周辺に水を強くかけない
  ▶ エアクリーナー内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。

● ブレーキを濡れたままにしない
▶ 水によってブレーキの効き具合が悪くなることがあります。洗車後は十分に乾かし、慎重なブレーキ操作を心がけてください。
● ワックス、ケミカル類や油脂類を扱うとき
▶ ブレーキやタイヤにオイル等の油脂類、ワックスやケミカル類が付着しないよう注意してください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になる場合があります。
▶ ワックスやケミカル類を使用するときは、ボディーの目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。種類によっては塗膜が薄くなったり色むらが生じるものがあります。
▶ つや消し塗装が使われている場合は、塗装面にワックスやケミカル類を使用すると、つや消し感が無くなったり、色むらが生じるおそれがありますので、使用しないでください。

● ヘッドライトがくもったとき
▶ ヘッドライトは雨天走行や洗車などにより、レンズ面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドライト内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは、雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の自然現象で、機能上の問題ではありません。
また、ヘッドライトの構造上、レンズの縁に水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
但し、ヘッドライト内に水がたまっている場合や大粒の水滴がついている場合は Honda 販売店にご相談ください。

次ページに続く

アルミ部品

アルミ部品は土や泥、あるいは塩分によって腐食します。傷をつけないよう、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 硬いブラシやスチールウールを使用しない

樹脂部品

傷やひび割れ等を防ぐため、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 清掃するときは多量の水を使って、やわらかい布やスポンジで汚れを落とす
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流す
- メーター、スクリーン、フェアリング、ヘッドライトレンズなどの樹脂部品にガソリン、クリーナーなどがかからないようにする

エキゾーストパイプ、マフラー

ステンレス鋼を使用していますので、油脂などの汚れが付着したままエンジンを始動すると、焼けムラが起こります。
汚れが付着した場合は、ステンレス用台所洗剤を使って、やわらかい布かスポンジで洗い落としてください。洗浄後は、十分に水洗いして乾いた布で水分を拭き取ってください。
焼けムラをとる場合は、市販の細目のコンパウンドで磨いたあと、汚れが付着した場合と同じ要領で洗い落としてください。
エキゾーストパイプ、マフラーが塗装されている場合は、ステンレス用台所洗剤や市販のコンパウンドを使用しないでください。塗装面の清掃には中性洗剤を使用してください。もし、塗装処理されているかわからない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

アドバイス

ステンレス鋼を使用している場合でも、塗装をしているものもあります。
目立たないところでくもりや傷、色むらなどが生じないか確認してください。

フロントフォーク

フロントフォークは、泥やほこりによって摩耗が促進し、オイル漏れの原因となります。傷をつけないよう、取り扱いについては次のことに注意してください。

- 清掃するときは多量の水を使って、柔らかい布やスポンジで汚れを落とす。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使用し、十分な水で洗剤を洗い流す。

保管のしかた

屋外に保管する場合はボディーカバーをかけてください。なお、ボディーカバーはエンジンやマフラーが冷えてからかけてください。

また、長期間ご使用にならない場合は、次のことをお守りください。

- サビを防ぐために、保管前にワックスがけを行う（つや消し塗装面を除く）
- 雨上がりにはボディーカバーを外し、車体を乾燥させる
- バッテリーは自己放電と電気漏れを少なくするため、車から取り外し、完全充電して風通しのよい暗い場所に保存する
  - ▶ もしバッテリーを車に積んだままにする場合は、㊀側ターミナルを外してください。

長期保管後にお車を乗る際は、保管期間を考慮した上で、各部の点検を実施してください。

廃棄するとき

地球環境を守るため、お車や交換した部品、なかでも使用済みのバッテリーやタイヤ、エンジンオイルの廃油等はむやみに捨てないでください。これらのものを廃棄する場合は、Honda 販売店にご相談ください。
また、将来お車の廃棄を希望するときはお近くの廃棄二輪車取扱店へご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で広域廃棄物処理指定店として登録されている廃棄二輪車を適正処理するための窓口です。
店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が掲示されています。

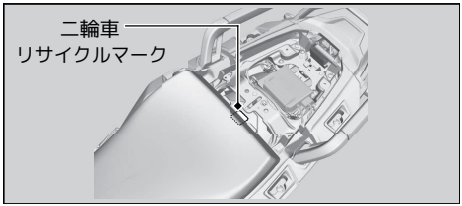




二輪車リサイクルマーク、リサイクル料金

この車には、二輪車リサイクルマークが車体に貼付されています。マークが車体に貼付されている二輪車は、再資源化するためのリサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれていますので、二輪車を廃棄する際は、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、廃棄二輪車取扱店および指定引取場所までの収集・運搬料金はお客様のご負担となります。収集・運搬料金については廃棄二輪車取扱店にご相談ください。
二輪車リサイクルマークは、リアシートを取り外すと確認できます。➔P. 264



お車を廃棄する際、二輪車リサイクルマークが必要です。マークは剥がさないでください。マークの再発行や販売の取り扱いはありません。二輪車リサイクルシステムの概要、ご利用方法等は、Hondaウェブサイト「廃棄段階のリサイクル　二輪車リサイクル自主取り組み」にてご確認いただけます。
http://www.honda.co.jp/motor-recycle/

ダンパーユニット

リアサスペンションのダンパーユニットには、高圧窒素ガスが封入されています。廃棄する場合は、Honda 販売店にご相談ください。

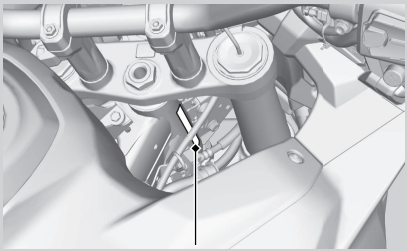
⚠ 警告

高圧窒素ガスが封入されたダンパーユニットを火中に入れたり、穴を開けたり、分解したりすると、爆発や破裂するおそれがあり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

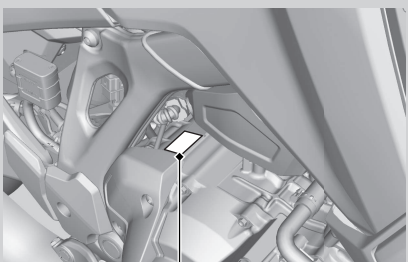
ダンパーユニットは、
- 火中に入れないでください。
- 穴を開けないでください。
- 分解しないでください。

フレームおよびエンジンナンバー

フレームおよびエンジンナンバーは、部品を注文するときや、車の登録に関する手続きに必要です。また、フレームナンバーは、お車が盗難にあった場合に、車を捜す手がかりにもなります。ナンバープレートの登録番号とともに別紙に記録し、車と別に保管することを推奨します。



フレームナンバー打刻位置



エンジンナンバー打刻位置

触媒装置について

この車は平成 32 年排出ガス規制適合車です。 この車には触媒装置が搭載され、排出ガスに含まれる一酸化炭素（CO）、炭化水素（HC）、窒素酸化物（NOx）の 3 つの有害物質の排出量を低減します。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。触媒装置は高温になるので、枯れ草や紙など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。

走行上の注意

次のような取り扱いはしないでください。触媒温度が異常に高くなり、損傷するおそれがあります。

- 走行中にメインスイッチやエンジンストップスイッチを操作すること
- 空ぶかし直後にエンジンを止めること

触媒装置の損傷を防ぐために

触媒装置が損傷すると、排出ガス濃度を劣化させるだけではなく、車本来の性能を発揮できなくなります。損傷を防ぐために、次のことをお守りください。

- 燃料は、必ず無鉛ガソリンを使用する
- 定められた点検整備を実施する
- エンジン不調を感じたときは、直ちに Honda 販売店で点検を受ける

ソフトウェアアップデートについて

システムソフトウェアの更新

システムのソフトウェアの更新については、Honda販売店にご相談ください。

■ 主要諸元

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

型式	8BL-SD15	
全長	2,330 mm	
全幅	960 mm	
全高	1,485 mm	
ホイールベース	1,575 mm	
最低地上高	250 mm	
キャスター	27° 30′	
トレール長	113 mm	
車両重量	マニュアルトランスミッションタイプ	231 kg
	Dual Clutch Transmission タイプ	242 kg
乗車定員	2 名	
最小回転半径	2.6 m	
排気量	1,082 cm^3	
ボア×ストローク	92.0 x 81.4 mm	
圧縮比	10.5:1	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	18 ℓ	

バッテリー容量	HJ13L 12 V-6.0 Ah (20HR)	
変速比	マニュアルトランスミッションタイプ	
	1 速	2.866
	2 速	1.888
	3 速	1.480
	4 速	1.230
	5 速	1.064
	6 速	0.972
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	1 速	2.562
	2 速	1.761
	3 速	1.375
	4 速	1.133
	5 速	0.972
	6 速	0.882
減速比	マニュアルトランスミッションタイプ	
	1 次	1.717
	2 次	2.625
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	1 次	1.863
	2 次	2.625

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission		
型式	8BL-SD15	
全長	2,305 mm	
全幅	960 mm	
全高	1,475 mm	
ホイールベース	1,570 mm	
最低地上高	220 mm	
キャスター	27° 30′	
トレール長	106 mm	
車両重量	マニュアルトランスミッションタイプ	243 kg
	Dual Clutch Transmission タイプ	253 kg
乗車定員	2 名	
最小回転半径	2.6 m	
排気量	1,082 cm^3	
ボア×ストローク	92.0 x 81.4 mm	
圧縮比	10.5:1	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	24 ℓ	

バッテリー容量	HJ13L 12 V-6.0 Ah (20HR)	
変速比	マニュアルトランスミッションタイプ	
	1 速	2.866
	2 速	1.888
	3 速	1.480
	4 速	1.230
	5 速	1.064
	6 速	0.972
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	1 速	2.562
	2 速	1.761
	3 速	1.375
	4 速	1.133
	5 速	0.972
	6 速	0.882
減速比	マニュアルトランスミッションタイプ	
	1 次	1.717
	2 次	2.625
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	1 次	1.863
	2 次	2.625

■ サービスデータ

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

クラッチレバーの遊び	マニュアルトランスミッションタイプ 10 - 20 mm	
タイヤサイズ	前輪	90/90-21M/C 54H
	後輪	150/70R18M/C 70H
タイヤタイプ	前輪	バイアス、チューブレス
	後輪	ラジアル、チューブレス
指定タイヤ	前輪	METZELER KAROO STREET
	後輪	METZELER KAROO STREET
タイヤ空気圧（1 名乗車時）	前輪	225 kPa (2.25 kgf/cm²)
	後輪	250 kPa (2.50 kgf/cm²)
タイヤ空気圧（2 名乗車時）	前輪	225 kPa (2.25 kgf/cm²)
	後輪	280 kPa (2.80 kgf/cm²)

最小残溝量	前輪	1.5 mm
	後輪	2.0 mm
点火プラグ	標準	SILMAR8A9S（NGK）
プラグギャップ	（調整不可）	0.8 - 0.9 mm
アイドル回転数		1,250 ± 100 rpm
推奨エンジンオイル		Honda 純正 ウルトラ G1 または下記相当品 JASO T 903 規格： MA SAE 規格：10W-30 API 分類： SJ 級以上
エンジンオイル容量	マニュアルトランスミッションタイプ	
	オイル交換時	3.9 ℓ
	フィルター交換時	4.0 ℓ
	全容量	4.8 ℓ
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	オイル交換時	4.0 ℓ
	フィルター（エンジン）交換時	4.2 ℓ
	フィルター（エンジンとクラッチ）交換時	4.2 ℓ
	全容量	5.2 ℓ
エンジンオイル交換時期	初回： 1,000 km または 1 ヶ月	
	以後： 10,000 km または 1 年ごと	
指定ブレーキ液	Honda 純正ブレーキフルード DOT4	

冷却水容量	全容量	1.81 ℓ
指定ラジエーター液	Honda 純正ウルトララジエーター液	
エアクリーナーエレメント交換時期	交換：40,000 km ごと	
推奨ドライブチェーンオイル	Honda 純正チェーンオイルまたは相当品	
ドライブチェーンの緩み（たるみ）	48 - 53 mm	

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

クラッチレバーの遊び	マニュアルトランスミッションタイプ 10 - 20 mm	
タイヤサイズ	前輪	110/80R19M/C 59V
	後輪	150/70R18M/C 70H
タイヤタイプ	前輪	ラジアル、チューブレス
	後輪	ラジアル、チューブレス
指定タイヤ	前輪	BRIDGESTONE BATTLAX ADVENTURE A41F N
	後輪	BRIDGESTONE BATTLAX ADVENTURE A41R N
タイヤ空気圧（1 名乗車時）	前輪	225 kPa (2.25 kgf/cm²)
	後輪	250 kPa (2.50 kgf/cm²)
タイヤ空気圧（2 名乗車時）	前輪	225 kPa (2.25 kgf/cm²)
	後輪	280 kPa (2.80 kgf/cm²)

最小残溝量	前輪	1.5 mm
	後輪	2.0 mm
点火プラグ	標準	SILMAR8A9S（NGK）
プラグギャップ	（調整不可）	0.8 - 0.9 mm
アイドル回転数		1,250 ± 100 rpm
推奨エンジンオイル		Honda 純正 ウルトラ G1 または下記相当品 JASO T 903 規格： MA SAE 規格：10W-30 API 分類： SJ 級以上
エンジンオイル容量	マニュアルトランスミッションタイプ	
	オイル交換時	3.9 ℓ
	フィルター交換時	4.0 ℓ
	全容量	4.8 ℓ
	Dual Clutch Transmission タイプ	
	オイル交換時	4.0 ℓ
	フィルター（エンジン）交換時	4.2 ℓ
	フィルター（エンジンとクラッチ）交換時	4.2 ℓ
	全容量	5.2 ℓ
エンジンオイル交換時期	初回： 1,000 km または 1 ヶ月	
	以後： 10,000 km または 1 年ごと	
指定ブレーキ液	Honda 純正ブレーキフルード DOT4	

冷却水容量	全容量	1.81 ℓ
指定ラジエーター液	Honda 純正ウルトララジエーター液	
エアクリーナーエレメント交換時期	交換：40,000 km ごと	
推奨ドライブチェーンオイル	Honda 純正チェーンオイルまたは相当品	
ドライブチェーンの緩み（たるみ）	48 - 53 mm	

■ バルブ（電球）

CRF1100L Africa Twin〈s〉

CRF1100L Africa Twin Dual Clutch Transmission〈s〉

ヘッドライト	LED
DRL	LED
ストップ/テールランプ	LED
フロントウィンカー・ポジションランプ	LED
リアウィンカー	LED
ライセンスプレートライト	LED

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES

CRF1100L Africa Twin Adventure Sports ES Dual Clutch Transmission

ヘッドライト	LED
DRL	LED
コーナリングライト	LED
ストップ/テールランプ	LED
フロントウィンカー・ポジションランプ	LED
リアウィンカー	LED
ライセンスプレートライト	LED

■ ヒューズ

メインヒューズ	30 A
メイン 2 ヒューズ	30 A
その他のヒューズ	30 A、20 A、15 A、10 A

索引

A
ABS モードインジケーター 26, 29
ABS（アンチロックブレーキシステム） 6, 295
ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯 109, 295
Android Auto™ 198
Apple CarPlay 185
AT インジケーター 20
AT モード 217, 219, 220, 221
AT／MT スイッチ 217, 220

B
Bluetooth オーディオ 153
Bluetooth ハンズフリー電話 175

D
D モード 219
DRL（デイタイムランニングライト） 230

E
ETC アンテナ 244
ETC 車載器 244
ETC 車載器取扱説明書 320
ETC 表示灯 106, 244

G
G スイッチ 122

H
HISS 表示灯 110, 320

M
MT モード 217, 219, 222

N
N-D スイッチ 113, 217, 221

P
PGM-FI 警告灯 106

S
S モード 219, 221
S モードレベルインジケーター 21, 27

U
USB ソケット 235

ア
アクセサリー 11
アクセサリーソケット 234
アシストスリッパークラッチシステム 319
安全運転のために 3
安全上守っていただきたいこと 3
安全なライディング 2

イ
イグニッションカットオフシステム 320
インフォメーション 316

ウ
ウィリーコントロール 131
ウインドスクリーン 289
運転するときの注意 5

エ
エアクリーナー 252
エマージェンシーストップシグナル 228
エンジン
エンジンオイル 251, 265
エンジンオイルレベルゲージ 265
エンジンオーバーヒート 293
エンジン始動 211
エンジンストップスイッチ 113, 318
エンジンナンバー 329
エンジンブレーキ 6
エンジンがかからないとき 292
エンジンブレーキレベルインジケーター 26, 29

オ
オーディオシステム
オーディオシステム 145
各部の名称 147
トラブル 300
マルチインフォメーションディスプレイ 147
オーバーヒート 293
お手入れ 322
オドメーター 20, 319

カ
外気温度計 24, 31, 32, 64
改造 11
各部の名称 14
ガソリン 9, 232

キ
ギアチェンジ 215
ギアポジション表示 21, 27

ク
クラッチ
クラッチ 273
クラッチレバー 273
クラッチレバーの遊び 273
クリップ 257
クルーズコントロールセット表示灯 109
クルーズコントロールメイン表示灯 109
クルーズコントロール（自動定速走行装置） ... 223

ケ
警告灯
ABS（アンチロックブレーキシステム）警告灯 109, 295
PGM-FI 警告灯 106, 294
後輪 ABS OFF 警告灯 109
サスペンション警告灯 110
水温警告灯 106
トルクコントロール OFF 警告灯 107
トルクコントロール警告灯 107, 296
燃料残量警告灯 108
パーキングブレーキ警告灯 108
油圧警告灯 110, 294
携帯工具 239
携帯工具ボックス 258

コ
後輪 ABS OFF 警告灯 109
後輪 ABS 機能 118
コーナリングライト 231
こんなときは 291

サ
サービス診断記録装置について 317

サイドスタンド 7
サイドスタンドインジケーター 64
サスペンション..... 279, 283
サスペンションダンピングインジケーター..... 28, 31, 34
サスペンション警告灯..... 110

シ

シフトアップスイッチ（+） 222
シフトダウンスイッチ（−） 222
触媒装置..... 330
書類入れ 238, 320

ス

水温計 28
水温警告灯 106
スイッチ
AT／MT スイッチ..... 113, 217, 220
Back スイッチ..... 116
ENT スイッチ..... 116
N-D スイッチ..... 113, 217, 221
ウィンカー（方向指示器）スイッチ..... 114
エンジンストップスイッチ..... 113, 318
曲送りスイッチ..... 116
曲戻しスイッチ..... 116
クルーズコントロールメインスイッチ..... 113
クルーズコントロールレバー..... 113
シフトアップスイッチ（+）..... 115, 222
シフトダウンスイッチ（−）..... 114, 222
スタータースイッチ..... 113
セレクトアップスイッチ..... 116
セレクトダウンスイッチ..... 116
セレクトレフト／ライトスイッチ..... 116
ハザードスイッチ..... 114
パッシングライトスイッチ..... 115
ファンクションセレクトスイッチ..... 113
ファンクションレバー..... 115
フェイバリットスイッチ..... 114
ページスイッチ..... 115
ヘッドライト（前照灯）上下切り換えスイッチ..... 115
ボイスコントロールスイッチ..... 115
ホーンスイッチ..... 114
メインスイッチ..... 112

G スイッチインジケーター 26
スピードメーター 20, 24, 31
スペック 332
スロットル 277

セ
積載について 12
洗車 322

ソ
その他装備の使いかた 237
ソフトウェアアップデート 331

タ
タイヤ 254
タコメーター 25, 30, 33

チ
駐車 7

テ
デュアルクラッチトランスミッション 217

点検
定期点検 247
日常点検 246
電装部品のトラブル 312

ト
時計 24, 29, 32
ドライバーハンドル 239
ドライブチェーン 253, 272
取扱説明書 320
トリップメーター 319
トルクコントロール 126
トルクコントロール OFF 警告灯 107
トルクコントロール警告灯 107
トルクコントロールレベルインジケーター 26, 29, 32

ナ
慣らし運転 5

ネ

燃料

使用燃料 232

燃料計 25, 31, 33

燃料計の故障表示..... 298

燃料タンク容量..... 232

燃料補給 232

燃料残量警告灯 108

ハ

パーキングブレーキ 125, 271

パーキングブレーキ警告灯 108

パーキングブレーキレバー..... 125, 271

廃棄..... 326

バッテリー 259

バッテリーボックスカバー 260

パワーレベルインジケーター..... 26, 29, 32

ハンドルグリップヒーター

故障表示 299

ハンドルグリップヒーターステータスアイコン 27, 30, 34

ハンドルロック 117

ヒ

ヒューズ 250, 312

表示灯

DRL (デイタイムランニングライト) 表示灯..... 107

ETC 表示灯..... 106, 244

HISS 表示灯..... 110, 320

クルーズコントロールセット表示灯..... 109

クルーズコントロールメイン表示灯..... 109

ニュートラル表示灯..... 108

ハイビームパイロットランプ..... 107

方向指示器表示灯 106, 107

フ

服装 4

ヒューズプーラー..... 239

プラス／マイナスドライバー 239

ブリーザードレーン 253, 276

ブレーキ
使いかた 5
パーキング 125, 271
ブレーキ液 252, 269
ブレーキパッド 270
ブレーキレバー 278
フレームナンバー 329
フロントシート 261
フォトセンサー 321

ヘ
ヘルメットホルダー 237
ヘルメットホルダーワイヤー 238

ホ
保管 325
ポップアップ情報表示 105

マ
マルチインフォメーションディスプレイ 22

メ
メインスイッチ 318
メインスイッチのキー 317
メーター 20
メンテナンス 245
メンテナンスノート 320

ユ
油圧警告灯 294

ラ
ライディングモード 136

リ
リアキャリア 240
リアシート 264
リサイクルマーク 326
リチウムイオンバッテリー 249

レ
冷却水 252, 267
レッドゾーン 25, 30, 33

ロ
六角レンチ 239
ロックレバー 125, 271

フ
服装 4
ヒューズプーラー 239
プラス／マイナスドライバー 239
ブリーザードレーン 253, 276
ブレーキ
使いかた 5
パーキング 125, 271
ブレーキ液 252, 269
ブレーキパッド 270
ブレーキレバー 278
フレームナンバー 329
フロントシート 261
フォトセンサー 321

お問い合わせ

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まずHonda 販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受けいたします。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　**0120-086819**（オーハローバイク）

受付時間　9：00～12：00　13：00～17：00

〒351-0188　埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、敏速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証や届出済証などの登録書類をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

②車種名、タイプ名、走行距離

③ご購入年月日

④販売店名

Online Owner's Manual
https://www.hondamotopub.com/HMJ

HONDA

CRF1100L Africa Twin

30MLN600
00X30-MLN-6000

00X30-MLN-6000

Ⓞ 500.2024.02.R
Ⓒ 2024 本田技研工業株式会社